

交野市の地域福祉に関するアンケート  
調査報告書

交 野 市

# 目次

I. 調査概要 .....	1
1. 調査目的 .....	1
2. 調査対象と回収率 .....	1
3. 調査方法 .....	1
4. 調査期間 .....	1
5. 報告書の見方 .....	1
6. 回答データの活用 .....	1
II. アンケート結果の総括 .....	2
III. 市民アンケート調査結果 .....	3
1. あなたご自身のことについて .....	3
2. 地域福祉の考え方について .....	11
3. ご近所とのつきあいや町内会行事などの地域活動について .....	30
4. 福祉への関心について .....	38
5. ボランティア活動について .....	44
6. 福祉に関わる支援者等について .....	53
7. 各種制度について .....	65
8. 生活上の悩みや手助け等について .....	81
9. 今後の福祉行政のあり方について .....	85
《 資料編 》 .....	92

# I. 調査概要

## 1. 調査目的

本調査は、「第5期交野市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の策定にあたり、住民の地域福祉に関する現状や意見を把握し、市の施策や計画策定の基礎資料とするために実施しました。

## 2. 調査対象と回収率

調査対象:18歳以上の市民 2,000人(無作為抽出)

回収数(回収率): 郵便684件 WEB156件 合計 840件 (42.0%)

### 【送付/回収数詳細】

性別/年齢	男性			女性			性別無回答 回収数	合計		
	送付数	回収数	回収率	送付数	回収数	回収率		送付合計	回収合計	回収率
1. 18~29歳	136	24	17.6%	130	29	22.3%	3	271	56	20.7%
2. 30~39歳	114	16	14.0%	114	40	35.1%	3	231	59	25.5%
3. 40~49歳	144	35	24.3%	152	68	44.7%	4	301	107	35.5%
4. 50~59歳	189	63	33.3%	206	100	48.5%	5	388	168	43.3%
5. 60~69歳	132	62	47.0%	126	61	48.4%	4	258	127	49.2%
6. 70歳以上	237	135	57.0%	320	178	55.6%	6	551	319	57.9%
年齢無回答	-	-	-	-	-	-	4	-	4	-
合計	952	335	35.2%	1,048	476	45.4%	29	2,000	840	42.0%

## 3. 調査方法

郵送配送及びWEBアンケート形式

## 4. 調査期間

令和6年8月23日(金)~9月20日(金)

## 5. 報告書の見方

- 本アンケートの全回答者数は、840人です。
- 単数の回答を依頼した質問では、その質問の有効回答件数を基数「n」(=number of case)とし、無回答数は構成比(%)に含んでいません。なお、構成比はすべて小数点以下第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100%とならないことがあります。
- 複数の回答を依頼した質問では、その設問の対象となる回答者数に対する、選択肢ごとの件数の回答割合を算出しているため、比率の合計が100%を超える場合があります。
- 本文中の表などにおいて、選択肢が長い文章となる際に簡略化している場合があります。

## 6. 回答データの活用

本調査の回答データは、さまざまな専門的分析手法(加重平均法や応用レンジ分析等)を用いた詳細な分析を行い、その結果を「交野市地域福祉推進審議会」へ資料として提出し、令和7年度策定予定の「第5期交野市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の策定に活用します。また、交野市社会福祉協議会が主催する、各校区の地域懇談会の資料作成の元データとしても活用します。

## Ⅱ. アンケート結果の総括

### ○ 暮らしやすいまち 交野

全体の約9割もの市民が、交野市を暮らしやすいと感じており、前回調査時と比べてその割合も増加していました(前回:88.8%→今回:89.1%)。特に、子育てやこどもの福祉に関心や評価が高く、安心して暮らせる地域であることや、住みよい環境、居場所・生きがい、といったことを重要だと考える人が多いという結果が出ています。これらの項目は、同時に満足度も高くなっており、地域の課題に対してしっかりと対策や取り組みがされているからだと考えられるため、これらは交野市の「強み」であると考えられます。

### ○ 地域のつながり・助け合いへの不安

地域の中で、高齢者だけの世帯が増えてきていることや、地域活動の担い手が少なくなっていること、住民同士のふれあいが乏しくなっていることなどについて不安を感じている人が多くなっています。

また、福祉に関心はあるけれどもボランティア活動や助け合い活動をしたことがない人が、参加していない理由としては、仕事や家事が忙しく時間が取れないという理由が最も多くなっています。活動への協力や参加への動機を上げるには、取り組みの周知や理解をより広げていくことが重要になると考えられます。

### ○ 情報提供や相談窓口の充実の必要性

福祉の制度や人材に係る認知度は向上しており、啓発活動の効果が出ていると見られるため、より関心を引くような内容・コンテンツの充実により効果が上がる可能性があります。また、年齢層により主な情報収集の方法に特徴があるため、必要な情報をどの層に届けたいかにより、媒体や内容を検討していくことも効果的です。

加えて、福祉に関する情報提供や相談窓口の充実を優先して取り組むべきとしている声が多いことから、相談すること自体をためらう人を少なくするため、気軽に幅広く相談ができる人・機関があることの周知を強化することに加えて、それぞれの相談機関の役割や機能をきちんと整理し、重層的な支援体制を市民に分かりやすく提示していくことが重要と思われます。

### Ⅲ. 市民アンケート調査結果

#### 1. あなたご自身のことについて

問1 それぞれの項目ごとに、あてはまる番号を選んでください。

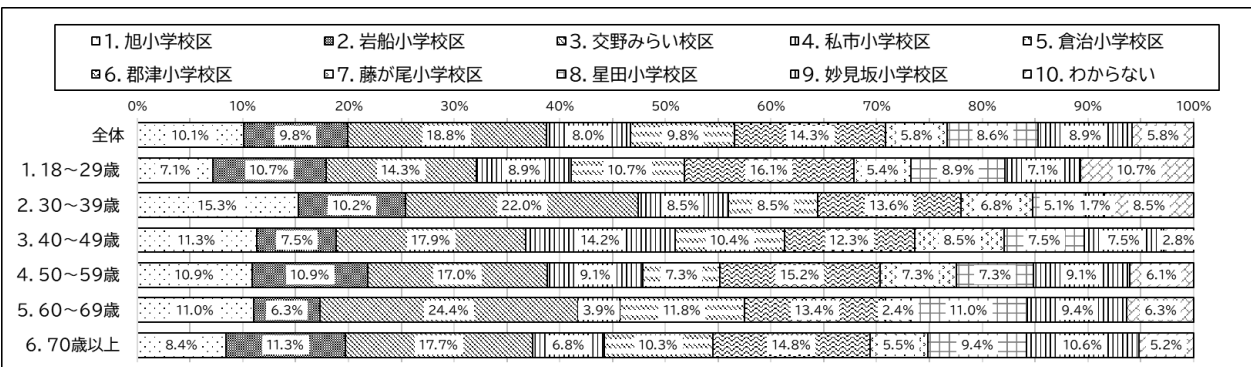
(1) 居住小学校区(選択は1つ)

1. 旭小学校区	2. 岩船小学校区	3. 交野みらい校区
4. 私市小学校区	5. 倉治小学校区	6. 郡津小学校区
7. 藤が尾小学校区	8. 星田小学校区	9. 妙見坂小学校区
10. わからない		

回答者の居住小学校区について、全体では「3. 交野みらい校区」が18.8%で最も高く、次いで「6. 郡津小学校区」が14.3%、「1. 旭小学校区」が10.1%となっています。

居住小学校区(選択は1つ)(n=824)

選択肢	全体		1. 18~29歳		2. 30~39歳		3. 40~49歳		4. 50~59歳		5. 60~69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 旭小学校区	83	10.1%	4	7.1%	9	15.3%	12	11.3%	18	10.9%	14	11.0%	26	8.4%	0	0.0%
2. 岩船小学校区	81	9.8%	6	10.7%	6	10.2%	8	7.5%	18	10.9%	8	6.3%	35	11.3%	0	0.0%
3. 交野みらい校区	155	18.8%	8	14.3%	13	22.0%	19	17.9%	28	17.0%	31	24.4%	55	17.7%	1	100.0%
4. 私市小学校区	66	8.0%	5	8.9%	5	8.5%	15	14.2%	15	9.1%	5	3.9%	21	6.8%	0	0.0%
5. 倉治小学校区	81	9.8%	6	10.7%	5	8.5%	11	10.4%	12	7.3%	15	11.8%	32	10.3%	0	0.0%
6. 郡津小学校区	118	14.3%	9	16.1%	8	13.6%	13	12.3%	25	15.2%	17	13.4%	46	14.8%	0	0.0%
7. 藤が尾小学校区	48	5.8%	3	5.4%	4	6.8%	9	8.5%	12	7.3%	3	2.4%	17	5.5%	0	0.0%
8. 星田小学校区	71	8.6%	5	8.9%	3	5.1%	8	7.5%	12	7.3%	14	11.0%	29	9.4%	0	0.0%
9. 妙見坂小学校区	73	8.9%	4	7.1%	1	1.7%	8	7.5%	15	9.1%	12	9.4%	33	10.6%	0	0.0%
10. わからない	48	5.8%	6	10.7%	5	8.5%	3	2.8%	10	6.1%	8	6.3%	16	5.2%	0	0.0%
計	824	100.0%	56	100.0%	59	100.0%	106	100.0%	165	100.0%	127	100.0%	310	100.0%	1	100.0%
無回答	16		0		0		1		3		0		9		3	



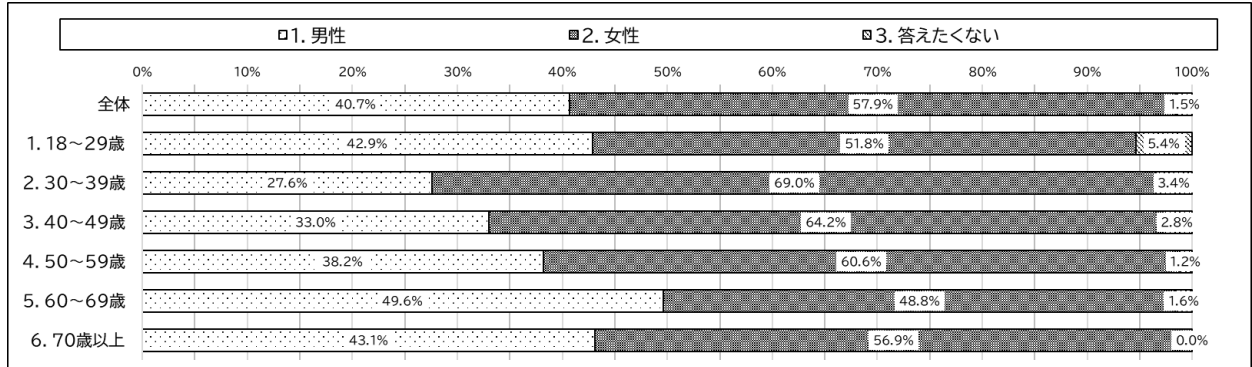
(2)性別(選択は1つ)

1. 男性	2. 女性	3. 答えたくない
-------	-------	-----------

回答者の性別について、全体では「1.男性」が40.7%、「2.女性」が57.9%となっています。

性別(選択は1つ)(n=824)

選択肢	全体		1.18~29歳		2.30~39歳		3.40~49歳		4.50~59歳		5.60~69歳		6.70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.男性	335	40.7%	24	42.9%	16	27.6%	35	33.0%	63	38.2%	62	49.6%	135	43.1%	0	0.0%
2.女性	477	57.9%	29	51.8%	40	69.0%	68	64.2%	100	60.6%	61	48.8%	178	56.9%	1	100.0%
3.答えたくない	12	1.5%	3	5.4%	2	3.4%	3	2.8%	2	1.2%	2	1.6%	0	0.0%	0	0.0%
計	824	100.0%	56	100.0%	58	100.0%	106	100.0%	165	100.0%	125	100.0%	313	100.0%	1	100.0%
無回答	16		0		1		1		3		2		6		3	



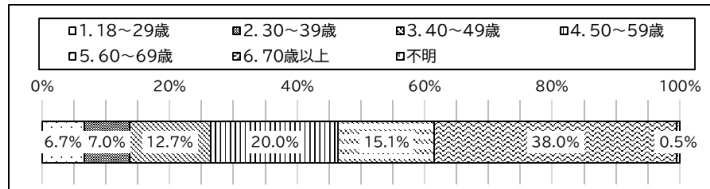
(3)年齢(選択は1つ)

1. 18~29歳	2. 30~39歳
3. 40~49歳	4. 50~59歳
5. 60~69歳	6. 70歳以上

回答者の年齢については、「6.70歳以上」が38.0%で最も高く、次いで「4.50~59歳」が20.0%となっています。

年齢(選択は1つ)(n=840)

回答	件数	構成比
1.18~29歳	56	6.7%
2.30~39歳	59	7.0%
3.40~49歳	107	12.7%
4.50~59歳	168	20.0%
5.60~69歳	127	15.1%
6.70歳以上	319	38.0%
不明	4	0.5%
計	840	100.0%



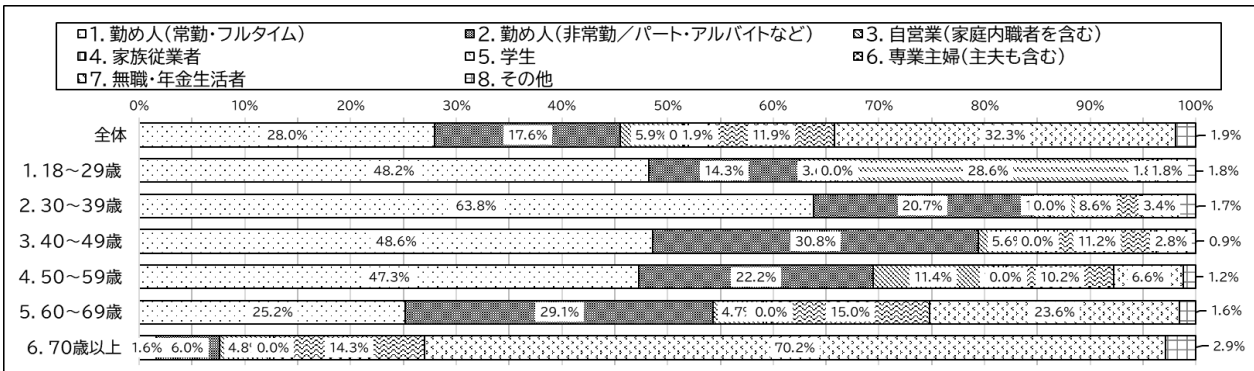
(4)職業(選択は1つ)

- |                  |                         |
|------------------|-------------------------|
| 1. 勤め人(常勤・フルタイム) | 2. 勤め人(非常勤/パート・アルバイトなど) |
| 3. 自営業(家庭内職者を含む) | 4. 家族従業者                |
| 5. 学生            | 6. 専業主婦(主夫も含む)          |
| 7. 無職・年金生活者      | 8. その他( )               |

回答者の職業について、全体では「7. 無職・年金生活者」が32.3%で最も高く、次いで「1. 勤め人(常勤・フルタイム)」が28.0%となっています。

職業(選択は1つ) (n=830)

選択肢	全体		1. 18~29歳		2. 30~39歳		3. 40~49歳		4. 50~59歳		5. 60~69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 勤め人(常勤・フルタイム)	232	28.0%	27	48.2%	37	63.8%	52	48.6%	79	47.3%	32	25.2%	5	1.6%	0	0.0%
2. 勤め人(非常勤/パート・アルバイトなど)	146	17.6%	8	14.3%	12	20.7%	33	30.8%	37	22.2%	37	29.1%	19	6.0%	0	0.0%
3. 自営業(家庭内職者を含む)	49	5.9%	2	3.6%	1	1.7%	6	5.6%	19	11.4%	6	4.7%	15	4.8%	0	0.0%
4. 家族従業者	4	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.2%	1	0.8%	1	0.3%	0	0.0%
5. 学生	16	1.9%	16	28.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
6. 専業主婦(主夫も含む)	99	11.9%	1	1.8%	5	8.6%	12	11.2%	17	10.2%	19	15.0%	45	14.3%	0	0.0%
7. 無職・年金生活者	268	32.3%	1	1.8%	2	3.4%	3	2.8%	11	6.6%	30	23.6%	221	70.2%	0	0.0%
8. その他	16	1.9%	1	1.8%	1	1.7%	1	0.9%	2	1.2%	2	1.6%	9	2.9%	0	0.0%
計	830	100.0%	56	100.0%	58	100.0%	107	100.0%	167	100.0%	127	100.0%	315	100.0%	0	0.0%
無回答	10		0		1		0		1		0		4		4	



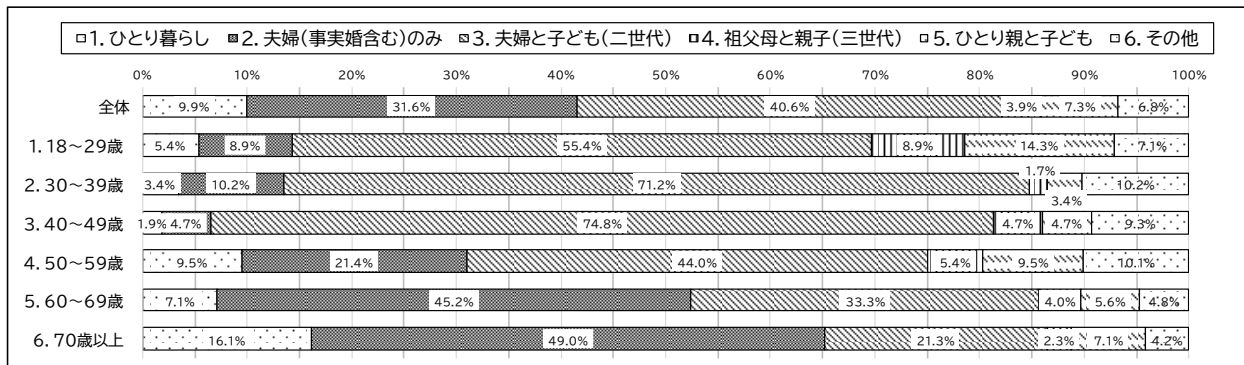
(5) 家族構成(選択は1つ)

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1. ひとり暮らし       | 2. 夫婦(事実婚含む)のみ |
| 3. 夫婦と子ども(二世世代) | 4. 祖父母と親子(三世代) |
| 5. ひとり親と子ども     | 6. その他( )      |

回答者の家族構成について、全体では「3. 夫婦と子ども(二世世代)」が40.6%で最も高く、次いで「2. 夫婦(事実婚含む)のみ」が31.6%となっています。

家族構成(選択は1つ)(n=826)

選択肢	全体		1. 18~29歳		2. 30~39歳		3. 40~49歳		4. 50~59歳		5. 60~69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. ひとり暮らし	82	9.9%	3	5.4%	2	3.4%	2	1.9%	16	9.5%	9	7.1%	50	16.1%	0	0.0%
2. 夫婦(事実婚含む)のみ	261	31.6%	5	8.9%	6	10.2%	5	4.7%	36	21.4%	57	45.2%	152	49.0%	0	0.0%
3. 夫婦と子ども(二世世代)	335	40.6%	31	55.4%	42	71.2%	80	74.8%	74	44.0%	42	33.3%	66	21.3%	0	0.0%
4. 祖父母と親子(三世代)	32	3.9%	5	8.9%	1	1.7%	5	4.7%	9	5.4%	5	4.0%	7	2.3%	0	0.0%
5. ひとり親と子ども	60	7.3%	8	14.3%	2	3.4%	5	4.7%	16	9.5%	7	5.6%	22	7.1%	0	0.0%
6. その他	56	6.8%	4	7.1%	6	10.2%	10	9.3%	17	10.1%	6	4.8%	13	4.2%	0	0.0%
計	826	100.0%	56	100.0%	59	100.0%	107	100.0%	168	100.0%	126	100.0%	310	100.0%	0	0.0%
無回答	14		0		0		0		0		1		9		4	



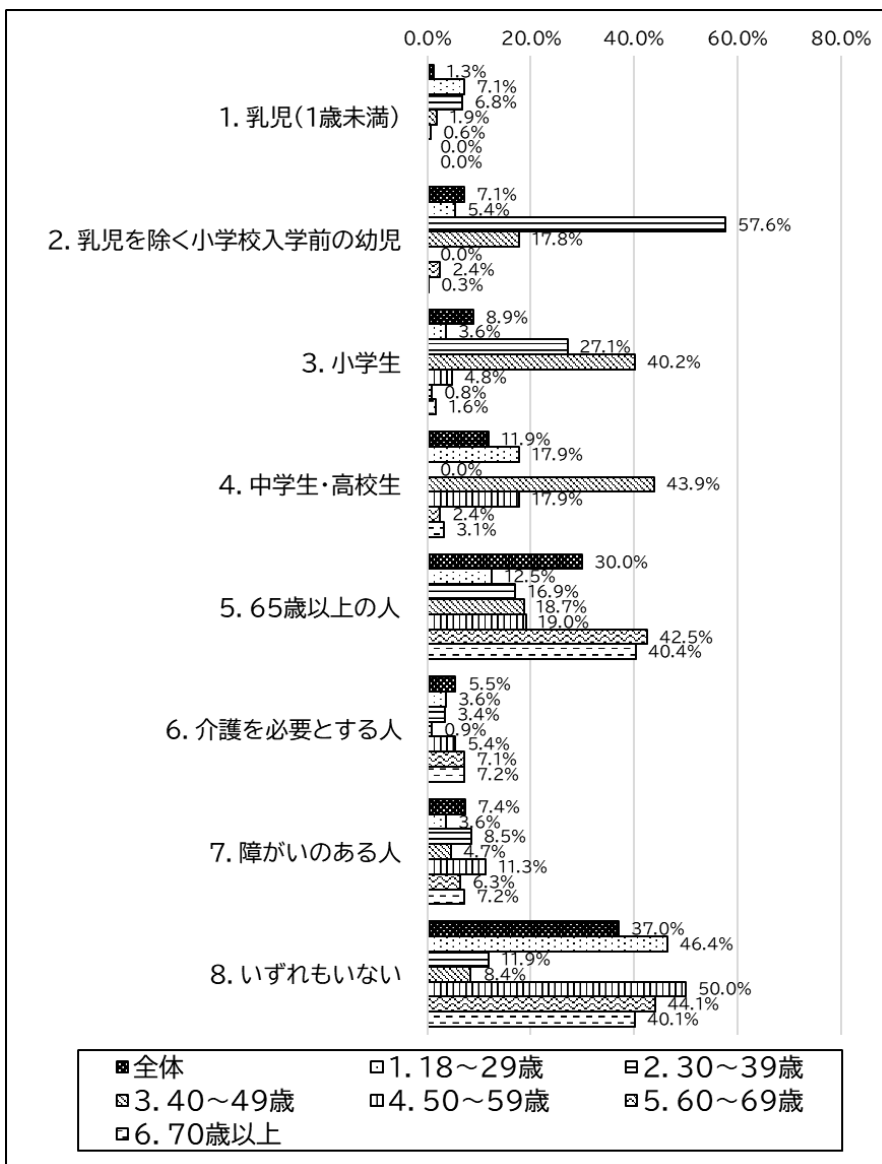
(6)同居家族の中にいる人(選択はいくつでも)

1. 乳児(1歳未満)	2. 乳児を除く小学校入学前の幼児
3. 小学生	4. 中学生・高校生
5. 65歳以上の人	6. 介護を必要とする人
7. 障がいのある人	8. いずれもない

回答者の同居家族の中にいる人について、全体では「8. いずれもない」が37.0%で最も高く、次いで「5. 65歳以上の人」が30.0%となっています。

同居家族の中にいる人 (選択はいくつでも) (n=840)

選択肢	全体		1. 18~29歳		2. 30~39歳		3. 40~49歳		4. 50~59歳		5. 60~69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 乳児(1歳未満)	11	1.3%	4	7.1%	4	6.8%	2	1.9%	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2. 乳児を除く小学校入学前の幼児	60	7.1%	3	5.4%	34	57.6%	19	17.8%	0	0.0%	3	2.4%	1	0.3%	0	0.0%
3. 小学生	75	8.9%	2	3.6%	16	27.1%	43	40.2%	8	4.8%	1	0.8%	5	1.6%	0	0.0%
4. 中学生・高校生	100	11.9%	10	17.9%	0	0.0%	47	43.9%	30	17.9%	3	2.4%	10	3.1%	0	0.0%
5. 65歳以上の人	252	30.0%	7	12.5%	10	16.9%	20	18.7%	32	19.0%	54	42.5%	129	40.4%	0	0.0%
6. 介護を必要とする人	46	5.5%	2	3.6%	2	3.4%	1	0.9%	9	5.4%	9	7.1%	23	7.2%	0	0.0%
7. 障がいのある人	62	7.4%	2	3.6%	5	8.5%	5	4.7%	19	11.3%	8	6.3%	23	7.2%	0	0.0%
8. いずれもない	311	37.0%	26	46.4%	7	11.9%	9	8.4%	84	50.0%	56	44.1%	128	40.1%	1	25.0%
回答者数	840		56		59		107		168		127		319		4	



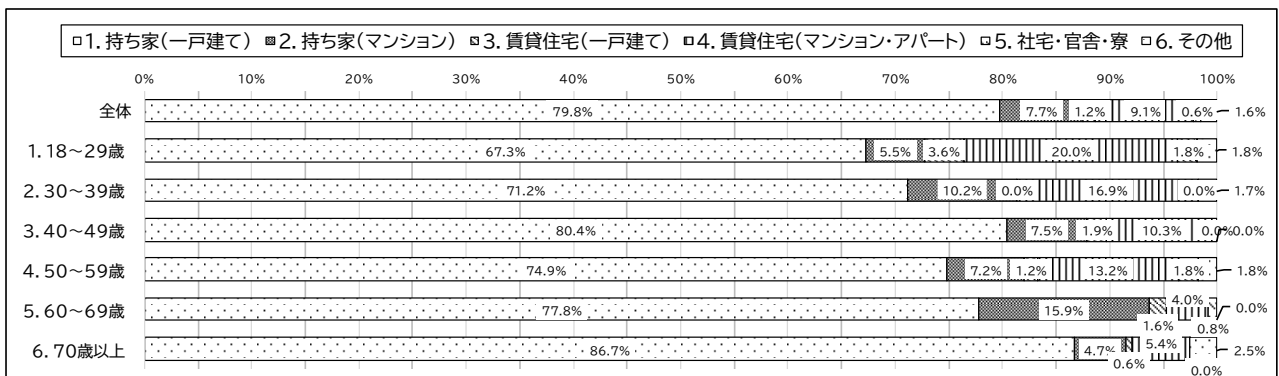
(7)住居の種類(選択は1つ)

1. 持ち家(一戸建て)	2. 持ち家(マンション)
3. 賃貸住宅(一戸建て)	4. 賃貸住宅(マンション・アパート)
5. 社宅・官舎・寮	6. その他( )

回答者の住居の種類について、全体では「1. 持ち家(一戸建て)」が79.8%で最も高く、次いで「4. 賃貸住宅(マンション・アパート)」が9.1%となっています。

住居の種類 (選択は1つ) (n=831)

選択肢	全体		1.18~29歳		2.30~39歳		3.40~49歳		4.50~59歳		5.60~69歳		6.70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 持ち家(一戸建て)	663	79.8%	37	67.3%	42	71.2%	86	80.4%	125	74.9%	98	77.8%	274	86.7%	1	0.0%
2. 持ち家(マンション)	64	7.7%	3	5.5%	6	10.2%	8	7.5%	12	7.2%	20	15.9%	15	4.7%	0	0.0%
3. 賃貸住宅(一戸建て)	10	1.2%	2	3.6%	0	0.0%	2	1.9%	2	1.2%	2	1.6%	2	0.6%	0	0.0%
4. 賃貸住宅(マンション・アパート)	76	9.1%	11	20.0%	10	16.9%	11	10.3%	22	13.2%	5	4.0%	17	5.4%	0	0.0%
5. 社宅・官舎・寮	5	0.6%	1	1.8%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.8%	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%
6. その他	13	1.6%	1	1.8%	1	1.7%	0	0.0%	3	1.8%	0	0.0%	8	2.5%	0	0.0%
計	831	100.0%	55	100.0%	59	100.0%	107	100.0%	167	100.0%	126	100.0%	316	100.0%	1	0.0%
無回答	9		1		0		0		1		1		3		3	



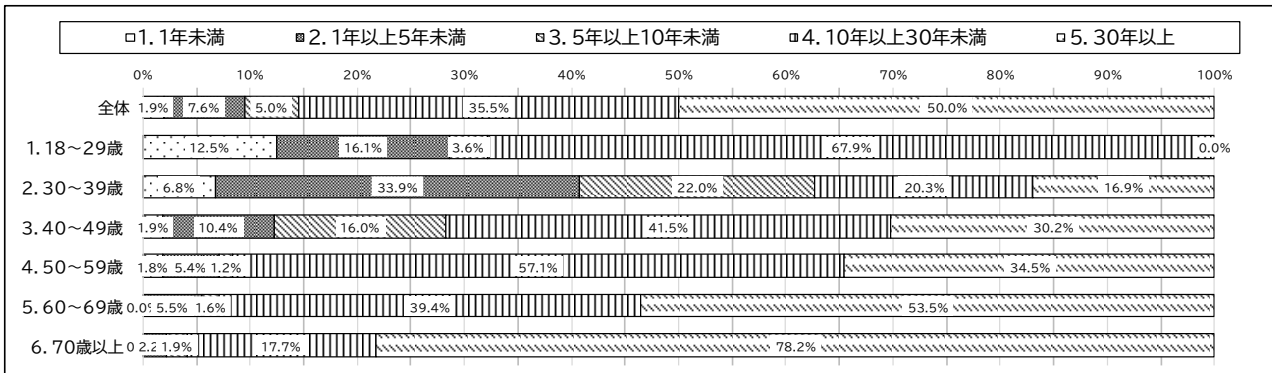
(8) 交野市での居住年数(選択は1つ)

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. 1年未満      | 2. 1年以上5年未満   |
| 3. 5年以上10年未満 | 4. 10年以上30年未満 |
| 5. 30年以上     |               |

回答者の交野市での居住年数について、全体では「5. 30年以上」が50.0%で最も高く、次いで「4. 10年以上30年未満」が35.5%となっています。

交野市での居住年数(選択は1つ) (n=834)

選択肢	全体		1. 18~29歳		2. 30~39歳		3. 40~49歳		4. 50~59歳		5. 60~69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 1年未満	16	1.9%	7	12.5%	4	6.8%	2	1.9%	3	1.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2. 1年以上5年未満	63	7.6%	9	16.1%	20	33.9%	11	10.4%	9	5.4%	7	5.5%	7	2.2%	0	0.0%
3. 5年以上10年未満	42	5.0%	2	3.6%	13	22.0%	17	16.0%	2	1.2%	2	1.6%	6	1.9%	0	0.0%
4. 10年以上30年未満	296	35.5%	38	67.9%	12	20.3%	44	41.5%	96	57.1%	50	39.4%	56	17.7%	0	0.0%
5. 30年以上	417	50.0%	0	0.0%	10	16.9%	32	30.2%	58	34.5%	68	53.5%	248	78.2%	1	100.0%
計	834	100.0%	56	100.0%	59	100.0%	106	100.0%	168	100.0%	127	100.0%	317	100.0%	1	100.0%
無回答	6		0		0		1		0		0		2		3	



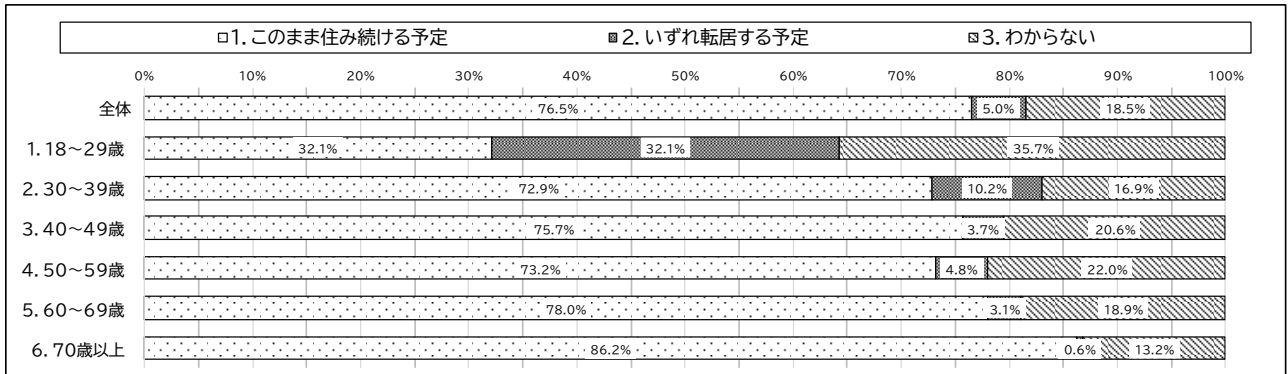
(9)今後の居住意向(選択は1つ)

- |                |              |
|----------------|--------------|
| 1. このまま住み続ける予定 | 2. いずれ転居する予定 |
| 3. わからない       |              |

回答者の今後の居住意向について、全体では「1. このまま住み続ける予定」が76.5%で最も高く、次いで「3. わからない」が18.5%となっています。

今後の居住意向 (選択は1つ) (n=837)

選択肢	全体		1. 18~29歳		2. 30~39歳		3. 40~49歳		4. 50~59歳		5. 60~69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. このまま住み続ける予定	640	76.5%	18	32.1%	43	72.9%	81	75.7%	123	73.2%	99	78.0%	275	86.2%	1	100.0%
2. いずれ転居する予定	42	5.0%	18	32.1%	6	10.2%	4	3.7%	8	4.8%	4	3.1%	2	0.6%	0	0.0%
3. わからない	155	18.5%	20	35.7%	10	16.9%	22	20.6%	37	22.0%	24	18.9%	42	13.2%	0	0.0%
計	837	100.0%	56	100.0%	59	100.0%	107	100.0%	168	100.0%	127	100.0%	319	100.0%	1	100.0%
無回答	3		0		0		0		0		0		0		3	



## 2. 地域福祉の考え方について

問2 あなたやあなたの家族にとって、交野市は「暮らしやすいまち」だと思いますか。(選択は1つ)

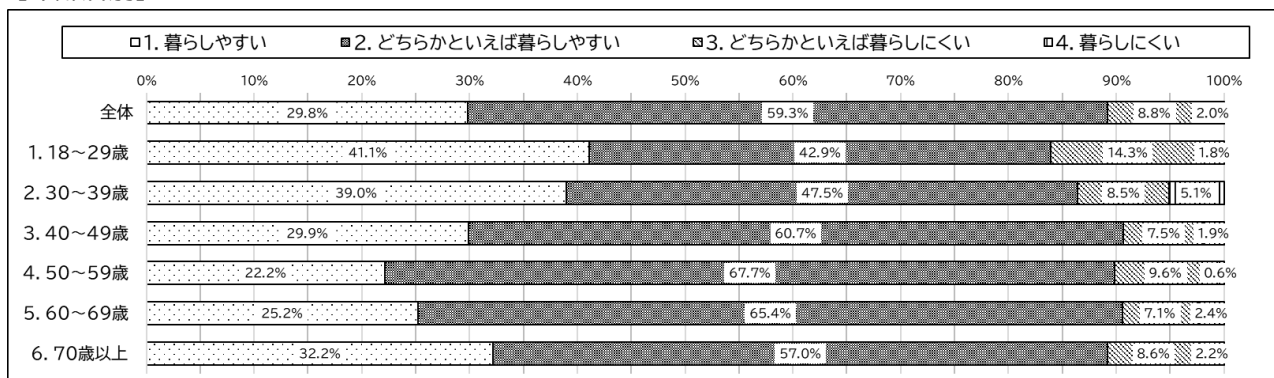
- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. 暮らしやすい         | 2. どちらかといえば暮らしやすい |
| 3. どちらかといえば暮らしにくい | 4. 暮らしにくい         |

全体では「1. 暮らしやすい」+「2. どちらかといえば暮らしやすい」の割合が89.1%と、非常に多くの方が交野市は暮らしやすいまちであると答えています。

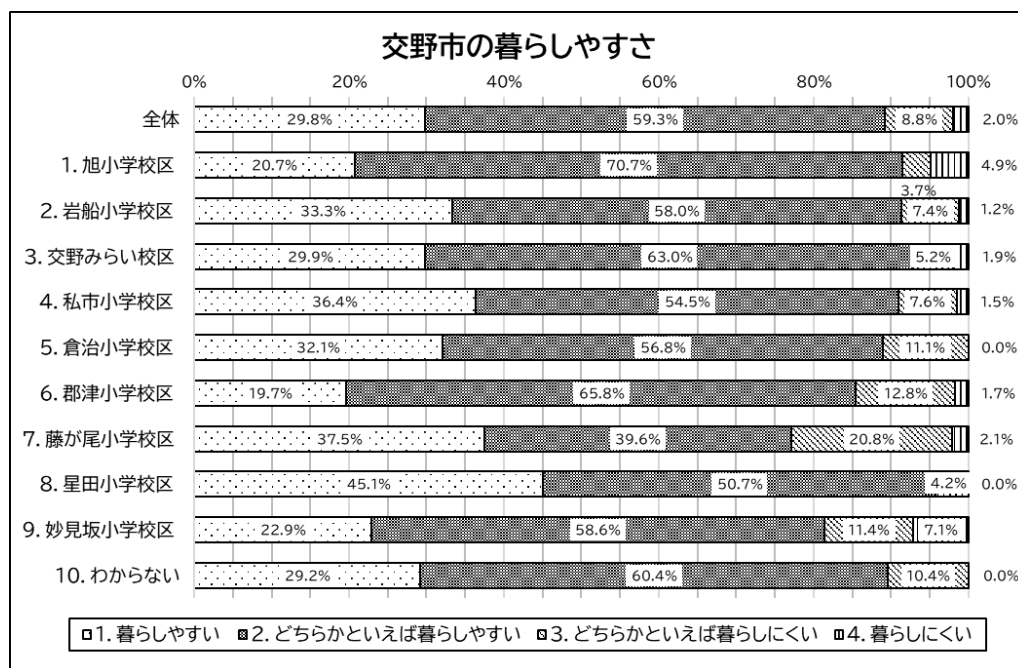
Q2. あなたやあなたの家族にとって、交野市は「暮らしやすいまち」だと思いますか。(選択は1つ) (n=831)

選択肢	全体		1. 18~29歳		2. 30~39歳		3. 40~49歳		4. 50~59歳		5. 60~69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 暮らしやすい	248	29.8%	23	41.1%	23	39.0%	32	29.9%	37	22.2%	32	25.2%	101	32.2%	0	0.0%
2. どちらかといえば暮らしやすい	493	59.3%	24	42.9%	28	47.5%	65	60.7%	113	67.7%	83	65.4%	179	57.0%	1	100.0%
3. どちらかといえば暮らしにくい	73	8.8%	8	14.3%	5	8.5%	8	7.5%	16	9.6%	9	7.1%	27	8.6%	0	0.0%
4. 暮らしにくい	17	2.0%	1	1.8%	3	5.1%	2	1.9%	1	0.6%	3	2.4%	7	2.2%	0	0.0%
計	831	100.0%	56	100.0%	59	100.0%	107	100.0%	167	100.0%	127	100.0%	314	100.0%	1	100.0%
無回答	9		0		0		0		1		0		5		3	

### 【年齢層別】



### 【地区別】



問3 あなたやあなたの家族にとって、現在のお住まいの小学校区は「暮らしやすいまち」だと思いますか。(選択は1つ)

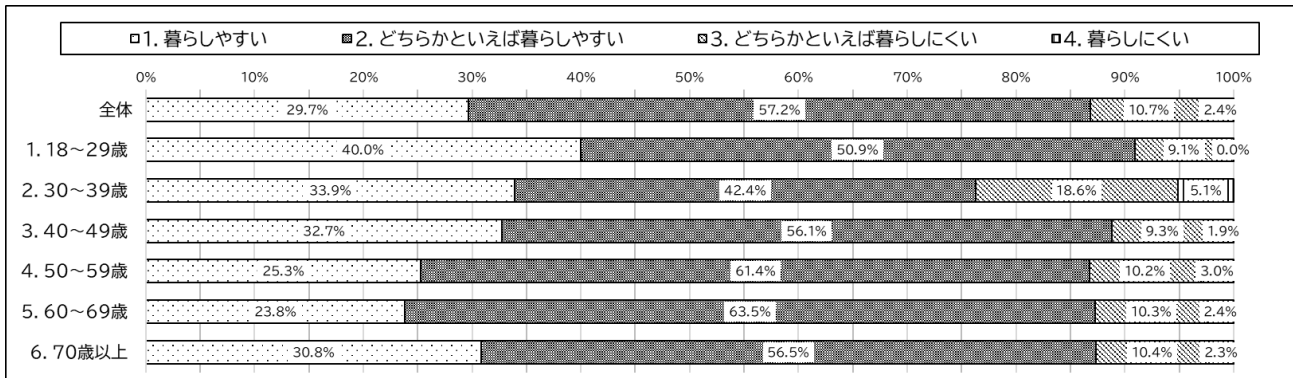
- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. 暮らしやすい         | 2. どちらかといえば暮らしやすい |
| 3. どちらかといえば暮らしにくい | 4. 暮らしにくい         |

「1. 暮らしやすい」+「2. どちらかといえば暮らしやすい」の割合が高かった校区は、①星田97.1%②岩船91.4%③倉治89.8%となっており、逆に「3. どちらかといえば暮らしにくい」+「4. 暮らしにくい」の割合が高かった校区は①藤が尾26.1%②妙見坂22.2%③郡津14.6%の順になっています。

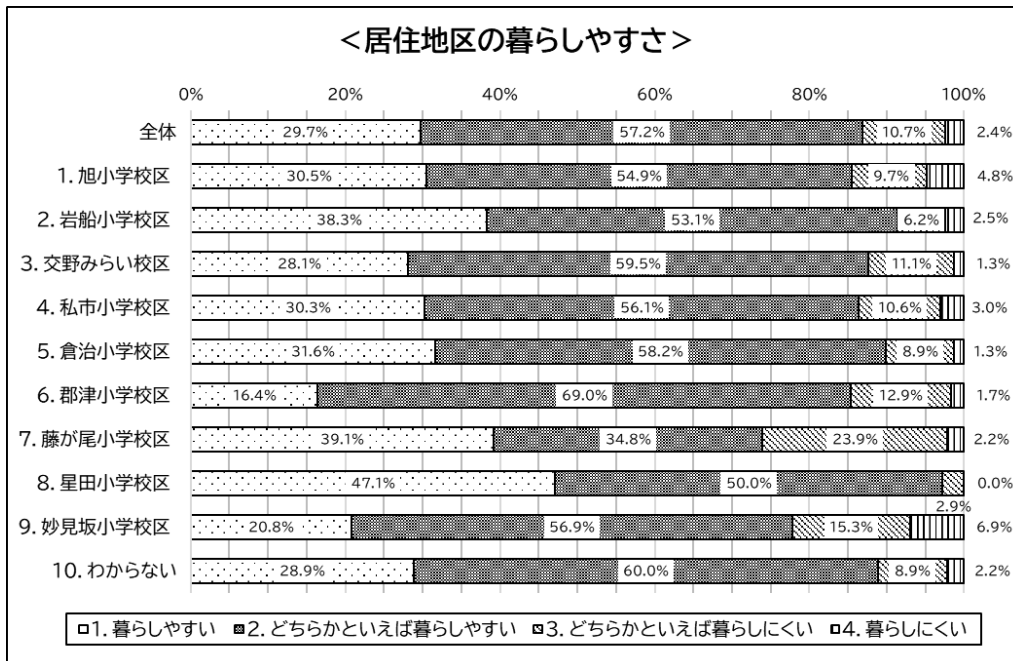
Q3. あなたやあなたの家族にとって、現在のお住まいの小学校区は「暮らしやすいまち」だと思いますか。(選択は1つ) (n=822)

選択肢	全体		1. 18～29歳		2. 30～39歳		3. 40～49歳		4. 50～59歳		5. 60～69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 暮らしやすい	244	29.7%	22	40.0%	20	33.9%	35	32.7%	42	25.3%	30	23.8%	95	30.8%	0	0.0%
2. どちらかといえば暮らしやすい	470	57.2%	28	50.9%	25	42.4%	60	56.1%	102	61.4%	80	63.5%	174	56.5%	1	100.0%
3. どちらかといえば暮らしにくい	88	10.7%	5	9.1%	11	18.6%	10	9.3%	17	10.2%	13	10.3%	32	10.4%	0	0.0%
4. 暮らしにくい	20	2.4%	0	0.0%	3	5.1%	2	1.9%	5	3.0%	3	2.4%	7	2.3%	0	0.0%
計	822	100.0%	55	100.0%	59	100.0%	107	100.0%	166	100.0%	126	100.0%	308	100.0%	1	100.0%
無回答	18		1		0		0		2		1		11		3	

【年齢層別】



【地区別】



問4 交野市の地域福祉に対してどのような印象をお持ちですか。(選択は1つずつ)

	そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
子育て家庭が暮らしやすいまち	1	2	3	4	5
障がいのある人が暮らしやすいまち	1	2	3	4	5
高齢者が暮らしやすいまち	1	2	3	4	5
地域住民の活動が盛んなまち	1	2	3	4	5
困ったときに、隣近所で助け合えるまち	1	2	3	4	5
一人ひとりの人権が尊重されているまち	1	2	3	4	5

項目ごとに比較した場合、「1. そう思う」+「2. まあそう思う」の割合が高いのは、「子育て家庭が暮らしやすいまち」が56.8%で最も高く、次いで「一人ひとりの人権が尊重されているまち」が38.7%となっています。一方で、「3. あまりそう思わない」+「4. そう思わない」の割合が高いのは、「地域住民の活動が盛んなまち」が28.1%で最も高く、次いで「高齢者が暮らしやすいまち」が27.0%となっています。

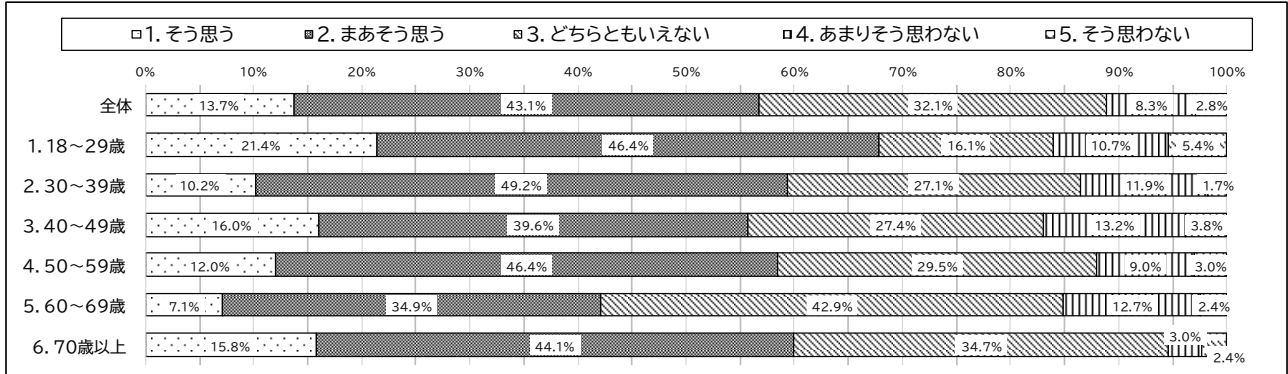
(各項目の回答詳細は次ページ以降を参照)

Q4. 交野市の地域福祉に対してどのような印象をお持ちですか。(それぞれの項目について、選択は1つ)

選択肢	子育て家庭が暮らしやすいまち (n=810)		障がいのある人が暮らしやすいまち (n=809)		高齢者が暮らしやすいまち (n=817)		地域住民の活動が盛んなまち (n=807)		困ったときに、隣近所で助け合えるまち (n=816)		一人ひとりの人権が尊重されているまち (n=817)	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. そう思う	111	13.7%	33	4.1%	42	5.1%	49	6.1%	63	7.7%	48	5.9%
2. まあそう思う	349	43.1%	175	21.6%	253	31.0%	212	26.3%	240	29.4%	268	32.8%
3. どちらともいえない	260	32.1%	413	51.1%	301	36.8%	319	39.5%	296	36.3%	390	47.7%
4. あまりそう思わない	67	8.3%	144	17.8%	166	20.3%	175	21.7%	167	20.5%	86	10.5%
5. そう思わない	23	2.8%	44	5.4%	55	6.7%	52	6.4%	50	6.1%	25	3.1%
計	810	100.0%	809	100.0%	817	100.0%	807	100.0%	816	100.0%	817	100.0%
加重平均	3.57		3.01		3.07		3.04		3.12		3.28	

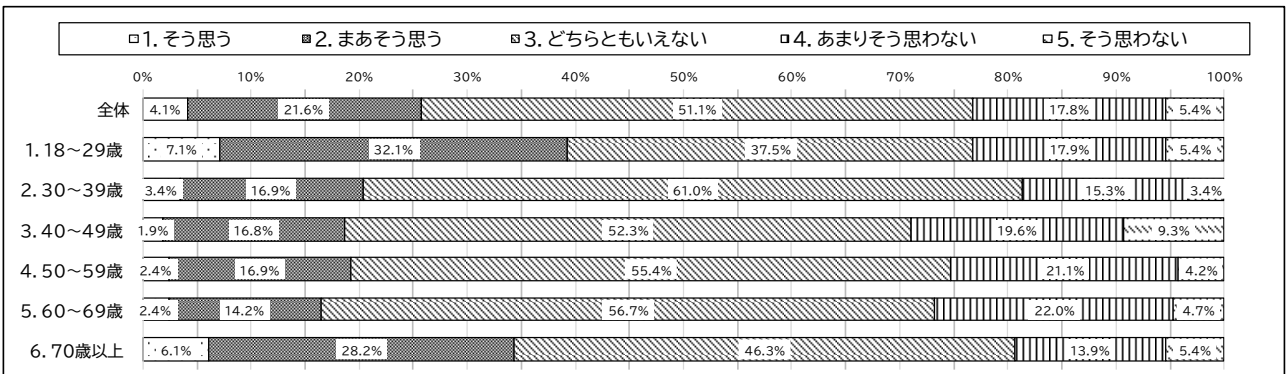
子育て家庭が暮らしやすいまち (n=810)

選択肢	全体		1.18~29歳		2.30~39歳		3.40~49歳		4.50~59歳		5.60~69歳		6.70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. そう思う	111	13.7%	12	21.4%	6	10.2%	17	16.0%	20	12.0%	9	7.1%	47	15.8%	0	0.0%
2. まあそう思う	349	43.1%	26	46.4%	29	49.2%	42	39.6%	77	46.4%	44	34.9%	131	44.1%	0	0.0%
3. どちらともいえない	260	32.1%	9	16.1%	16	27.1%	29	27.4%	49	29.5%	54	42.9%	103	34.7%	0	0.0%
4. あまりそう思わない	67	8.3%	6	10.7%	7	11.9%	14	13.2%	15	9.0%	16	12.7%	9	3.0%	0	0.0%
5. そう思わない	23	2.8%	3	5.4%	1	1.7%	4	3.8%	5	3.0%	3	2.4%	7	2.4%	0	0.0%
計	810	100.0%	56	100.0%	59	100.0%	106	100.0%	166	100.0%	126	100.0%	297	100.0%	0	0.0%
無回答	30		0		0		1		2		1		22		4	



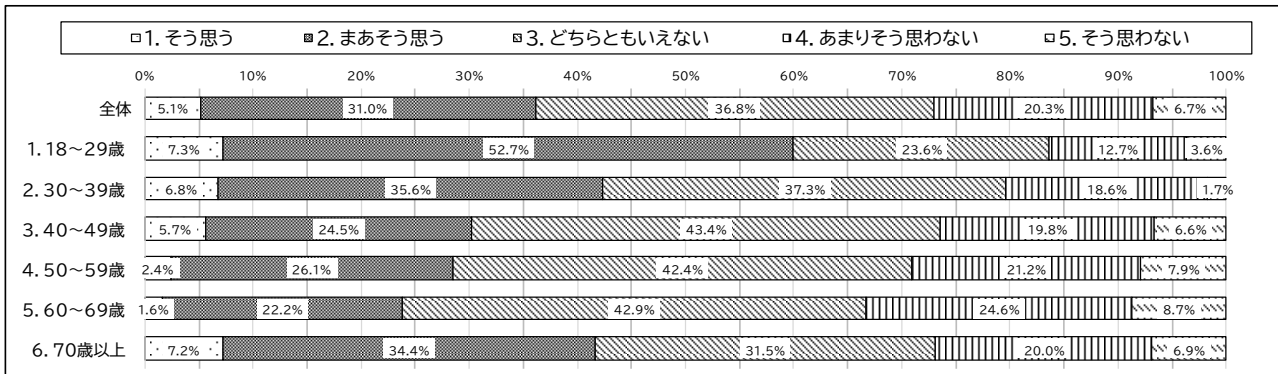
障がいのある人が暮らしやすいまち (n=809)

選択肢	全体		1.18~29歳		2.30~39歳		3.40~49歳		4.50~59歳		5.60~69歳		6.70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. そう思う	33	4.1%	4	7.1%	2	3.4%	2	1.9%	4	2.4%	3	2.4%	18	6.1%	0	0.0%
2. まあそう思う	175	21.6%	18	32.1%	10	16.9%	18	16.8%	28	16.9%	18	14.2%	83	28.2%	0	0.0%
3. どちらともいえない	413	51.1%	21	37.5%	36	61.0%	56	52.3%	92	55.4%	72	56.7%	136	46.3%	0	0.0%
4. あまりそう思わない	144	17.8%	10	17.9%	9	15.3%	21	19.6%	35	21.1%	28	22.0%	41	13.9%	0	0.0%
5. そう思わない	44	5.4%	3	5.4%	2	3.4%	10	9.3%	7	4.2%	6	4.7%	16	5.4%	0	0.0%
計	809	100.0%	56	100.0%	59	100.0%	107	100.0%	166	100.0%	127	100.0%	294	100.0%	0	0.0%
無回答	31		0		0		0		2		0		25		4	



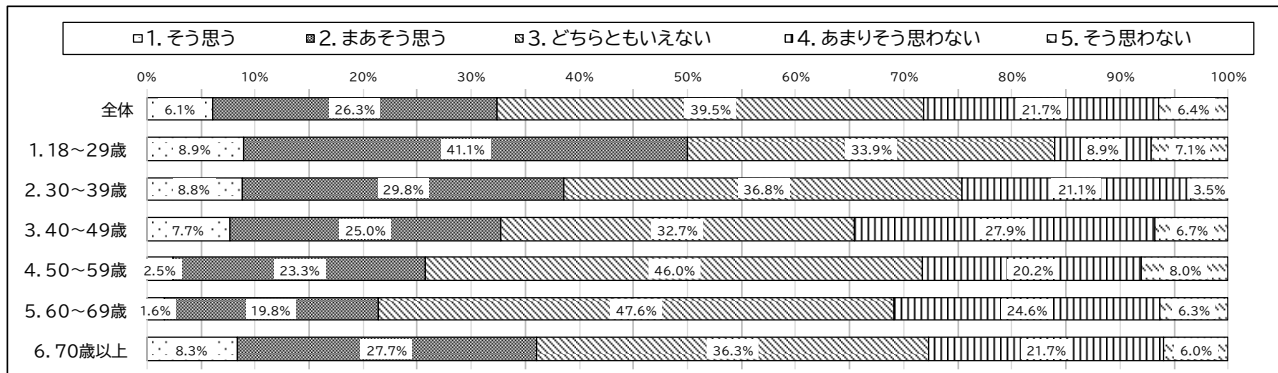
高齢者が暮らしやすいまち (n=817)

選択肢	全体		1. 18~29歳		2. 30~39歳		3. 40~49歳		4. 50~59歳		5. 60~69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. そう思う	42	5.1%	4	7.3%	4	6.8%	6	5.7%	4	2.4%	2	1.6%	22	7.2%	0	0.0%
2. まあそう思う	253	31.0%	29	52.7%	21	35.6%	26	24.5%	43	26.1%	28	22.2%	105	34.4%	1	100.0%
3. どちらともいえない	301	36.8%	13	23.6%	22	37.3%	46	43.4%	70	42.4%	54	42.9%	96	31.5%	0	0.0%
4. あまりそう思わない	166	20.3%	7	12.7%	11	18.6%	21	19.8%	35	21.2%	31	24.6%	61	20.0%	0	0.0%
5. そう思わない	55	6.7%	2	3.6%	1	1.7%	7	6.6%	13	7.9%	11	8.7%	21	6.9%	0	0.0%
計	817	100.0%	55	100.0%	59	100.0%	106	100.0%	165	100.0%	126	100.0%	305	100.0%	1	100.0%
無回答	23		1		0		1		3		1		14		3	



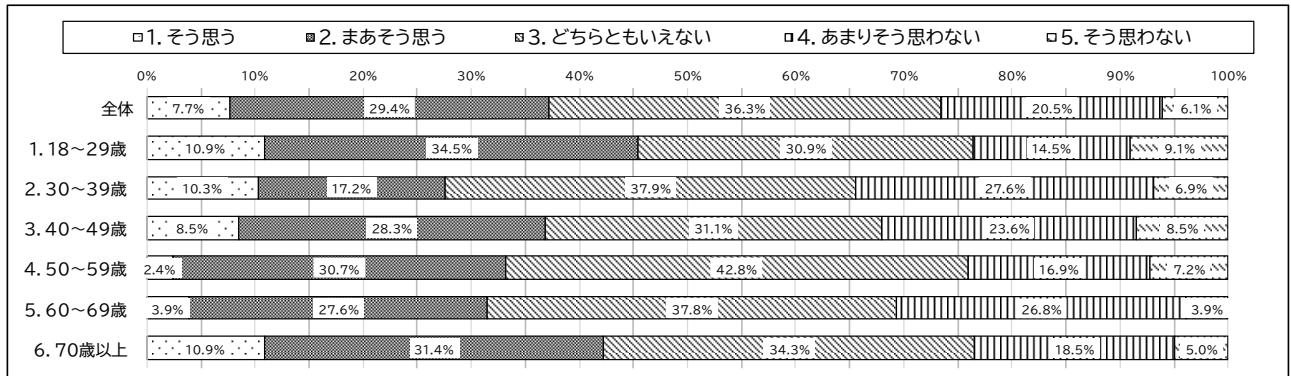
地域住民の活動が盛んなまち (n=807)

選択肢	全体		1. 18~29歳		2. 30~39歳		3. 40~49歳		4. 50~59歳		5. 60~69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. そう思う	49	6.1%	5	8.9%	5	8.8%	8	7.7%	4	2.5%	2	1.6%	25	8.3%	0	0.0%
2. まあそう思う	212	26.3%	23	41.1%	17	29.8%	26	25.0%	38	23.3%	25	19.8%	83	27.7%	0	0.0%
3. どちらともいえない	319	39.5%	19	33.9%	21	36.8%	34	32.7%	75	46.0%	60	47.6%	109	36.3%	1	100.0%
4. あまりそう思わない	175	21.7%	5	8.9%	12	21.1%	29	27.9%	33	20.2%	31	24.6%	65	21.7%	0	0.0%
5. そう思わない	52	6.4%	4	7.1%	2	3.5%	7	6.7%	13	8.0%	8	6.3%	18	6.0%	0	0.0%
計	807	100.0%	56	100.0%	57	100.0%	104	100.0%	163	100.0%	126	100.0%	300	100.0%	1	100.0%
無回答	33		0		2		3		5		1		19		3	



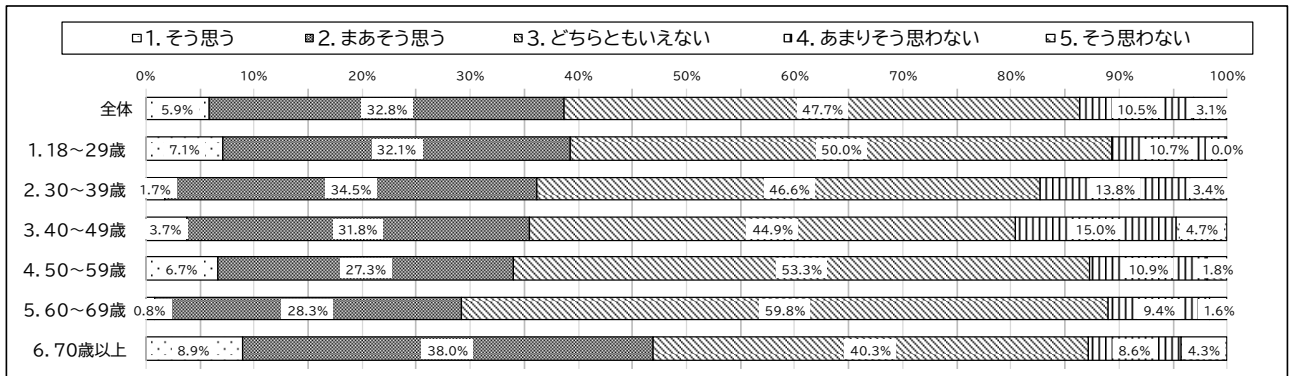
困ったときに、隣近所で助け合えるまち (n=816)

選択肢	全体		1.18~29歳		2.30~39歳		3.40~49歳		4.50~59歳		5.60~69歳		6.70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. そう思う	63	7.7%	6	10.9%	6	10.3%	9	8.5%	4	2.4%	5	3.9%	33	10.9%	0	0.0%
2. まあそう思う	240	29.4%	19	34.5%	10	17.2%	30	28.3%	51	30.7%	35	27.6%	95	31.4%	0	0.0%
3. どちらともいえない	296	36.3%	17	30.9%	22	37.9%	33	31.1%	71	42.8%	48	37.8%	104	34.3%	1	100.0%
4. あまりそう思わない	167	20.5%	8	14.5%	16	27.6%	25	23.6%	28	16.9%	34	26.8%	56	18.5%	0	0.0%
5. そう思わない	50	6.1%	5	9.1%	4	6.9%	9	8.5%	12	7.2%	5	3.9%	15	5.0%	0	0.0%
計	816	100.0%	55	100.0%	58	100.0%	106	100.0%	166	100.0%	127	100.0%	303	100.0%	1	100.0%
無回答	24		1		1		1		2		0		16		3	



一人ひとりの人権が尊重されているまち (n=817)

選択肢	全体		1.18~29歳		2.30~39歳		3.40~49歳		4.50~59歳		5.60~69歳		6.70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. そう思う	48	5.9%	4	7.1%	1	1.7%	4	3.7%	11	6.7%	1	0.8%	27	8.9%	0	0.0%
2. まあそう思う	268	32.8%	18	32.1%	20	34.5%	34	31.8%	45	27.3%	36	28.3%	115	38.0%	0	0.0%
3. どちらともいえない	390	47.7%	28	50.0%	27	46.6%	48	44.9%	88	53.3%	76	59.8%	122	40.3%	1	100.0%
4. あまりそう思わない	86	10.5%	6	10.7%	8	13.8%	16	15.0%	18	10.9%	12	9.4%	26	8.6%	0	0.0%
5. そう思わない	25	3.1%	0	0.0%	2	3.4%	5	4.7%	3	1.8%	2	1.6%	13	4.3%	0	0.0%
計	817	100.0%	56	100.0%	58	100.0%	107	100.0%	165	100.0%	127	100.0%	303	100.0%	1	100.0%
無回答	23		0		1		0		3		0		16		3	



問5 次ページに挙げた地域福祉に関する項目について、どの程度重要だと思いますか。また、どの程度満足していますか。(すべての項目について、「重要度」「満足度」それぞれに○を1つずつ)

大項目	小項目
①居場所・生きがい	日頃気軽に集まれる場所
	気軽に相談できる人の有無
	様々な立場の人が活躍できる場の設定
	生きがいづくり
	ボランティアやNPO団体の活動への支援・育成
	学びの場の提供
	青少年の健全育成支援、福祉教育
②多様な社会参加、社会とのつながり	多様な社会参加の機会の提供
	権利擁護を育むための活動
	隣近所の交流やあいさつなどの声掛け
	手助けが必要な方へ見守りや助け合い
③安心して暮らせる地域	困ったときにどんな問題でも相談できる場所や人
	困ったときの相談機関や有償無償サービスなどの情報提供
	孤立防止、自殺対策
	行政による相談窓口や活動団体への支援体制の充実
	福祉が必要な方を地域の力で支えるしくみ
	健康づくりへの支援
	教育や子育ての支援
	高齢者への支援
	障がいのある人への支援
	災害時も安心できる地域
	安全や治安への取り組み
	子どもの登下校の見守り
	防災訓練
	防犯のための巡回
	生活困窮者への支援
引きこもり支援	
④社会資源	民間団体、企業、有償ボランティア等による生活支援サービス
	地域の様々な主体が参加して話し合う場の設定・開催
	行政、社会福祉協議会、事業者、ボランティア、NPO等と住民組織との連携
	見守り活動等の相互援助
⑤多分野・多世代のつながり	地元企業と福祉の連携
	地域の人材や設備などの有効活用
	地域活動のリーダー的人材の発掘及び育成
	世代間の交流
⑥社会参加の場	様々な状況・立場の人が働ける場の整備
	多様な働き方ができる環境
	ボランティア活動の場・機会
⑦共通の興味・関心から生じるつながり	お祭りや運動会などの行事
	文化・スポーツでのつながり
	町内会、自治会等の組織の維持
	校区福祉委員会を中心とした地域福祉活動
	公民館等の地域活動の機能強化
⑧住みよい環境	まちの清掃活動
	公共交通機関やインフラの整備
	多様性を認め合い、支え合う意識の啓発
	自然保護や地域美化活動

※ 各項目の選択肢

重要度						満足度					
重要である	まあ重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	わからない	満足している	まあ満足	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない	わからない
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

「①居場所・生きがい」に関しては、「青少年の健全育成支援」を重要と考える人が多く、満足度では「気軽に相談できる人の有無」が高くなっている一方、「学びの場の提供」に対する満足度が、この項目内の比較では低くなっています。

①居場所・生きがい【重要度】

選択肢	日頃気軽に集まれる場所		気軽に相談できる人の有無		様々な立場の人が活躍できる場の設定		生きがいづくり		ボランティアやNPO団体の活動の活性化		学びの場の提供		青少年の健全育成支援	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.重要である	176	21.5%	272	33.5%	178	22.0%	229	28.2%	141	17.3%	223	27.5%	252	31.3%
2.まあ重要である	361	44.1%	338	41.6%	346	42.8%	365	45.0%	364	44.7%	380	46.9%	351	43.5%
3.どちらともいえない	140	17.1%	120	14.8%	178	22.0%	133	16.4%	208	25.5%	141	17.4%	131	16.3%
4.あまり重要でない	85	10.4%	49	6.0%	51	6.3%	31	3.8%	36	4.4%	16	2.0%	11	1.4%
5.重要でない	14	1.7%	11	1.4%	9	1.1%	13	1.6%	13	1.6%	8	1.0%	6	0.7%
6.わからない	42	5.1%	23	2.8%	47	5.8%	41	5.0%	53	6.5%	42	5.2%	55	6.8%
計	818	100.0%	813	100.0%	809	100.0%	812	100.0%	815	100.0%	810	100.0%	806	100.0%
加重平均	3.77		4.03		3.83		3.99		3.77		4.03		4.11	

①居場所・生きがい【満足度】

選択肢	日頃気軽に集まれる場所		気軽に相談できる人の有無		様々な立場の人が活躍できる場の設定		生きがいづくり		ボランティアやNPO団体の活動の活性化		学びの場の提供		青少年の健全育成支援	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.重要である	35	4.4%	69	8.7%	21	2.6%	29	3.7%	20	2.5%	17	2.2%	15	1.9%
2.まあ重要である	136	17.2%	182	23.0%	108	13.6%	143	18.0%	81	10.3%	139	17.6%	116	14.8%
3.どちらともいえない	342	43.1%	305	38.5%	391	49.3%	378	47.7%	407	51.6%	338	42.9%	369	46.9%
4.あまり重要でない	115	14.5%	119	15.0%	108	13.6%	96	12.1%	90	11.4%	115	14.6%	91	11.6%
5.重要でない	79	10.0%	60	7.6%	57	7.2%	52	6.6%	40	5.1%	65	8.2%	36	4.6%
6.わからない	86	10.8%	57	7.2%	108	13.6%	95	12.0%	150	19.0%	114	14.5%	159	20.2%
計	793	100.0%	792	100.0%	793	100.0%	793	100.0%	788	100.0%	788	100.0%	786	100.0%
加重平均	2.91		3.11		2.89		3.00		2.92		2.89		2.97	

「②多様な社会参加、社会とのつながり」に関しては、「手助けが必要な方への見守りや助け合い」を重要と考える人が多く、満足度では「隣近所の交流やあいさつなどの声掛け」が高くなっている一方、「権利擁護を育むための活動」に対する満足度が、この項目内の比較では低くなっています。

②多様な社会参加、社会とのつながり【重要度】

選択肢	多様な社会参加の機会の提供		権利擁護を育むための活動		隣近所の交流やあいさつなどの声掛け		手助けが必要な方へ見守りや助け合い	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.重要である	140	17.6%	111	13.9%	252	31.1%	292	35.9%
2.まあ重要である	363	45.6%	311	39.0%	409	50.4%	400	49.1%
3.どちらともいえない	183	23.0%	238	29.9%	105	12.9%	92	11.3%
4.あまり重要でない	37	4.6%	36	4.5%	22	2.7%	3	0.4%
5.重要でない	8	1.0%	14	1.8%	8	1.0%	7	0.9%
6.わからない	65	8.2%	87	10.9%	15	1.8%	20	2.5%
計	796	100.0%	797	100.0%	811	100.0%	814	100.0%
加重平均	3.81		3.66		4.10		4.22	

②多様な社会参加、社会とのつながり【満足度】

選択肢	多様な社会参加の機会の提供		権利擁護を育むための活動		隣近所の交流やあいさつなどの声掛け		手助けが必要な方へ見守りや助け合い	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
重要である	18	2.3%	15	1.9%	74	9.4%	35	4.4%
まあ重要である	96	12.4%	66	8.5%	309	39.3%	171	21.7%
どちらともいえない	384	49.6%	426	55.0%	264	33.5%	356	45.2%
あまり重要でない	99	12.8%	66	8.5%	72	9.1%	99	12.6%
重要でない	28	3.6%	28	3.6%	26	3.3%	40	5.1%
わからない	149	19.3%	174	22.5%	42	5.3%	86	10.9%
計	774	100.0%	775	100.0%	787	100.0%	787	100.0%
加重平均	2.96		2.96		3.45		3.09	

「③安心して暮らせる地域」に関しては、「災害時も安心できる地域」や「安全や治安への取り組み」を重要と考える人が多く、満足度では「子どもの登下校の見守り」や「防災訓練」が高くなっている一方、「行政による相談窓口や活動団体への支援体制の充実」や「孤立防止、自殺対策」に対する満足度が、この項目内の比較では低くなっています。

③安心して暮らせる地域【重要度】

選択肢	困ったときにどんな問題でも相談できる場所や人		困ったときの相談機関や有償無償サービスなどの情報提供		孤立防止、自殺対策		行政による相談窓口や活動団体への支援体制の充実		福祉が必要な方を地域の力で支えるしくみ		健康づくりへの支援		教育や子育てへの支援		高齢者への支援	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.重要である	332	40.6%	365	44.8%	353	43.4%	286	35.4%	291	35.8%	257	31.7%	361	44.7%	362	44.4%
2.まあ重要である	367	44.9%	363	44.5%	327	40.2%	364	45.0%	365	45.0%	381	47.0%	329	40.8%	342	41.9%
3.どちらともいえない	74	9.0%	57	7.0%	90	11.1%	104	12.9%	102	12.6%	123	15.2%	71	8.8%	71	8.7%
4.あまり重要でない	13	1.6%	5	0.6%	6	0.7%	9	1.1%	12	1.5%	19	2.3%	8	1.0%	9	1.1%
5.重要でない	5	0.6%	3	0.4%	3	0.4%	7	0.9%	8	1.0%	5	0.6%	4	0.5%	6	0.7%
6.わからない	27	3.3%	22	2.7%	35	4.3%	39	4.8%	34	4.2%	26	3.2%	34	4.2%	26	3.2%
計	818	100.0%	815	100.0%	814	100.0%	809	100.0%	812	100.0%	811	100.0%	807	100.0%	816	100.0%
加重平均		4.27		4.36		4.31		4.19		4.18		4.10		4.34		4.32

③安心して暮らせる地域【重要度】 つづき

選択肢	障がいのある人への支援		災害時も安心できる地域		安全や治安への取り組み		子どもの登下校の見守り		防災訓練		防犯のための巡回		生活困窮者への支援		引きこもり支援	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.重要である	371	45.7%	463	57.0%	444	54.5%	353	43.3%	276	34.1%	304	37.4%	252	31.0%	217	26.6%
2.まあ重要である	320	39.5%	265	32.6%	295	36.2%	348	42.7%	370	45.7%	356	43.8%	328	40.4%	325	39.9%
3.どちらともいえない	84	10.4%	54	6.7%	49	6.0%	73	9.0%	115	14.2%	107	13.2%	152	18.7%	176	21.6%
4.あまり重要でない	3	0.4%	6	0.7%	5	0.6%	11	1.3%	15	1.9%	20	2.5%	20	2.5%	25	3.1%
5.重要でない	3	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	5	0.6%	5	0.6%	2	0.2%	13	1.6%	14	1.7%
6.わからない	30	3.7%	24	3.0%	22	2.7%	25	3.1%	28	3.5%	24	3.0%	47	5.8%	58	7.1%
計	811	100.0%	812	100.0%	815	100.0%	815	100.0%	809	100.0%	813	100.0%	812	100.0%	815	100.0%
加重平均		4.35		4.50		4.49		4.31		4.15		4.19		4.03		3.93

③安心して暮らせる地域【満足度】

選択肢	困ったときにどんな問題でも相談できる場所や人		困ったときの相談機関や有償無償サービスなどの情報提供		孤立防止、自殺対策		行政による相談窓口や活動団体への支援体制の充実		福祉が必要な方を地域の力で支えるしくみ		健康づくりへの支援		教育や子育てへの支援		高齢者への支援	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.重要である	32	4.1%	28	3.6%	14	1.8%	16	2.1%	21	2.7%	27	3.5%	27	3.5%	29	3.7%
2.まあ重要である	154	19.6%	117	14.9%	55	7.1%	89	11.4%	85	10.9%	211	27.1%	162	20.8%	140	17.9%
3.どちらともいえない	325	41.4%	344	43.8%	377	48.3%	365	46.9%	368	47.0%	339	43.5%	328	42.1%	340	43.5%
4.あまり重要でない	125	15.9%	129	16.4%	84	10.8%	109	14.0%	100	12.8%	76	9.7%	76	9.8%	91	11.7%
5.重要でない	47	6.0%	61	7.8%	37	4.7%	49	6.3%	47	6.0%	25	3.2%	45	5.8%	54	6.9%
6.わからない	102	13.0%	106	13.5%	213	27.3%	150	19.3%	162	20.7%	102	13.1%	141	18.1%	127	16.3%
計	785	100.0%	785	100.0%	780	100.0%	778	100.0%	783	100.0%	780	100.0%	779	100.0%	781	100.0%
加重平均		3.00		2.89		2.87		2.86		2.89		3.21		3.08		3.00

③安心して暮らせる地域【満足度】 つづき

選択肢	障がいのある人への支援		災害時も安心できる地域		安全や治安への取り組み		子どもの登下校の見守り		防災訓練		防犯のための巡回		生活困窮者への支援		引きこもり支援	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.重要である	20	2.6%	22	2.8%	32	4.1%	78	9.9%	32	4.1%	34	4.3%	16	2.0%	12	1.5%
2.まあ重要である	100	12.9%	125	16.0%	185	23.7%	300	38.2%	184	23.5%	161	20.4%	71	9.0%	47	6.0%
3.どちらともいえない	361	46.5%	348	44.6%	337	43.1%	240	30.5%	364	46.4%	353	44.8%	366	46.5%	373	47.3%
4.あまり重要でない	88	11.3%	114	14.6%	93	11.9%	40	5.1%	59	7.5%	86	10.9%	58	7.4%	65	8.2%
5.重要でない	43	5.5%	43	5.5%	33	4.2%	12	1.5%	27	3.4%	38	4.8%	27	3.4%	27	3.4%
6.わからない	165	21.2%	129	16.5%	102	13.0%	116	14.8%	118	15.1%	116	14.7%	249	31.6%	264	33.5%
計	777	100.0%	781	100.0%	782	100.0%	786	100.0%	784	100.0%	788	100.0%	787	100.0%	788	100.0%
加重平均		2.94		2.95		3.13		3.59		3.20		3.10		2.98		2.91

「④社会資源」に関しては、「見守り活動等の相互援助」を重要と考える人が多く、満足度でも「見守り活動等の相互援助」が高くなっている一方、「行政、社会福祉協議会、事業者、ボランティア、NPO等と住民組織との連携」に対する満足度が、この項目内の比較では低くなっています。

④社会資源【重要度】

選択肢	民間団体、企業、有償ボランティア等による生活支援サービス		地域の様々な主体が参加して話し合う場の設定・開催		行政、社会福祉協議会、事業者、ボランティア、NPO等と住民組織との連携		見守り活動等の相互援助	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.重要である	166	20.5%	122	15.1%	149	18.6%	171	21.3%
2.まあ重要である	352	43.5%	312	38.6%	344	42.9%	386	48.1%
3.どちらともいえない	187	23.1%	241	29.8%	185	23.1%	164	20.4%
4.あまり重要でない	29	3.6%	48	5.9%	26	3.2%	16	2.0%
5.重要でない	5	0.6%	12	1.5%	7	0.9%	4	0.5%
6.わからない	70	8.7%	73	9.0%	90	11.2%	61	7.6%
計	809	100.0%	808	100.0%	801	100.0%	802	100.0%
加重平均		3.87		3.66		3.85		3.95

④社会資源【満足度】

選択肢	民間団体、企業、有償ボランティア等による生活支援サービス		地域の様々な主体が参加して話し合う場の設定・開催		行政、社会福祉協議会、事業者、ボランティア、NPO等と住民組織との連携		見守り活動等の相互援助	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.重要である	8	1.0%	11	1.4%	9	1.1%	22	2.8%
2.まあ重要である	75	9.5%	82	10.3%	72	9.1%	128	16.3%
3.どちらともいえない	388	48.9%	377	47.4%	373	47.2%	360	46.0%
4.あまり重要でない	59	7.4%	69	8.7%	66	8.3%	43	5.5%
5.重要でない	17	2.1%	17	2.1%	19	2.4%	15	1.9%
6.わからない	246	31.0%	239	30.1%	252	31.9%	215	27.5%
計	793	100.0%	795	100.0%	791	100.0%	783	100.0%
加重平均		3.00		3.00		2.97		3.17

「⑤多分野・多世代のつながり」に関しては、「地域の人材や設備などの有効活用」を重要と考える人が多く、満足度では「世代間の交流」が高くなっている一方、「地域活動のリーダー的人材の発掘及び育成」に対する満足度が、この項目内の比較では低くなっています。

⑤多分野・多世代のつながり【重要度】

選択肢	地元企業と福祉の連携		地域の人材や設備などの有効活用		地域活動のリーダー的人材の発掘及び育成		世代間の交流	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 重要である	132	16.3%	174	21.5%	142	17.5%	138	17.0%
2. まあ重要である	334	41.3%	357	44.1%	326	40.2%	355	43.8%
3. どちらともいえない	218	26.9%	171	21.1%	213	26.3%	218	26.9%
4. あまり重要でない	28	3.5%	15	1.9%	36	4.4%	27	3.3%
5. 重要でない	7	0.9%	3	0.4%	13	1.6%	11	1.4%
6. わからない	90	11.1%	89	11.0%	81	10.0%	61	7.5%
計	809	100.0%	809	100.0%	811	100.0%	810	100.0%
加重平均		3.77		3.95		3.75		3.78

⑤多分野・多世代のつながり【満足度】

選択肢	地元企業と福祉の連携		地域の人材や設備などの有効活用		地域活動のリーダー的人材の発掘及び育成		世代間の交流	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 重要である	10	1.3%	6	0.8%	5	0.6%	15	1.9%
2. まあ重要である	53	6.8%	61	7.8%	51	6.5%	65	8.3%
3. どちらともいえない	356	45.5%	361	45.9%	370	47.0%	381	48.5%
4. あまり重要でない	69	8.8%	74	9.4%	73	9.3%	74	9.4%
5. 重要でない	30	3.8%	41	5.2%	33	4.2%	25	3.2%
6. わからない	265	33.8%	243	30.9%	256	32.5%	226	28.8%
計	783	100.0%	786	100.0%	788	100.0%	786	100.0%
加重平均		2.89		2.85		2.85		2.95

「⑥社会参加の場」に関しては、「多様な働き方ができる環境」を重要と考える人が多く、満足度では「ボランティア活動の場・機会」が高くなっている一方、「様々な状況・立場の人が働ける場の整備」に対する満足度が、この項目内の比較では低くなっています。

⑥社会参加の場【重要度】

選択肢	様々な状況・立場の人が働ける場の整備		多様な働き方ができる環境		ボランティア活動の場・機会	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 重要である	272	33.7%	282	34.9%	185	23.1%
2. まあ重要である	352	43.6%	351	43.4%	357	44.6%
3. どちらともいえない	121	15.0%	108	13.4%	180	22.5%
4. あまり重要でない	16	2.0%	18	2.2%	21	2.6%
5. 重要でない	6	0.7%	3	0.4%	9	1.1%
6. わからない	40	5.0%	46	5.7%	49	6.1%
計	807	100.0%	808	100.0%	801	100.0%
加重平均		4.13		4.17		3.91

⑥社会参加の場【満足度】

選択肢	様々な状況・立場の人が働ける場の整備		多様な働き方ができる環境		ボランティア活動の場・機会	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 重要である	9	1.1%	12	1.5%	12	1.5%
2. まあ重要である	57	7.3%	58	7.4%	87	11.2%
3. どちらともいえない	357	45.4%	354	44.9%	382	49.0%
4. あまり重要でない	100	12.7%	102	12.9%	67	8.6%
5. 重要でない	50	6.4%	51	6.5%	27	3.5%
6. わからない	213	27.1%	211	26.8%	205	26.3%
計	786	100.0%	788	100.0%	780	100.0%
加重平均		2.78		2.79		2.98

「⑦共通の興味・関心から生じるつながり」に関しては、「まちの清掃活動」を重要と考える人が多く、満足度では「お祭りや運動会などの行事」が高くなっている一方、「公民館等の地域活動の機能強化」に対する満足度が、この項目内の比較では低くなっています。

⑦共通の興味・関心から生じるつながり【重要度】

選択肢	お祭りや運動会などの行事		文化・スポーツでのつながり		町内会、自治会等の組織の維持		校区福祉委員会を中心とした地域福祉活動		公民館等の地域活動の機能強化		まちの清掃活動	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 重要である	146	18.0%	140	17.2%	133	16.4%	106	13.1%	128	15.8%	162	20.0%
2. まあ重要である	348	43.0%	361	44.4%	325	40.0%	286	35.4%	338	41.8%	403	49.8%
3. どちらともいえない	198	24.4%	215	26.4%	209	25.7%	257	31.8%	209	25.9%	173	21.4%
4. あまり重要でない	60	7.4%	44	5.4%	63	7.8%	51	6.3%	51	6.3%	30	3.7%
5. 重要でない	28	3.5%	17	2.1%	50	6.2%	30	3.7%	27	3.3%	15	1.9%
6. わからない	30	3.7%	36	4.4%	32	3.9%	78	9.7%	55	6.8%	27	3.3%
計	810	100.0%	813	100.0%	812	100.0%	808	100.0%	808	100.0%	810	100.0%
加重平均		3.67		3.72		3.55		3.53		3.65		3.85

⑦共通の興味・関心から生じるつながり【満足度】

選択肢	お祭りや運動会などの行事		文化・スポーツでのつながり		町内会、自治会等の組織の維持		校区福祉委員会を中心とした地域福祉活動		公民館等の地域活動の機能強化		まちの清掃活動	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 重要である	45	5.7%	37	4.7%	44	5.6%	27	3.4%	34	4.3%	49	6.2%
2. まあ重要である	233	29.8%	180	22.9%	206	26.1%	125	15.9%	138	17.5%	243	30.9%
3. どちらともいえない	312	39.8%	351	44.7%	329	41.8%	344	43.8%	330	41.9%	291	37.0%
4. あまり重要でない	52	6.6%	62	7.9%	64	8.1%	50	6.4%	72	9.1%	66	8.4%
5. 重要でない	30	3.8%	23	2.9%	43	5.5%	21	2.7%	37	4.7%	38	4.8%
6. わからない	111	14.2%	133	16.9%	102	12.9%	218	27.8%	176	22.4%	100	12.7%
計	783	100.0%	786	100.0%	788	100.0%	785	100.0%	787	100.0%	787	100.0%
加重平均		3.31		3.22		3.21		3.15		3.10		3.29

「⑧住みよい環境」に関しては、「公共交通機関やインフラの整備」を重要と考える人が多く、満足度では「自然保護や地域美化活動」が高くなっている一方、「公共交通機関やインフラの整備」に対する満足度が、この項目内の比較では低くなっています。

⑧住みよい環境【重要度】

選択肢	公共交通機関やインフラの整備		多様性を認め合い、支え合う意識の啓発		自然保護や地域美化活動	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 重要である	466	57.6%	213	26.4%	305	37.8%
2. まあ重要である	255	31.5%	329	40.7%	365	45.2%
3. どちらともいえない	51	6.3%	176	21.8%	98	12.1%
4. あまり重要でない	10	1.2%	25	3.1%	9	1.1%
5. 重要でない	1	0.1%	15	1.9%	3	0.4%
6. わからない	26	3.2%	50	6.2%	27	3.3%
計	809	100.0%	808	100.0%	807	100.0%
加重平均		4.50		3.92		4.23

⑧住みよい環境【満足度】

選択肢	公共交通機関やインフラの整備		多様性を認め合い、支え合う意識の啓発		自然保護や地域美化活動	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 重要である	28	3.5%	18	2.3%	37	4.7%
2. まあ重要である	138	17.5%	85	10.8%	206	26.1%
3. どちらともいえない	216	27.3%	369	46.7%	298	37.8%
4. あまり重要でない	177	22.4%	90	11.4%	99	12.5%
5. 重要でない	172	21.8%	39	4.9%	48	6.1%
6. わからない	59	7.5%	189	23.9%	101	12.8%
計	790	100.0%	790	100.0%	789	100.0%
加重平均		2.55		2.92		3.12

問6 前ページまで(問5)の地域福祉に関する大項目①～⑧について、ひとかたまりずつ考えた場合と、それらを総合して交野市の地域福祉に関する取り組み全体に対する満足度と重要度をお答えください。

(すべての項目について、「満足度」「重要度」それぞれに○を1つずつ)

大項目	重要度						満足度					
	重要である	まあ重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	わからない	満足している	まあ満足	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない	わからない
①居場所・生きがい	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
②多様な社会参加、社会とのつながり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
③安心して暮らせる地域	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
④社会資源	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑤多分野・多世代のつながり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑥社会参加の場	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑦共通の興味・関心から生じるつながり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑧住みよい環境	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
①～⑧を総合的に考えた満足度・重要度	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

項目ごとの総合的な満足度・重要度に関しては、重要度では「③安心して暮らせる地域」が1位、「⑧住みよい環境」が2位、「①居場所・生きがい」が3位となっています。次に満足度についても、1位は同じく「③安心して暮らせる地域」で、2位と3位は、順位は逆ですが、重要度と同じく①、⑧となっています。

このとおり、重要度・満足度ともに上位3つが同じということは、多くの市民が重要だと思っている取り組みや施策について、多くの人々が一定程度満足できているということと言えます。

一般的に、重要度が高い項目は、地域の課題となりやすいものであり、対して、それに満足している人が多いということは、その課題に対してしっかりと対策や取り組みがされているからだと考えることができるため、そういう観点から、これらは交野市の「強み」であると考えられます。

大項目①～⑧と総合【重要度】

選択肢	①居場所・生きがい		②多様な社会参加、社会とのつながり		③安心して暮らせる地域		④社会資源		⑤多分野・多世代のつながり	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.重要である	333	41.2%	178	22.3%	468	57.8%	234	29.3%	156	19.5%
2.まあ重要である	344	42.6%	377	47.2%	297	36.7%	335	41.9%	331	41.3%
3.どちらともいえない	96	11.9%	172	21.6%	30	3.7%	148	18.5%	223	27.8%
4.あまり重要でない	9	1.1%	20	2.5%	3	0.4%	11	1.4%	33	4.1%
5.重要でない	6	0.7%	12	1.5%	2	0.2%	2	0.3%	11	1.4%
6.わからない	20	2.5%	39	4.9%	10	1.2%	69	8.6%	47	5.9%
計	808	100.0%	798	100.0%	810	100.0%	799	100.0%	801	100.0%
加重平均	4.26		3.91		4.53		4.08		3.78	

大項目①～⑧と総合【重要度】 つづき

選択肢	⑥社会参加の場		⑦共通の興味・関心から生じるつながり		⑧住みよい環境		①～⑧を総合的に考えた重要度	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.重要である	158	19.7%	156	19.4%	466	57.7%	189	26.2%
2.まあ重要である	356	44.3%	374	46.6%	285	35.3%	377	52.3%
3.どちらともいえない	201	25.0%	193	24.0%	40	5.0%	115	16.0%
4.あまり重要でない	32	4.0%	36	4.5%	4	0.5%	12	1.7%
5.重要でない	14	1.7%	12	1.5%	2	0.2%	2	0.3%
6.わからない	43	5.3%	32	4.0%	10	1.2%	26	3.6%
計	804	100.0%	803	100.0%	807	100.0%	721	100.0%
加重平均	3.80		3.81		4.52		4.06	

大項目①～⑧と総合【満足度】

選択肢	①居場所・生きがい		②多様な社会参加、社会とのつながり		③安心して暮らせる地域		④社会資源		⑤多分野・多世代のつながり	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.重要である	55	7.0%	17	2.2%	54	6.8%	15	1.9%	16	2.0%
2.まあ重要である	273	34.6%	133	16.9%	341	43.2%	123	15.8%	91	11.6%
3.どちらともいえない	299	37.9%	403	51.1%	271	34.3%	350	44.9%	403	51.5%
4.あまり重要でない	85	10.8%	85	10.8%	68	8.6%	90	11.5%	83	10.6%
5.重要でない	19	2.4%	22	2.8%	17	2.2%	17	2.2%	18	2.3%
6.わからない	58	7.4%	128	16.2%	39	4.9%	185	23.7%	171	21.9%
計	789	100.0%	788	100.0%	790	100.0%	780	100.0%	782	100.0%
加重平均	3.36		3.06		3.46		3.05		3.01	

大項目①～⑧と総合【満足度】 つづき

選択肢	⑥社会参加の場		⑦共通の興味・関心から生じるつながり		⑧住みよい環境		①～⑧を総合的に考えた満足度	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.重要である	15	1.9%	31	3.9%	51	6.5%	24	3.4%
2.まあ重要である	93	11.9%	126	16.0%	335	42.4%	199	27.8%
3.どちらともいえない	406	51.8%	394	50.1%	230	29.1%	317	44.3%
4.あまり重要でない	81	10.3%	74	9.4%	102	12.9%	92	12.9%
5.重要でない	14	1.8%	17	2.2%	37	4.7%	20	2.8%
6.わからない	175	22.3%	145	18.4%	35	4.4%	63	8.8%
計	784	100.0%	787	100.0%	790	100.0%	715	100.0%
加重平均	3.02		3.12		3.35		3.18	

問7 次のような考え方についてどう思いますか。(選択は1つずつ)

項目	そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
障がいのある人とない人が、ともに生きるため、役所や事業所は、社会の中にあるバリアを取り除くべき	1	2	3	4	5	6
生活保護を受けている人に対する偏見や差別がある	1	2	3	4	5	6
ひとり親家庭の自立を支援するために、地域のつながりが重要	1	2	3	4	5	6
虐待を防ぐために、地域のつながりが重要	1	2	3	4	5	6
DV(ドメスティックバイオレンス)被害を防ぐために、地域のつながりが重要	1	2	3	4	5	6
認知症の人やその家族を支えるためには、地域のつながりが重要	1	2	3	4	5	6
ひきこもりやニートの問題は、本人だけでなく社会全体の問題	1	2	3	4	5	6
ホームレスの問題は、本人だけでなく社会全体の問題	1	2	3	4	5	6
自殺の問題は、本人だけでなく社会全体の問題	1	2	3	4	5	6

項目ごとに比較した場合、「1. そう思う」+「2. まあそう思う」の割合が高いのは、「認知症の人やその家族を支えるためには、地域のつながりが重要」が85.2%で最も高く、次いで「虐待を防ぐために、地域のつながりが重要」が84.0%となっています。

一方で、「3. あまりそう思わない」+「4. そう思わない」の割合が高いのは、「生活保護を受けている人に対する偏見や差別がある」が22.3%で最も高く、次いで「ホームレスの問題は、本人だけでなく社会全体の問題」が13.7%となっています。

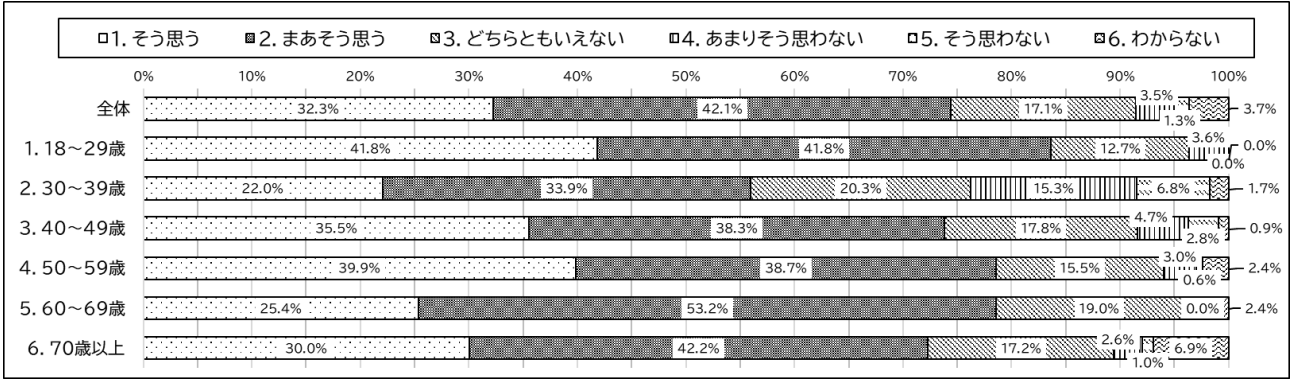
(各項目の回答詳細は次ページ以降を参照)

問7 次のような考え方についてどう思いますか。(選択は1つずつ)

	障がいのある人とない人が、ともに生きるため、役所や事業所は、社会の中にあるバリアを取り除くべき	生活保護を受けている人に対する偏見や差別がある	ひとり親家庭の自立を支援するために、地域のつながりが重要	虐待を防ぐために、地域のつながりが重要	DV(ドメスティックバイオレンス)被害を防ぐために、地域のつながりが重要	認知症の人やその家族を支えるためには、地域のつながりが重要	ひきこもりやニートの問題は、本人だけでなく社会全体の問題	ホームレスの問題は、本人だけでなく社会全体の問題	自殺の問題は、本人だけでなく社会全体の問題
1. そう思う	32.3%	7.3%	25.5%	39.2%	31.5%	38.2%	18.7%	14.9%	20.4%
2. まあそう思う	42.1%	20.8%	48.2%	44.8%	41.4%	47.0%	33.4%	29.0%	33.5%
3. どちらともいえない	17.1%	32.2%	17.5%	10.7%	16.6%	10.0%	29.9%	33.1%	27.0%
4. あまりそう思わない	3.5%	17.3%	4.0%	1.5%	3.4%	1.7%	6.9%	9.2%	6.8%
5. そう思わない	1.3%	8.1%	1.2%	0.6%	0.7%	0.9%	4.5%	6.3%	3.0%
6. わからない	3.7%	14.2%	3.5%	3.3%	6.2%	2.3%	6.7%	7.4%	9.3%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
加重平均	4.04	3.02	3.96	4.25	4.06	4.23	3.59	3.40	3.68

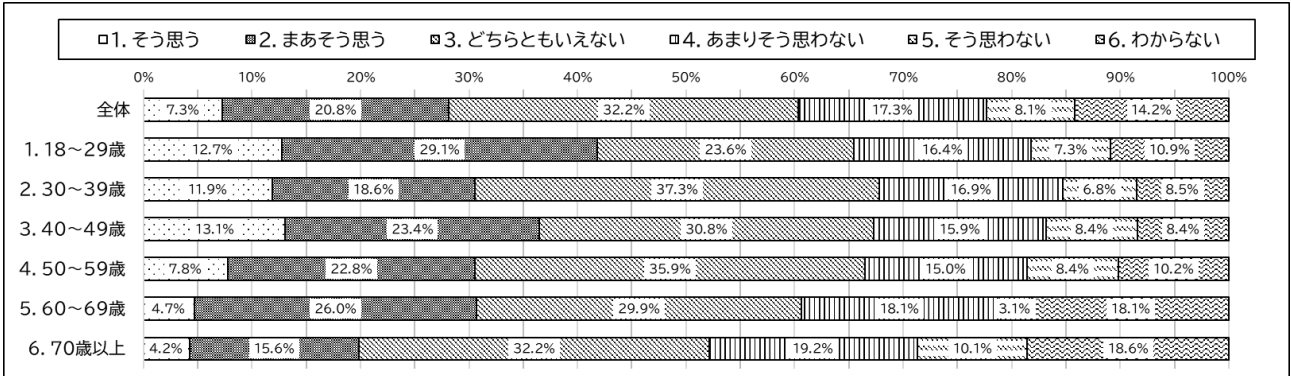
障がいのある人となない人が、ともに生きるため、役所や事業所は、社会の中にあるバリアを取り除くべき (n=821)

選択肢	全体		1. 18~29歳		2. 30~39歳		3. 40~49歳		4. 50~59歳		5. 60~69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. そう思う	265	32.3%	23	41.8%	13	22.0%	38	35.5%	67	39.9%	32	25.4%	91	30.0%	1	33.3%
2. まあそう思う	346	42.1%	23	41.8%	20	33.9%	41	38.3%	65	38.7%	67	53.2%	128	42.2%	2	66.7%
3. どちらともいえない	140	17.1%	7	12.7%	12	20.3%	19	17.8%	26	15.5%	24	19.0%	52	17.2%	0	0.0%
4. あまりそう思わない	29	3.5%	2	3.6%	9	15.3%	5	4.7%	5	3.0%	0	0.0%	8	2.6%	0	0.0%
5. そう思わない	11	1.3%	0	0.0%	4	6.8%	3	2.8%	1	0.6%	0	0.0%	3	1.0%	0	0.0%
6. わからない	30	3.7%	0	0.0%	1	1.7%	1	0.9%	4	2.4%	3	2.4%	21	6.9%	0	0.0%
計	821	100.0%	55	100.0%	59	100.0%	107	100.0%	168	100.0%	126	100.0%	303	100.0%	3	100.0%
無回答	19		1		0		0		0		1		16		1	



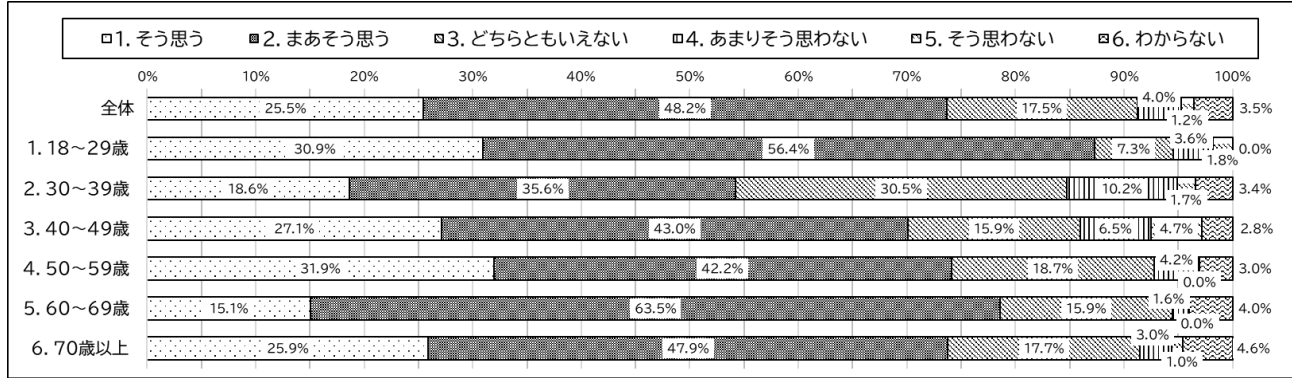
生活保護を受けている人に対する偏見や差別がある (n=825)

選択肢	全体		1. 18~29歳		2. 30~39歳		3. 40~49歳		4. 50~59歳		5. 60~69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. そう思う	60	7.3%	7	12.7%	7	11.9%	14	13.1%	13	7.8%	6	4.7%	13	4.2%	0	0.0%
2. まあそう思う	172	20.8%	16	29.1%	11	18.6%	25	23.4%	38	22.8%	33	26.0%	48	15.6%	1	33.3%
3. どちらともいえない	266	32.2%	13	23.6%	22	37.3%	33	30.8%	60	35.9%	38	29.9%	99	32.2%	1	33.3%
4. あまりそう思わない	143	17.3%	9	16.4%	10	16.9%	17	15.9%	25	15.0%	23	18.1%	59	19.2%	0	0.0%
5. そう思わない	67	8.1%	4	7.3%	4	6.8%	9	8.4%	14	8.4%	4	3.1%	31	10.1%	1	33.3%
6. わからない	117	14.2%	6	10.9%	5	8.5%	9	8.4%	17	10.2%	23	18.1%	57	18.6%	0	0.0%
計	825	100.0%	55	100.0%	59	100.0%	107	100.0%	167	100.0%	127	100.0%	307	100.0%	3	100.0%
無回答	15		1		0		0		1		0		12		1	



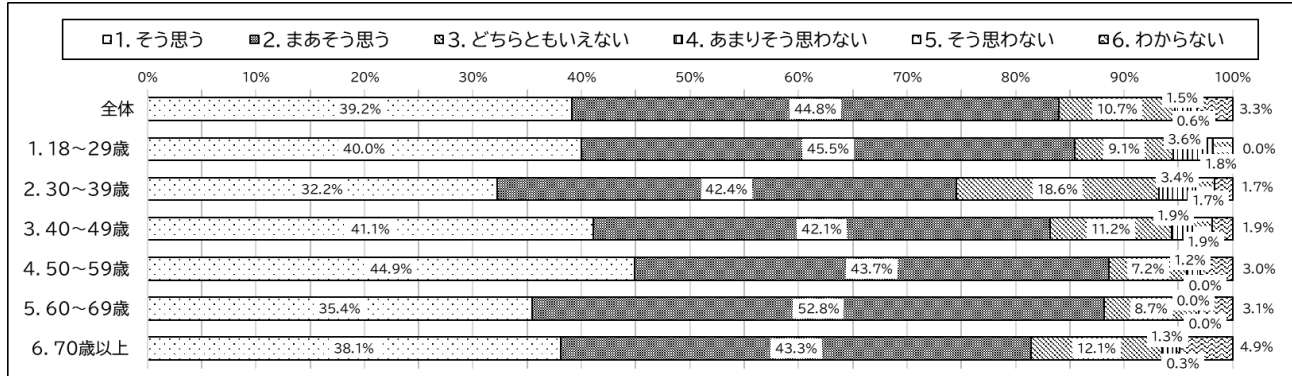
ひとり親家庭の自立を支援するために、地域のつながりが重要 (n=821)

選択肢	全体		1. 18~29歳		2. 30~39歳		3. 40~49歳		4. 50~59歳		5. 60~69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. そう思う	209	25.5%	17	30.9%	11	18.6%	29	27.1%	53	31.9%	19	15.1%	79	25.9%	1	33.3%
2. まあそう思う	396	48.2%	31	56.4%	21	35.6%	46	43.0%	70	42.2%	80	63.5%	146	47.9%	2	66.7%
3. どちらともいえない	144	17.5%	4	7.3%	18	30.5%	17	15.9%	31	18.7%	20	15.9%	54	17.7%	0	0.0%
4. あまりそう思わない	33	4.0%	2	3.6%	6	10.2%	7	6.5%	7	4.2%	2	1.6%	9	3.0%	0	0.0%
5. そう思わない	10	1.2%	1	1.8%	1	1.7%	5	4.7%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.0%	0	0.0%
6. わからない	29	3.5%	0	0.0%	2	3.4%	3	2.8%	5	3.0%	5	4.0%	14	4.6%	0	0.0%
計	821	100.0%	55	100.0%	59	100.0%	107	100.0%	166	100.0%	126	100.0%	305	100.0%	3	100.0%
無回答	19		1		0		0		2		1		14		1	



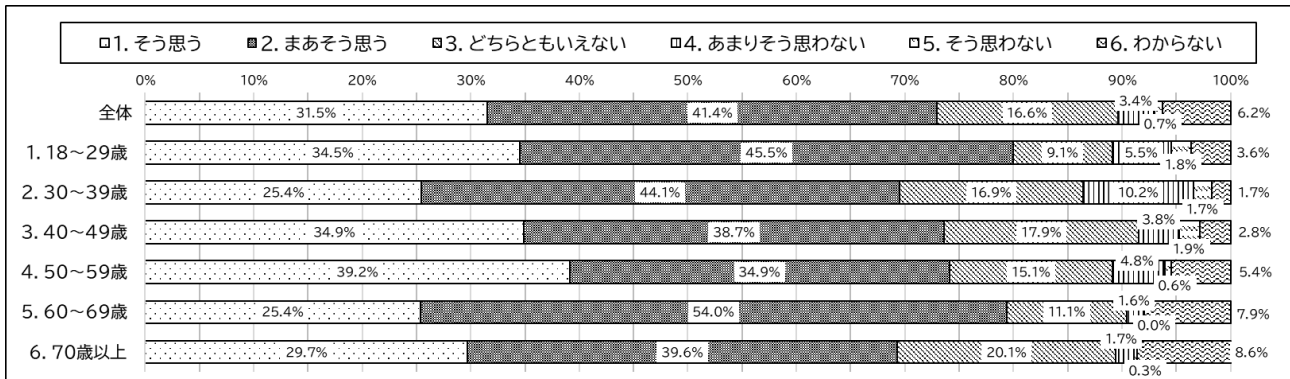
虐待を防ぐために、地域のつながりが重要 (n=825)

選択肢	全体		1. 18~29歳		2. 30~39歳		3. 40~49歳		4. 50~59歳		5. 60~69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. そう思う	323	39.2%	22	40.0%	19	32.2%	44	41.1%	75	44.9%	45	35.4%	117	38.1%	1	33.3%
2. まあそう思う	370	44.8%	25	45.5%	25	42.4%	45	42.1%	73	43.7%	67	52.8%	133	43.3%	2	66.7%
3. どちらともいえない	88	10.7%	5	9.1%	11	18.6%	12	11.2%	12	7.2%	11	8.7%	37	12.1%	0	0.0%
4. あまりそう思わない	12	1.5%	2	3.6%	2	3.4%	2	1.9%	2	1.2%	0	0.0%	4	1.3%	0	0.0%
5. そう思わない	5	0.6%	1	1.8%	1	1.7%	2	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%
6. わからない	27	3.3%	0	0.0%	1	1.7%	2	1.9%	5	3.0%	4	3.1%	15	4.9%	0	0.0%
計	825	100.0%	55	100.0%	59	100.0%	107	100.0%	167	100.0%	127	100.0%	307	100.0%	3	100.0%
無回答	15		1		0		0		1		0		12		1	



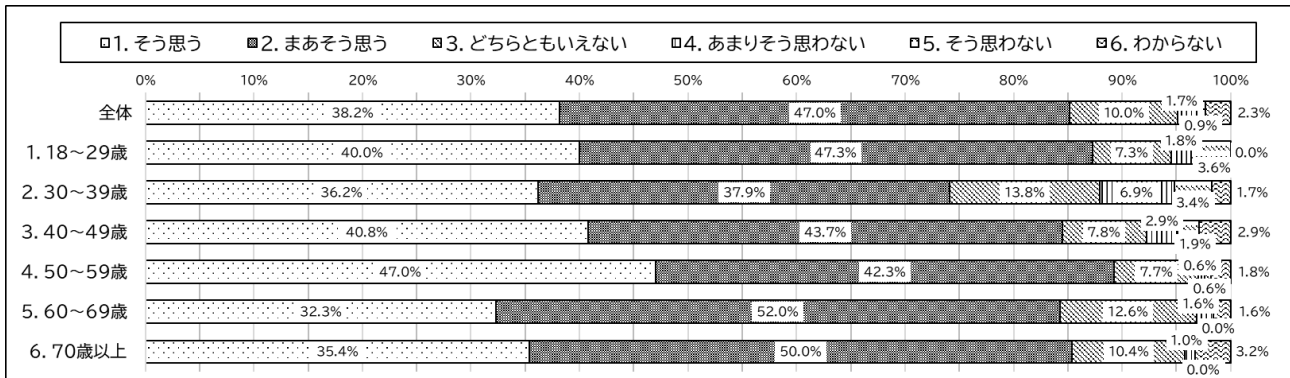
DV(ドメスティックバイオレンス)被害を防ぐために、地域のつながりが重要 (n=818)

選択肢	全体		1. 18~29歳		2. 30~39歳		3. 40~49歳		4. 50~59歳		5. 60~69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. そう思う	258	31.5%	19	34.5%	15	25.4%	37	34.9%	65	39.2%	32	25.4%	90	29.7%	0	0.0%
2. まあそう思う	339	41.4%	25	45.5%	26	44.1%	41	38.7%	58	34.9%	68	54.0%	120	39.6%	1	33.3%
3. どちらともいえない	136	16.6%	5	9.1%	10	16.9%	19	17.9%	25	15.1%	14	11.1%	61	20.1%	2	66.7%
4. あまりそう思わない	28	3.4%	3	5.5%	6	10.2%	4	3.8%	8	4.8%	2	1.6%	5	1.7%	0	0.0%
5. そう思わない	6	0.7%	1	1.8%	1	1.7%	2	1.9%	1	0.6%	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%
6. わからない	51	6.2%	2	3.6%	1	1.7%	3	2.8%	9	5.4%	10	7.9%	26	8.6%	0	0.0%
計	818	100.0%	55	100.0%	59	100.0%	106	100.0%	166	100.0%	126	100.0%	303	100.0%	3	100.0%
無回答	22		1		0		1		2		1		16		1	



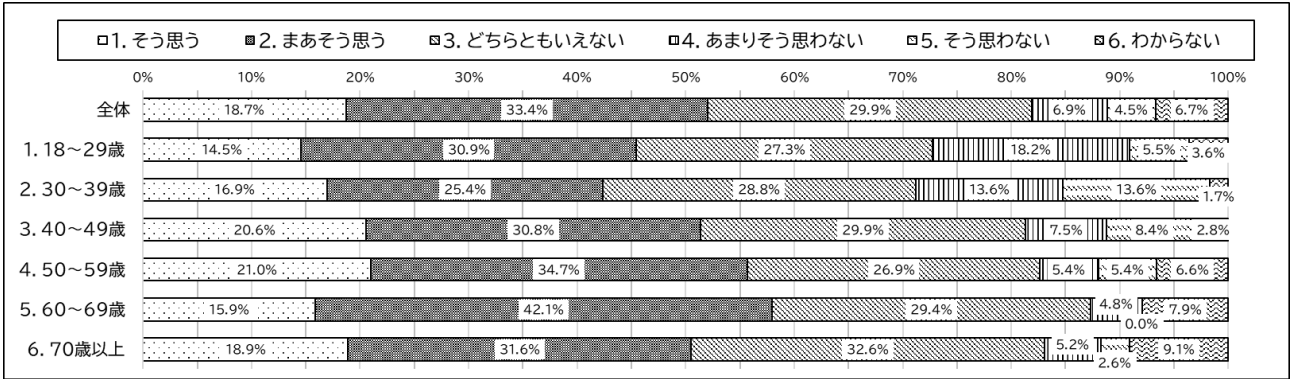
認知症の人やその家族を支えるためには、地域のつながりが重要 (n=822)

選択肢	全体		1. 18~29歳		2. 30~39歳		3. 40~49歳		4. 50~59歳		5. 60~69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. そう思う	314	38.2%	22	40.0%	21	36.2%	42	40.8%	79	47.0%	41	32.3%	109	35.4%	0	0.0%
2. まあそう思う	386	47.0%	26	47.3%	22	37.9%	45	43.7%	71	42.3%	66	52.0%	154	50.0%	2	66.7%
3. どちらともいえない	82	10.0%	4	7.3%	8	13.8%	8	7.8%	13	7.7%	16	12.6%	32	10.4%	1	33.3%
4. あまりそう思わない	14	1.7%	1	1.8%	4	6.9%	3	2.9%	1	0.6%	2	1.6%	3	1.0%	0	0.0%
5. そう思わない	7	0.9%	2	3.6%	2	3.4%	2	1.9%	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
6. わからない	19	2.3%	0	0.0%	1	1.7%	3	2.9%	3	1.8%	2	1.6%	10	3.2%	0	0.0%
計	822	100.0%	55	100.0%	58	100.0%	103	100.0%	168	100.0%	127	100.0%	308	100.0%	3	100.0%
無回答	18		1		1		4		0		0		11		1	



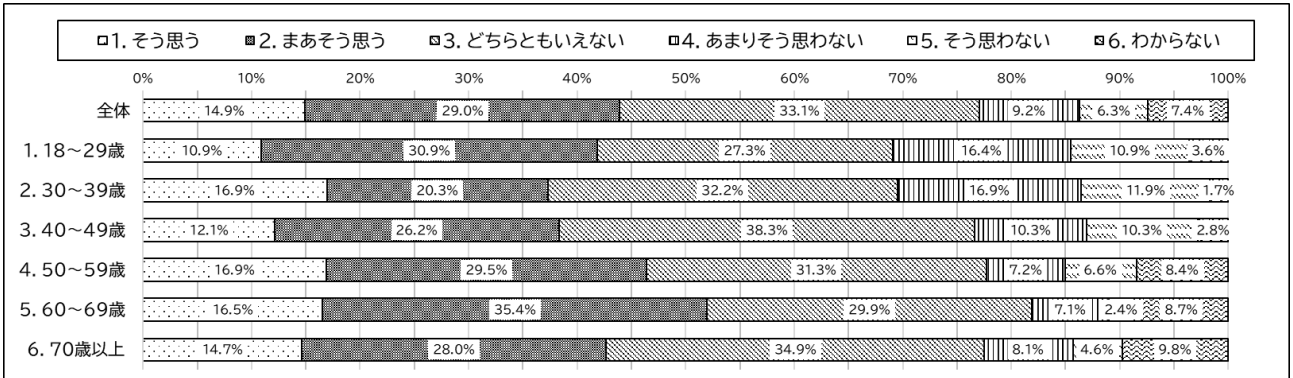
ひきこもりやニートの問題は、本人だけでなく社会全体の問題 (n=824)

選択肢	全体		1. 18~29歳		2. 30~39歳		3. 40~49歳		4. 50~59歳		5. 60~69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. そう思う	154	18.7%	8	14.5%	10	16.9%	22	20.6%	35	21.0%	20	15.9%	58	18.9%	1	33.3%
2. まあそう思う	275	33.4%	17	30.9%	15	25.4%	33	30.8%	58	34.7%	53	42.1%	97	31.6%	2	66.7%
3. どちらともいえない	246	29.9%	15	27.3%	17	28.8%	32	29.9%	45	26.9%	37	29.4%	100	32.6%	0	0.0%
4. あまりそう思わない	57	6.9%	10	18.2%	8	13.6%	8	7.5%	9	5.4%	6	4.8%	16	5.2%	0	0.0%
5. そう思わない	37	4.5%	3	5.5%	8	13.6%	9	8.4%	9	5.4%	0	0.0%	8	2.6%	0	0.0%
6. わからない	55	6.7%	2	3.6%	1	1.7%	3	2.8%	11	6.6%	10	7.9%	28	9.1%	0	0.0%
計	824	100.0%	55	100.0%	59	100.0%	107	100.0%	167	100.0%	126	100.0%	307	100.0%	3	100.0%
無回答	16		1		0		0		1		1		12		1	



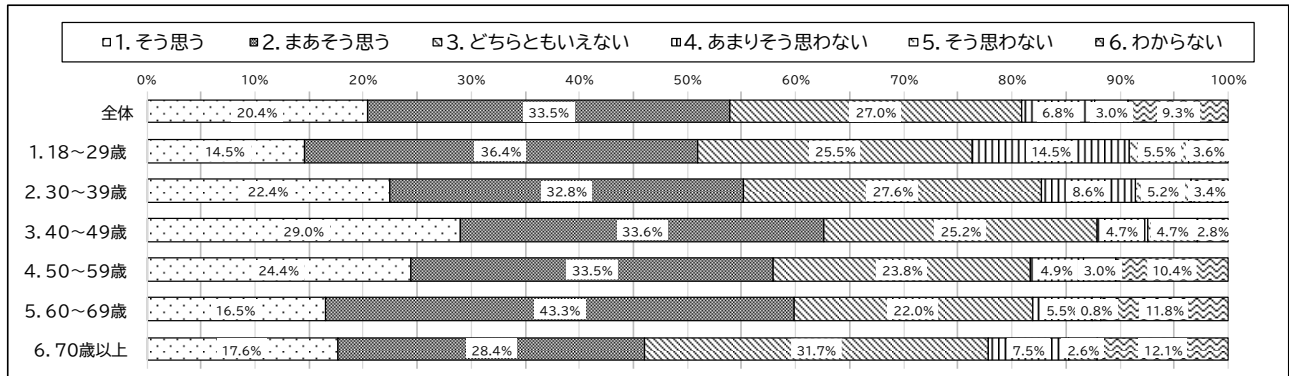
ホームレスの問題は、本人だけでなく社会全体の問題 (n=824)

選択肢	全体		1. 18~29歳		2. 30~39歳		3. 40~49歳		4. 50~59歳		5. 60~69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. そう思う	123	14.9%	6	10.9%	10	16.9%	13	12.1%	28	16.9%	21	16.5%	45	14.7%	0	0.0%
2. まあそう思う	239	29.0%	17	30.9%	12	20.3%	28	26.2%	49	29.5%	45	35.4%	86	28.0%	2	66.7%
3. どちらともいえない	273	33.1%	15	27.3%	19	32.2%	41	38.3%	52	31.3%	38	29.9%	107	34.9%	1	33.3%
4. あまりそう思わない	76	9.2%	9	16.4%	10	16.9%	11	10.3%	12	7.2%	9	7.1%	25	8.1%	0	0.0%
5. そう思わない	52	6.3%	6	10.9%	7	11.9%	11	10.3%	11	6.6%	3	2.4%	14	4.6%	0	0.0%
6. わからない	61	7.4%	2	3.6%	1	1.7%	3	2.8%	14	8.4%	11	8.7%	30	9.8%	0	0.0%
計	824	100.0%	55	100.0%	59	100.0%	107	100.0%	166	100.0%	127	100.0%	307	100.0%	3	100.0%
無回答	16		1		0		0		2		0		12		1	



自殺の問題は、本人だけでなく社会全体の問題 (n=820)

選択肢	全体		1. 18~29歳		2. 30~39歳		3. 40~49歳		4. 50~59歳		5. 60~69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. そう思う	167	20.4%	8	14.5%	13	22.4%	31	29.0%	40	24.4%	21	16.5%	54	17.6%	0	0.0%
2. まあそう思う	275	33.5%	20	36.4%	19	32.8%	36	33.6%	55	33.5%	55	43.3%	87	28.4%	3	100.0%
3. どちらともいえない	221	27.0%	14	25.5%	16	27.6%	27	25.2%	39	23.8%	28	22.0%	97	31.7%	0	0.0%
4. あまりそう思わない	56	6.8%	8	14.5%	5	8.6%	5	4.7%	8	4.9%	7	5.5%	23	7.5%	0	0.0%
5. そう思わない	25	3.0%	3	5.5%	3	5.2%	5	4.7%	5	3.0%	1	0.8%	8	2.6%	0	0.0%
6. わからない	76	9.3%	2	3.6%	2	3.4%	3	2.8%	17	10.4%	15	11.8%	37	12.1%	0	0.0%
計	820	100.0%	55	100.0%	58	100.0%	107	100.0%	164	100.0%	127	100.0%	306	100.0%	3	100.0%
無回答	20		1		1		0		4		0		13		1	



### 3. ご近所とのつきあいや町内会行事などの地域活動について

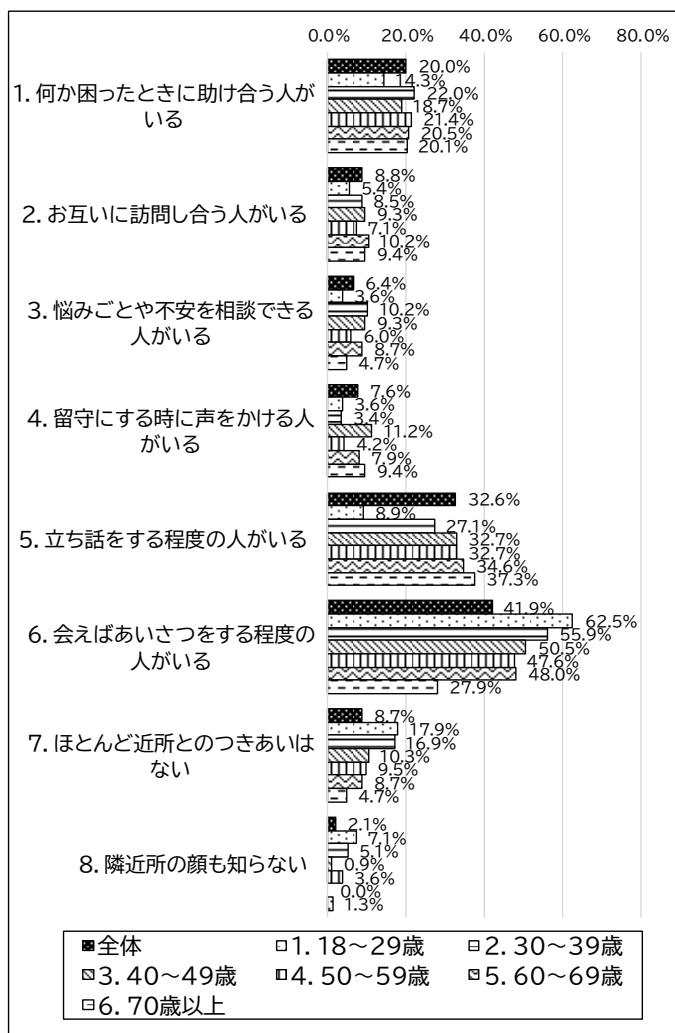
問8 近所づきあいの状況は次のどれに近いですか。(選択はいくつでも)

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. 何か困ったときに助け合う人がいる  | 2. お互いに訪問し合う人がいる     |
| 3. 悩みごとや不安を相談できる人がいる | 4. 留守にする時に声をかける人がいる  |
| 5. 立ち話をする程度の人がある     | 6. 会えばあいさつをする程度の人がある |
| 7. ほとんど近所とのつきあいはない   | 8. 隣近所の顔も知らない        |

全体では「6. 会えばあいさつをする程度の人がある」が41.9%で最も高く、次いで「5. 立ち話をする程度の人がある」が32.6%となっています。

Q8. 近所づきあいの状況は次のどれに最も近いですか。(選択はいくつでも) (n=840)

選択肢	全体		1.18~29歳		2.30~39歳		3.40~49歳		4.50~59歳		5.60~69歳		6.70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 何か困ったときに助け合う人がいる	168	20.0%	8	14.3%	13	22.0%	20	18.7%	36	21.4%	26	20.5%	64	20.1%	1	25.0%
2. お互いに訪問し合う人がいる	74	8.8%	3	5.4%	5	8.5%	10	9.3%	12	7.1%	13	10.2%	30	9.4%	1	25.0%
3. 悩みごとや不安を相談できる人がいる	54	6.4%	2	3.6%	6	10.2%	10	9.3%	10	6.0%	11	8.7%	15	4.7%	0	0.0%
4. 留守にする時に声をかける人がいる	64	7.6%	2	3.6%	2	3.4%	12	11.2%	7	4.2%	10	7.9%	30	9.4%	1	25.0%
5. 立ち話をする程度の人がある	274	32.6%	5	8.9%	16	27.1%	35	32.7%	55	32.7%	44	34.6%	119	37.3%	0	0.0%
6. 会えばあいさつをする程度の人がある	352	41.9%	35	62.5%	33	55.9%	54	50.5%	80	47.6%	61	48.0%	89	27.9%	0	0.0%
7. ほとんど近所とのつきあいはない	73	8.7%	10	17.9%	10	16.9%	11	10.3%	16	9.5%	11	8.7%	15	4.7%	0	0.0%
8. 隣近所の顔も知らない	18	2.1%	4	7.1%	3	5.1%	1	0.9%	6	3.6%	0	0.0%	4	1.3%	0	0.0%
回答者数	840		56		59		107		168		127		319		4	



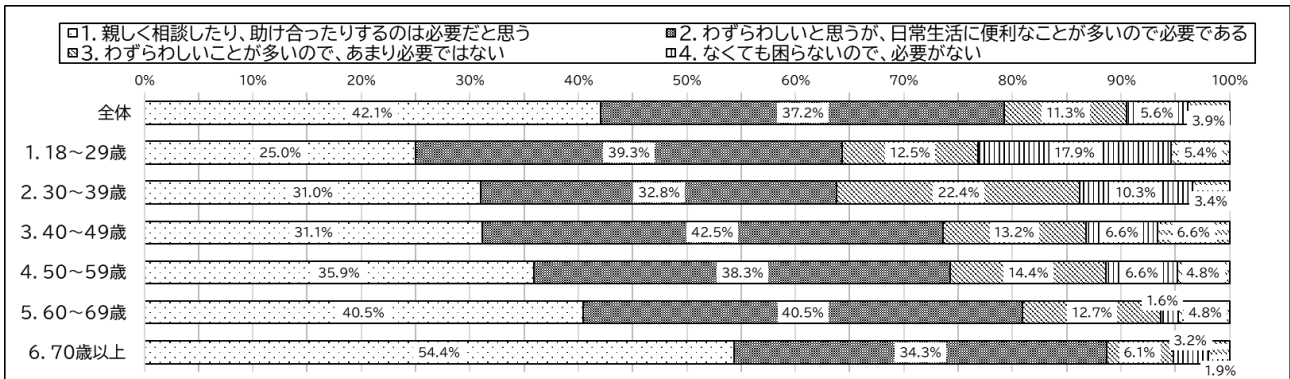
問9 近所づきあいの考え方は、次のどれに近いですか。(選択は1つ)

1. 親しく相談したり、助け合ったりするのは必要だと思う
2. わずらわしいと思うが、日常生活に便利なが多いので必要である
3. わずらわしいことが多いので、あまり必要ではない
4. なくても困らないので、必要がない
5. その他( )

全体では「1. 親しく相談したり、助け合ったりするのは必要だと思う」が42.1%で最も高く、次いで「2. わずらわしいと思うが、日常生活に便利なが多いので必要である」が37.2%となっています。

Q9. 近所づきあいの考え方は、次のどれに近いですか。(選択は1つ) (n=825)

選択肢	全体		1.18~29歳		2.30~39歳		3.40~49歳		4.50~59歳		5.60~69歳		6.70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 親しく相談したり、助け合ったりするのは必要だと思う	347	42.1%	14	25.0%	18	31.0%	33	31.1%	60	35.9%	51	40.5%	168	54.4%	3	100.0%
2. わずらわしいと思うが、日常生活に便利なが多いので必要である	307	37.2%	22	39.3%	19	32.8%	45	42.5%	64	38.3%	51	40.5%	106	34.3%	0	0.0%
3. わずらわしいことが多いので、あまり必要ではない	93	11.3%	7	12.5%	13	22.4%	14	13.2%	24	14.4%	16	12.7%	19	6.1%	0	0.0%
4. なくても困らないので、必要がない	46	5.6%	10	17.9%	6	10.3%	7	6.6%	11	6.6%	2	1.6%	10	3.2%	0	0.0%
5. その他	32	3.9%	3	5.4%	2	3.4%	7	6.6%	8	4.8%	6	4.8%	6	1.9%	0	0.0%
計	825	100.0%	56	100.0%	58	100.0%	106	100.0%	167	100.0%	126	100.0%	309	100.0%	3	100.0%
無回答	15		0		1		1		1		1		10		1	



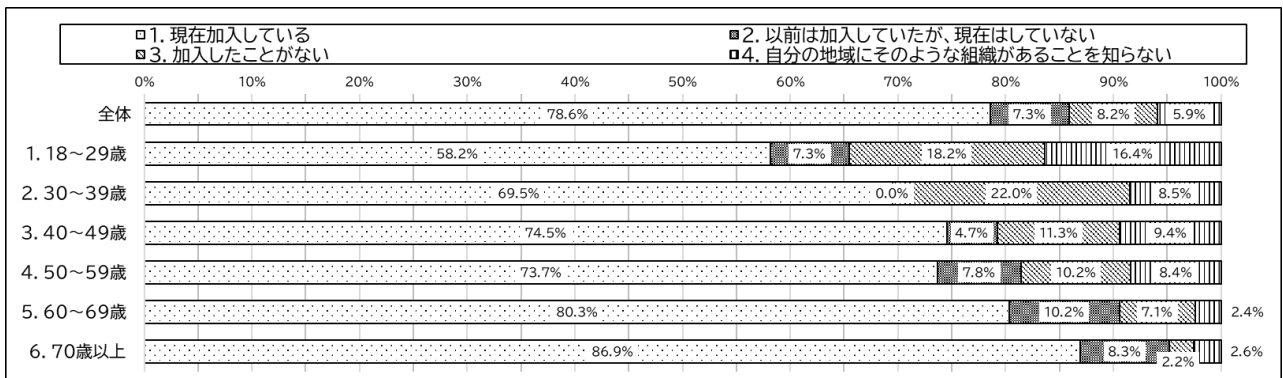
問10 町内会や自治会に加入していますか。(選択は1つ)

1. 現在加入している
2. 以前は加入していたが、現在はしていない
3. 加入したことがない
4. 自分の地域にそのような組織があることを知らない

全体では「1. 現在加入している」が78.6%で最も高く、次いで「3. 加入したことがない」が8.2%となっています。

Q10. 町内会や自治会に加入していますか。(選択は1つ) (n=830)

選択肢	全体		1. 18～29歳		2. 30～39歳		3. 40～49歳		4. 50～59歳		5. 60～69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 現在加入している	652	78.6%	32	58.2%	41	69.5%	79	74.5%	123	73.7%	102	80.3%	272	86.9%	3	100.0%
2. 以前は加入していたが、現在はしていない	61	7.3%	4	7.3%	0	0.0%	5	4.7%	13	7.8%	13	10.2%	26	8.3%	0	0.0%
3. 加入したことがない	68	8.2%	10	18.2%	13	22.0%	12	11.3%	17	10.2%	9	7.1%	7	2.2%	0	0.0%
4. 自分の地域にそのような組織があることを知らない	49	5.9%	9	16.4%	5	8.5%	10	9.4%	14	8.4%	3	2.4%	8	2.6%	0	0.0%
計	830	100.0%	55	100.0%	59	100.0%	106	100.0%	167	100.0%	127	100.0%	313	100.0%	3	100.0%
無回答	10		1		0		1		1		0		6		1	



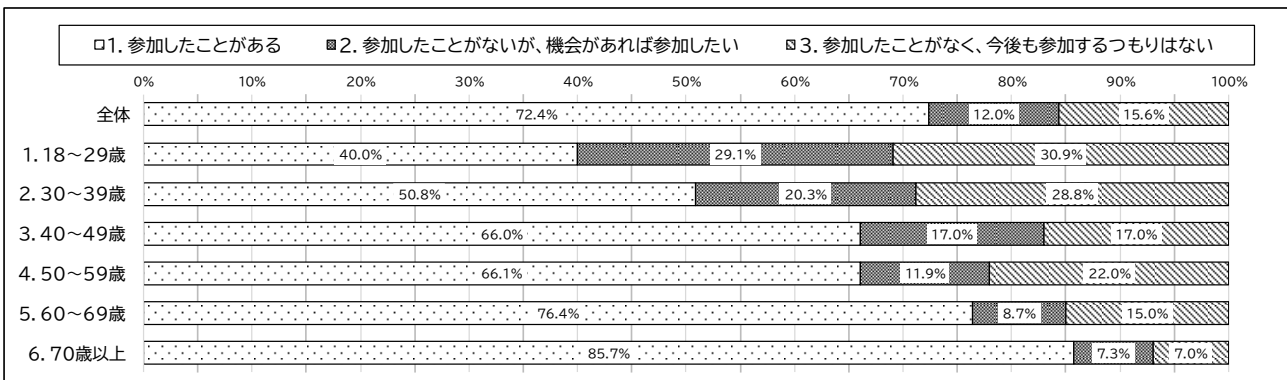
問11 町内会行事などの地域活動に参加していますか。(選択は1つ)

1. 参加したことがある
2. 参加したことがないが、機会があれば参加したい
3. 参加したことがなく、今後も参加するつもりはない

全体では「1. 参加したことがある」が72.4%で最も高く、次いで「3. 参加したことがなく、今後も参加するつもりはない」が15.6%となっています。

Q11. 町内会行事などの地域活動に参加していますか。(選択は1つ) (n=833)

選択肢	全体		1. 18～29歳		2. 30～39歳		3. 40～49歳		4. 50～59歳		5. 60～69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 参加したことがある	603	72.4%	22	40.0%	30	50.8%	70	66.0%	111	66.1%	97	76.4%	270	85.7%	3	100.0%
2. 参加したことがないが、機会があれば参加したい	100	12.0%	16	29.1%	12	20.3%	18	17.0%	20	11.9%	11	8.7%	23	7.3%	0	0.0%
3. 参加したことがなく、今後も参加するつもりはない	130	15.6%	17	30.9%	17	28.8%	18	17.0%	37	22.0%	19	15.0%	22	7.0%	0	0.0%
計	833	100.0%	55	100.0%	59	100.0%	106	100.0%	168	100.0%	127	100.0%	315	100.0%	3	100.0%
無回答	7		1		0		1		0		0		4		1	



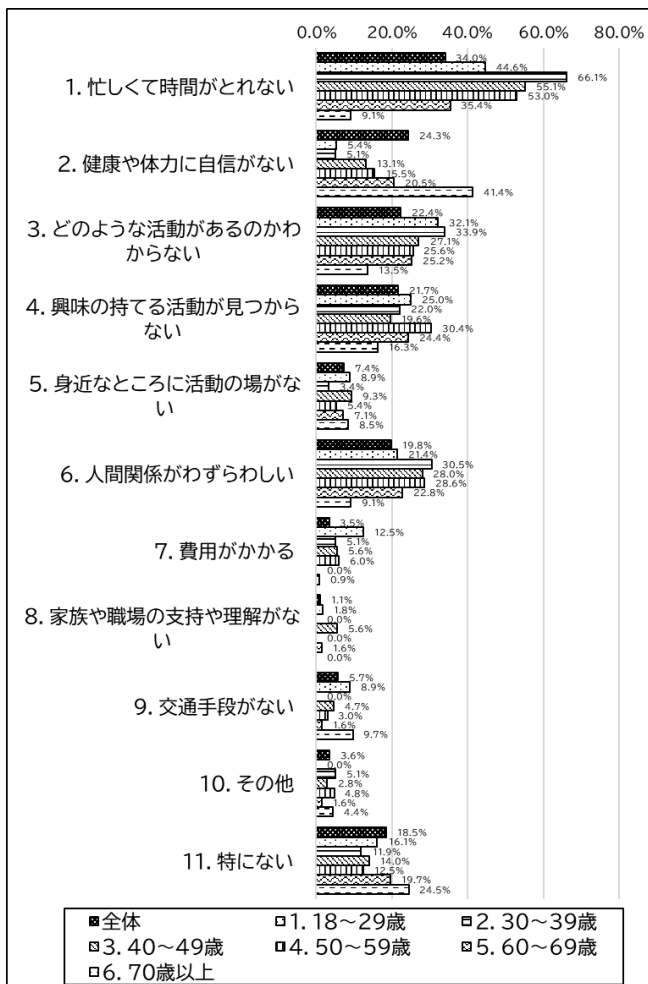
問12 地域活動に参加するうえで、支障になることがありますか。(選択はいくつでも)

- |                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| 1. 忙しくて時間がとれない       | 2. 健康や体力に自信がない     |
| 3. どのような活動があるのかわからない | 4. 興味の持てる活動が見つからない |
| 5. 身近なところに活動の場がない    | 6. 人間関係がわずらわしい     |
| 7. 費用がかかる            | 8. 家族や職場の支持や理解がない  |
| 9. 交通手段がない           | 10. その他( )         |
| 11. 特にない             |                    |

全体では「1. 忙しくて時間がとれない」が34.0%で最も高く、次いで「2. 健康や体力に自信がない」が24.3%となっています。

Q12. 地域活動に参加するうえで、支障になることがありますか。(選択はいくつでも) (n=840)

選択肢	全体		1. 18~29歳		2. 30~39歳		3. 40~49歳		4. 50~59歳		5. 60~69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 忙しくて時間がとれない	286	34.0%	25	44.6%	39	66.1%	59	55.1%	89	53.0%	45	35.4%	29	9.1%	0	0.0%
2. 健康や体力に自信がない	204	24.3%	3	5.4%	3	5.1%	14	13.1%	26	15.5%	26	20.5%	132	41.4%	0	0.0%
3. どのような活動があるのかわからない	188	22.4%	18	32.1%	20	33.9%	29	27.1%	43	25.6%	32	25.2%	43	13.5%	3	75.0%
4. 興味の持てる活動が見つからない	182	21.7%	14	25.0%	13	22.0%	21	19.6%	51	30.4%	31	24.4%	52	16.3%	0	0.0%
5. 身近なところに活動の場がない	62	7.4%	5	8.9%	2	3.4%	10	9.3%	9	5.4%	9	7.1%	27	8.5%	0	0.0%
6. 人間関係がわずらわしい	166	19.8%	12	21.4%	18	30.5%	30	28.0%	48	28.6%	29	22.8%	29	9.1%	0	0.0%
7. 費用がかかる	29	3.5%	7	12.5%	3	5.1%	6	5.6%	10	6.0%	0	0.0%	3	0.9%	0	0.0%
8. 家族や職場の支持や理解がない	9	1.1%	1	1.8%	0	0.0%	6	5.6%	0	0.0%	2	1.6%	0	0.0%	0	0.0%
9. 交通手段がない	48	5.7%	5	8.9%	0	0.0%	5	4.7%	5	3.0%	2	1.6%	31	9.7%	0	0.0%
10. その他	30	3.6%	0	0.0%	3	5.1%	3	2.8%	8	4.8%	2	1.6%	14	4.4%	0	0.0%
11. 特にない	155	18.5%	9	16.1%	7	11.9%	15	14.0%	21	12.5%	25	19.7%	78	24.5%	0	0.0%
回答者数	840		56		59		107		168		127		319		4	



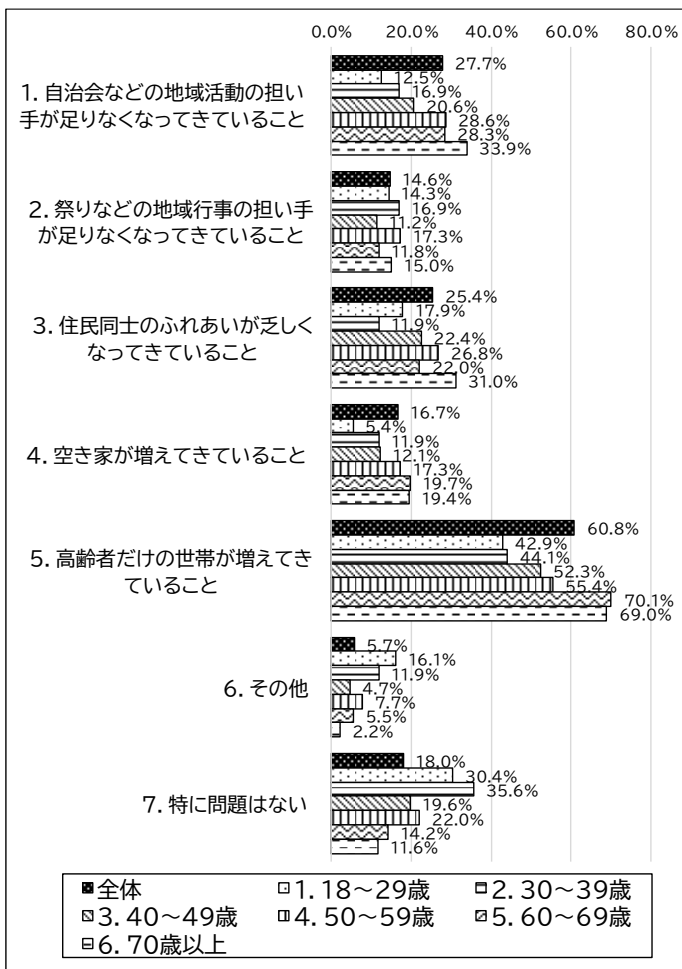
問13 あなたは、お住まいの地域で、不安に感じていることはありますか。(選択はいくつでも)

1. 自治会などの地域活動の担い手が足りなくなっていること
2. 祭りなどの地域行事の担い手が足りなくなっていること
3. 住民同士のふれあいが乏しくなっていること
4. 空き家が増えてきていること
5. 高齢者だけの世帯が増えてきていること
6. その他( )
7. 特に問題はない

全体では「5. 高齢者だけの世帯が増えてきていること」が60.8%で最も高く、次いで「1. 自治会などの地域活動の担い手が足りなくなっていること」が27.7%となっています。

Q13. あなたは、お住まいの地域で、不安に感じていることはありますか。(選択はいくつでも) (n=840)

選択肢	全体		1.18~29歳		2.30~39歳		3.40~49歳		4.50~59歳		5.60~69歳		6.70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 自治会などの地域活動の担い手が足りなくなっていること	233	27.7%	7	12.5%	10	16.9%	22	20.6%	48	28.6%	36	28.3%	108	33.9%	2	50.0%
2. 祭りなどの地域行事の担い手が足りなくなっていること	123	14.6%	8	14.3%	10	16.9%	12	11.2%	29	17.3%	15	11.8%	48	15.0%	1	25.0%
3. 住民同士のふれあいが乏しくなっていること	213	25.4%	10	17.9%	7	11.9%	24	22.4%	45	26.8%	28	22.0%	99	31.0%	0	0.0%
4. 空き家が増えてきていること	140	16.7%	3	5.4%	7	11.9%	13	12.1%	29	17.3%	25	19.7%	62	19.4%	1	25.0%
5. 高齢者だけの世帯が増えてきていること	511	60.8%	24	42.9%	26	44.1%	56	52.3%	93	55.4%	89	70.1%	220	69.0%	3	75.0%
6. その他	48	5.7%	9	16.1%	7	11.9%	5	4.7%	13	7.7%	7	5.5%	7	2.2%	0	0.0%
7. 特に問題はない	151	18.0%	17	30.4%	21	35.6%	21	19.6%	37	22.0%	18	14.2%	37	11.6%	0	0.0%
回答者数	840		56		59		107		168		127		319		4	



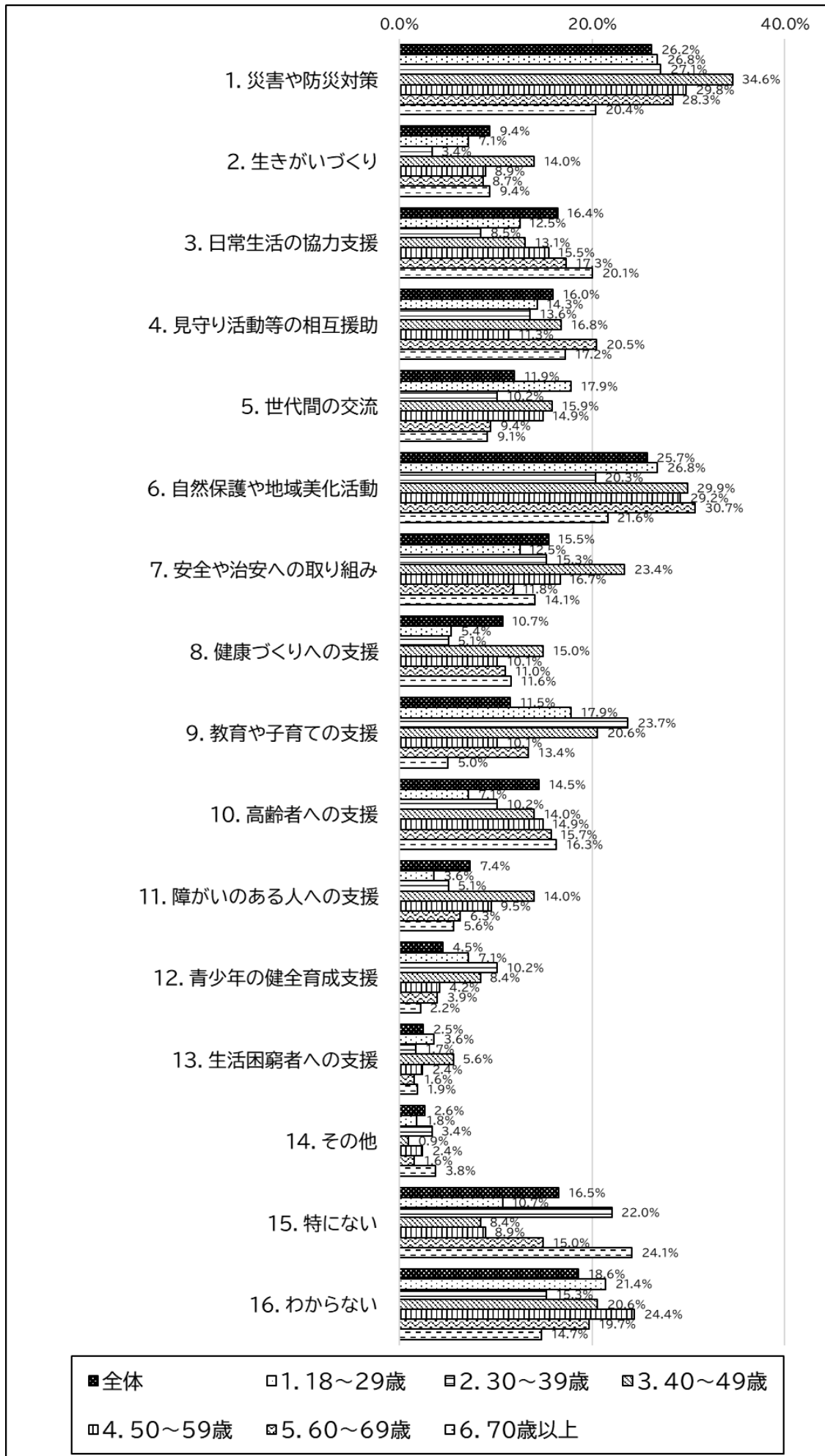
問14 あなたは、お住まいの地域で、あなた自身はどのようなことに参加や手助けができると思いますか。(選択は  
いくつでも)

1. 災害や防災対策	2. 生きがいづくり
3. 日常生活の協力支援	4. 見守り活動等の相互援助
5. 世代間の交流	6. 自然保護や地域美化活動
7. 安全や治安への取り組み	8. 健康づくりへの支援
9. 教育や子育ての支援	10. 高齢者への支援
11. 障がいのある人への支援	12. 青少年の健全育成支援
13. 生活困窮者への支援	14. その他( )
15. 特にない	16. わからない

全体では「1. 災害や防災対策」が26.2%で最も高く、次いで「6. 自然保護や地域美化活動」が25.7%となっています。

Q14. あなたは、お住まいの地域で、あなた自身はどのようなことに参加や手助けができると思いますか。(選択はいくつでも) (n=840)

選択肢	全体		1. 18~29歳		2. 30~39歳		3. 40~49歳		4. 50~59歳		5. 60~69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 災害や防災対策	220	26.2%	15	26.8%	16	27.1%	37	34.6%	50	29.8%	36	28.3%	65	20.4%	1	25.0%
2. 生きがいづくり	79	9.4%	4	7.1%	2	3.4%	15	14.0%	15	8.9%	11	8.7%	30	9.4%	2	50.0%
3. 日常生活の協力支援	138	16.4%	7	12.5%	5	8.5%	14	13.1%	26	15.5%	22	17.3%	64	20.1%	0	0.0%
4. 見守り活動等の相互援助	134	16.0%	8	14.3%	8	13.6%	18	16.8%	19	11.3%	26	20.5%	55	17.2%	0	0.0%
5. 世代間の交流	100	11.9%	10	17.9%	6	10.2%	17	15.9%	25	14.9%	12	9.4%	29	9.1%	1	25.0%
6. 自然保護や地域美化活動	216	25.7%	15	26.8%	12	20.3%	32	29.9%	49	29.2%	39	30.7%	69	21.6%	0	0.0%
7. 安全や治安への取り組み	130	15.5%	7	12.5%	9	15.3%	25	23.4%	28	16.7%	15	11.8%	45	14.1%	1	25.0%
8. 健康づくりへの支援	90	10.7%	3	5.4%	3	5.1%	16	15.0%	17	10.1%	14	11.0%	37	11.6%	0	0.0%
9. 教育や子育ての支援	97	11.5%	10	17.9%	14	23.7%	22	20.6%	17	10.1%	17	13.4%	16	5.0%	1	25.0%
10. 高齢者への支援	122	14.5%	4	7.1%	6	10.2%	15	14.0%	25	14.9%	20	15.7%	52	16.3%	0	0.0%
11. 障がいのある人への支援	62	7.4%	2	3.6%	3	5.1%	15	14.0%	16	9.5%	8	6.3%	18	5.6%	0	0.0%
12. 青少年の健全育成支援	38	4.5%	4	7.1%	6	10.2%	9	8.4%	7	4.2%	5	3.9%	7	2.2%	0	0.0%
13. 生活困窮者への支援	21	2.5%	2	3.6%	1	1.7%	6	5.6%	4	2.4%	2	1.6%	6	1.9%	0	0.0%
14. その他	22	2.6%	1	1.8%	2	3.4%	1	0.9%	4	2.4%	2	1.6%	12	3.8%	0	0.0%
15. 特にない	139	16.5%	6	10.7%	13	22.0%	9	8.4%	15	8.9%	19	15.0%	77	24.1%	0	0.0%
16. わからない	156	18.6%	12	21.4%	9	15.3%	22	20.6%	41	24.4%	25	19.7%	47	14.7%	0	0.0%
回答者数	840		56		59		107		168		127		319		4	



#### 4. 福祉への関心について

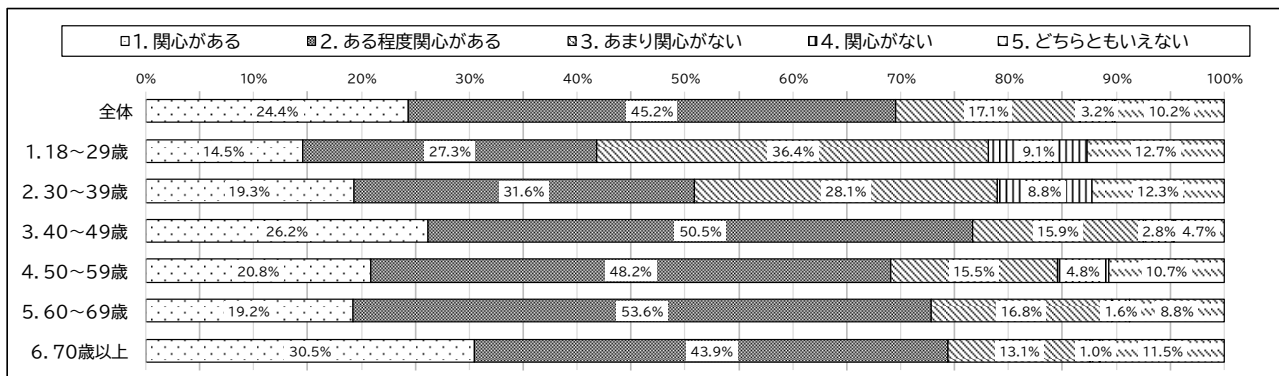
問15 あなたは、「福祉」に関心がありますか。(選択は1つ)

- |             |              |              |
|-------------|--------------|--------------|
| 1. 関心がある    | 2. ある程度関心がある |              |
| 3. あまり関心がない | 4. 関心がない     | 5. どちらともいえない |

全体では「2. ある程度関心がある」が45.2%で最も高く、次いで「1. 関心がある」が24.4%となっています。

Q15. あなたは、「福祉」に関心がありますか。(選択は1つ) (n=817)

選択肢	全体		1.18~29歳		2.30~39歳		3.40~49歳		4.50~59歳		5.60~69歳		6.70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 関心がある	199	24.4%	8	14.5%	11	19.3%	28	26.2%	35	20.8%	24	19.2%	93	30.5%	0	0.0%
2. ある程度関心がある	369	45.2%	15	27.3%	18	31.6%	54	50.5%	81	48.2%	67	53.6%	134	43.9%	0	0.0%
3. あまり関心がない	140	17.1%	20	36.4%	16	28.1%	17	15.9%	26	15.5%	21	16.8%	40	13.1%	0	0.0%
4. 関心がない	26	3.2%	5	9.1%	5	8.8%	3	2.8%	8	4.8%	2	1.6%	3	1.0%	0	0.0%
5. どちらともいえない	83	10.2%	7	12.7%	7	12.3%	5	4.7%	18	10.7%	11	8.8%	35	11.5%	0	0.0%
計	817	100.0%	55	100.0%	57	100.0%	107	100.0%	168	100.0%	125	100.0%	305	100.0%	0	0.0%
無回答	23		1		2		0		0		2		14		4	



問15で「1. 関心がある」、「2. ある程度関心がある」と回答した人に

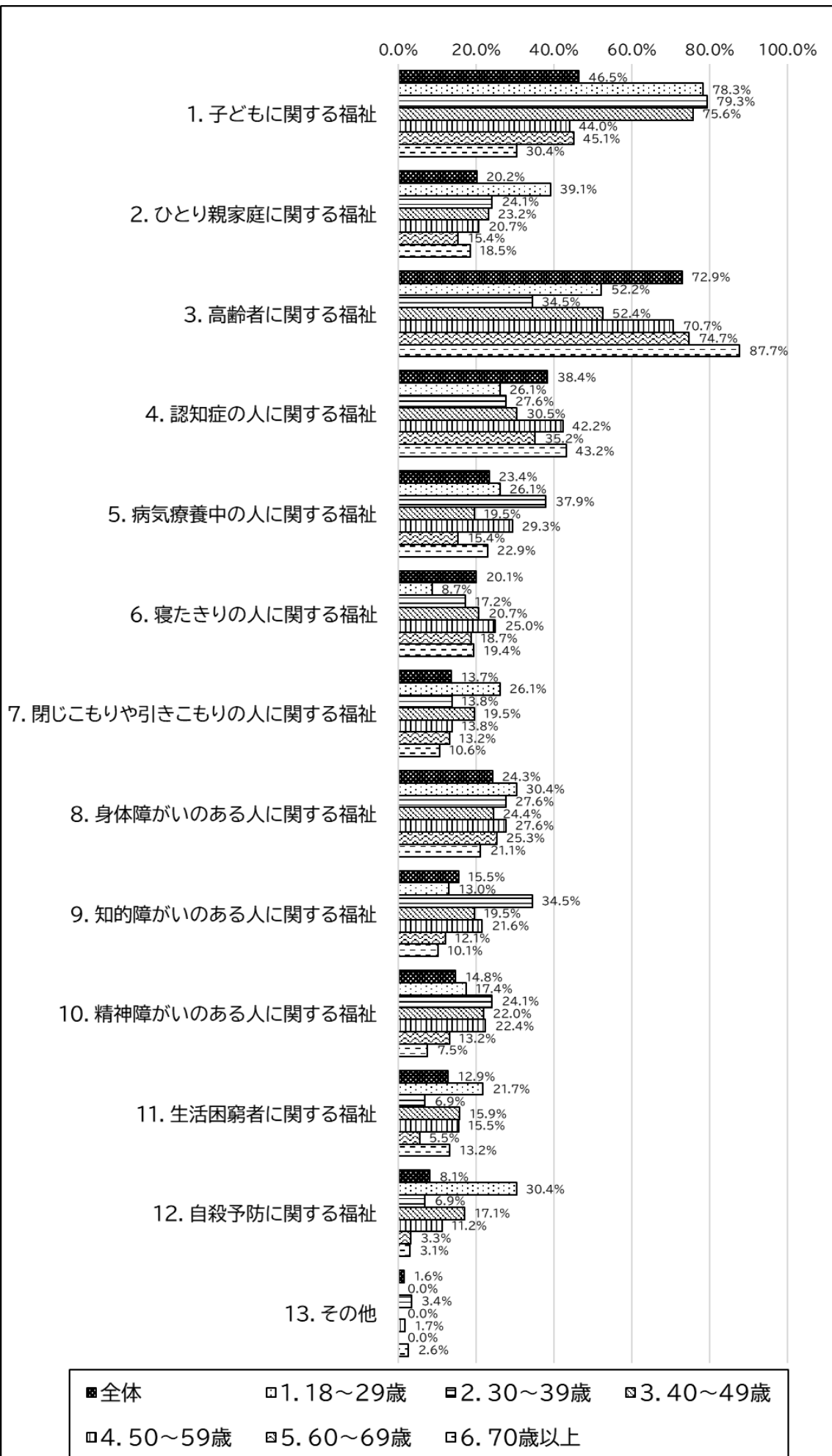
問16 関心がある福祉はどのような分野ですか。(選択はいくつでも)

1. 子どもに関する福祉	2. ひとり親家庭に関する福祉
3. 高齢者に関する福祉	4. 認知症の人に関する福祉
5. 病気療養中の人に関する福祉	6. 寝たきりの人に関する福祉
7. 閉じこもりや引きこもりの人に関する福祉	8. 身体障がいのある人に関する福祉
9. 知的障がいのある人に関する福祉	10. 精神障がいのある人に関する福祉
11. 生活困窮者に関する福祉	12. 自殺予防に関する福祉
13. その他( )	

全体では「3. 高齢者に関する福祉」が72.9%で最も高く、次いで「1. 子どもに関する福祉」が46.5%となっています。

Q16. 関心がある福祉はどのような分野ですか。(選択はいくつでも) (n=568)

選択肢	全体		1. 18～29歳		2. 30～39歳		3. 40～49歳		4. 50～59歳		5. 60～69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 子どもに関する福祉	264	46.5%	18	78.3%	23	79.3%	62	75.6%	51	44.0%	41	45.1%	69	30.4%	0	0.0%
2. ひとり親家庭に関する福祉	115	20.2%	9	39.1%	7	24.1%	19	23.2%	24	20.7%	14	15.4%	42	18.5%	0	0.0%
3. 高齢者に関する福祉	414	72.9%	12	52.2%	10	34.5%	43	52.4%	82	70.7%	68	74.7%	199	87.7%	0	0.0%
4. 認知症の人に関する福祉	218	38.4%	6	26.1%	8	27.6%	25	30.5%	49	42.2%	32	35.2%	98	43.2%	0	0.0%
5. 病気療養中の人に関する福祉	133	23.4%	6	26.1%	11	37.9%	16	19.5%	34	29.3%	14	15.4%	52	22.9%	0	0.0%
6. 寝たきりの人に関する福祉	114	20.1%	2	8.7%	5	17.2%	17	20.7%	29	25.0%	17	18.7%	44	19.4%	0	0.0%
7. 閉じこもりや引きこもりの人に関する福祉	78	13.7%	6	26.1%	4	13.8%	16	19.5%	16	13.8%	12	13.2%	24	10.6%	0	0.0%
8. 身体障がいのある人に関する福祉	138	24.3%	7	30.4%	8	27.6%	20	24.4%	32	27.6%	23	25.3%	48	21.1%	0	0.0%
9. 知的障がいのある人に関する福祉	88	15.5%	3	13.0%	10	34.5%	16	19.5%	25	21.6%	11	12.1%	23	10.1%	0	0.0%
10. 精神障がいのある人に関する福祉	84	14.8%	4	17.4%	7	24.1%	18	22.0%	26	22.4%	12	13.2%	17	7.5%	0	0.0%
11. 生活困窮者に関する福祉	73	12.9%	5	21.7%	2	6.9%	13	15.9%	18	15.5%	5	5.5%	30	13.2%	0	0.0%
12. 自殺予防に関する福祉	46	8.1%	7	30.4%	2	6.9%	14	17.1%	13	11.2%	3	3.3%	7	3.1%	0	0.0%
13. その他	9	1.6%	0	0.0%	1	3.4%	0	0.0%	2	1.7%	0	0.0%	6	2.6%	0	0.0%
回答者数	568		23		29		82		116		91		227		0	



問15で「3. あまり関心がない」、「4. 関心がない」、「5. どちらともいえない」と回答した人に

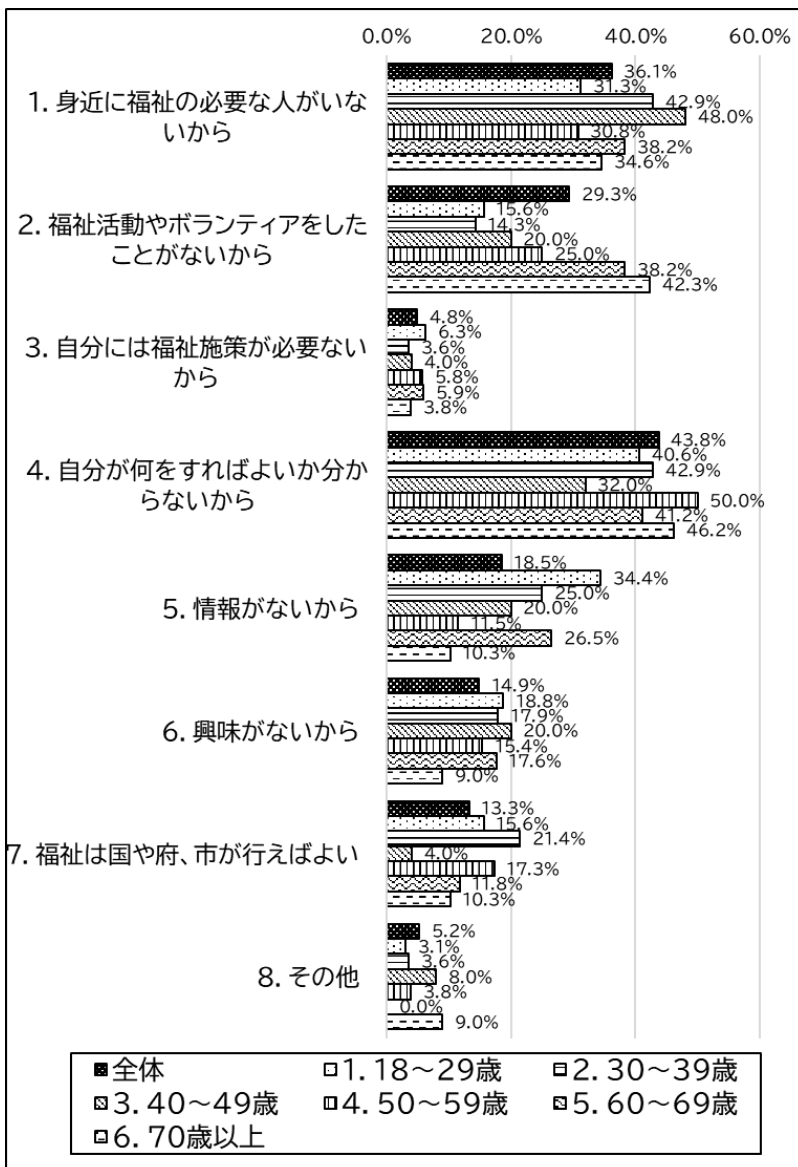
問17 福祉に関心がない理由はどうしてですか。(選択はいくつでも)

- |                     |                          |
|---------------------|--------------------------|
| 1. 身近に福祉の必要な人がいないから | 2. 福祉活動やボランティアをしたことがないから |
| 3. 自分には福祉施策が必要ないから  | 4. 自分が何をすればよいか分からないから    |
| 5. 情報がないから          | 6. 興味がないから               |
| 7. 福祉は国や府、市が行えばよい   | 8. その他( )                |

全体では「4. 自分が何をすればよいか分からないから」が43.8%で最も高く、次いで「1. 身近に福祉の必要な人がいないから」が36.1%となっています。

Q17. 福祉に関心がない理由はどうしてですか。(選択はいくつでも) (n=249)

選択肢	全体		1.18~29歳		2.30~39歳		3.40~49歳		4.50~59歳		5.60~69歳		6.70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 身近に福祉の必要な人がいないから	90	36.1%	10	31.3%	12	42.9%	12	48.0%	16	30.8%	13	38.2%	27	34.6%	0	0.0%
2. 福祉活動やボランティアをしたことがないから	73	29.3%	5	15.6%	4	14.3%	5	20.0%	13	25.0%	13	38.2%	33	42.3%	0	0.0%
3. 自分には福祉施策が必要ないから	12	4.8%	2	6.3%	1	3.6%	1	4.0%	3	5.8%	2	5.9%	3	3.8%	0	0.0%
4. 自分が何をすればよいか分からないから	109	43.8%	13	40.6%	12	42.9%	8	32.0%	26	50.0%	14	41.2%	36	46.2%	0	0.0%
5. 情報がないから	46	18.5%	11	34.4%	7	25.0%	5	20.0%	6	11.5%	9	26.5%	8	10.3%	0	0.0%
6. 興味がないから	37	14.9%	6	18.8%	5	17.9%	5	20.0%	8	15.4%	6	17.6%	7	9.0%	0	0.0%
7. 福祉は国や府、市が行えばよい	33	13.3%	5	15.6%	6	21.4%	1	4.0%	9	17.3%	4	11.8%	8	10.3%	0	0.0%
8. その他	13	5.2%	1	3.1%	1	3.6%	2	8.0%	2	3.8%	0	0.0%	7	9.0%	0	0.0%
回答者数	249		32		28		25		52		34		78		0	



再び、全ての人に

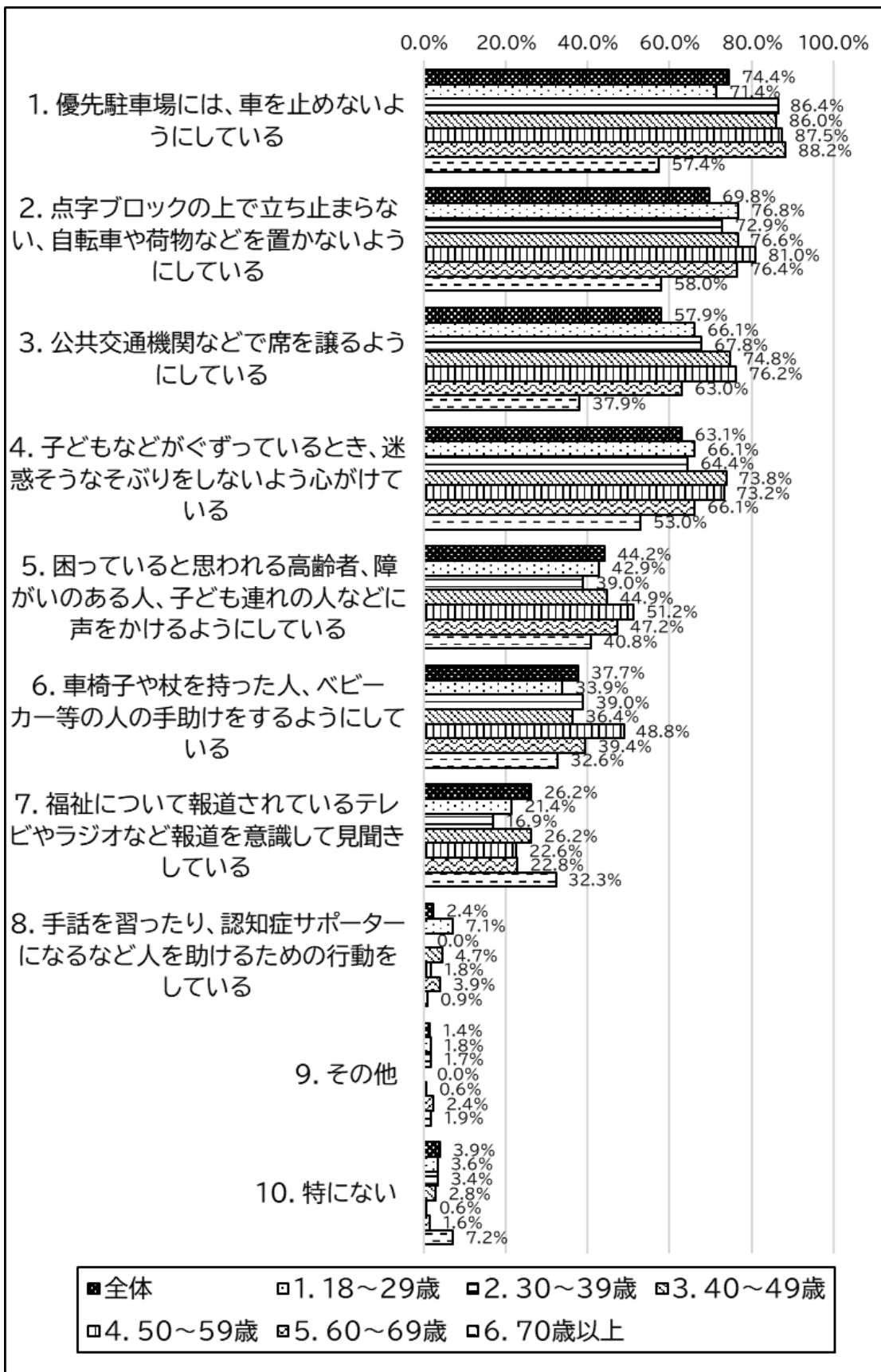
問18 次のようなことを心がけていますか。(選択はいくつでも)

1. 優先駐車場には、車を止めないようにしている
2. 点字ブロックの上で立ち止まらない、自転車や荷物などを置かないようにしている
3. 公共交通機関などで席を譲るようにしている
4. 子どもなどがぐずっているとき、迷惑そうなそぶりをしないよう心がけている
5. 困っていると思われる高齢者、障がいのある人、子ども連れの人などに声をかけるようにしている
6. 車椅子や杖を持った人、ベビーカー等の人の手助けをするようにしている
7. 福祉について報道されているテレビやラジオなど報道を意識して見聞きしている
8. 手話を習ったり、認知症サポーターになるなど人を助けるための行動をしている
9. その他( )
10. 特にない

全体では「1. 優先駐車場には、車を止めないようにしている」が74.4%で最も高く、次いで「2. 点字ブロックの上で立ち止まらない、自転車や荷物などを置かないようにしている」が69.8%となっています。

Q18. 次のようなことを心がけていますか。(選択はいくつでも) (n=840)

選択肢	全体		1. 18～29歳		2. 30～39歳		3. 40～49歳		4. 50～59歳		5. 60～69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 優先駐車場には、車を止めないようにしている	625	74.4%	40	71.4%	51	86.4%	92	86.0%	147	87.5%	112	88.2%	183	57.4%	0	0.0%
2. 点字ブロックの上で立ち止まらない、自転車や荷物などを置かないようにしている	586	69.8%	43	76.8%	43	72.9%	82	76.6%	136	81.0%	97	76.4%	185	58.0%	0	0.0%
3. 公共交通機関などで席を譲るようにしている	486	57.9%	37	66.1%	40	67.8%	80	74.8%	128	76.2%	80	63.0%	121	37.9%	0	0.0%
4. 子どもなどがぐずっているとき、迷惑そうなそぶりをしないよう心がけている	530	63.1%	37	66.1%	38	64.4%	79	73.8%	123	73.2%	84	66.1%	169	53.0%	0	0.0%
5. 困っていると思われる高齢者、障がいのある人、子ども連れの人などに声をかけるようにしている	371	44.2%	24	42.9%	23	39.0%	48	44.9%	86	51.2%	60	47.2%	130	40.8%	0	0.0%
6. 車椅子や杖を持った人、ベビーカー等の人の手助けをするようにしている	317	37.7%	19	33.9%	23	39.0%	39	36.4%	82	48.8%	50	39.4%	104	32.6%	0	0.0%
7. 福祉について報道されているテレビやラジオなど報道を意識して見聞きしている	220	26.2%	12	21.4%	10	16.9%	28	26.2%	38	22.6%	29	22.8%	103	32.3%	0	0.0%
8. 手話を習ったり、認知症サポーターになるなど人を助けるための行動をしている	20	2.4%	4	7.1%	0	0.0%	5	4.7%	3	1.8%	5	3.9%	3	0.9%	0	0.0%
9. その他	12	1.4%	1	1.8%	1	1.7%	0	0.0%	1	0.6%	3	2.4%	6	1.9%	0	0.0%
10. 特にない	33	3.9%	2	3.6%	2	3.4%	3	2.8%	1	0.6%	2	1.6%	23	7.2%	0	0.0%
回答者数	840		56		59		107		168		127		319		4	



## 5. ボランティア活動について

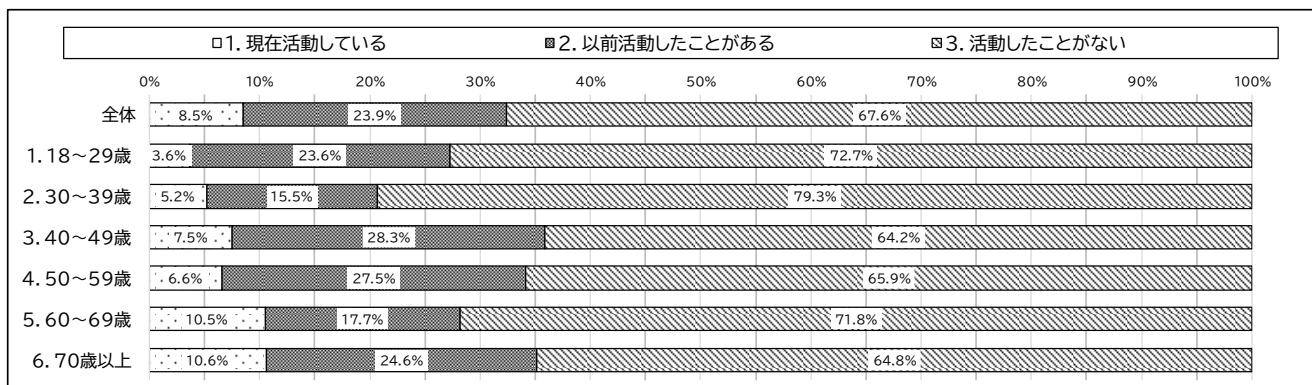
問19 ボランティア活動や助け合い活動を行ったことがありますか。(選択は1つ)

- |              |                |
|--------------|----------------|
| 1. 現在活動している  | 2. 以前活動したことがある |
| 3. 活動したことがない |                |

全体では「3. 活動したことがない」が67.6%で最も高く、次いで「2. 以前活動したことがある」が23.9%となっています。

Q19. ボランティア活動や助け合い活動を行ったことがありますか。(選択は1つ) (n=803)

選択肢	全体		1. 18~29歳		2. 30~39歳		3. 40~49歳		4. 50~59歳		5. 60~69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 現在活動している	68	8.5%	2	3.6%	3	5.2%	8	7.5%	11	6.6%	13	10.5%	31	10.6%	0	0.0%
2. 以前活動したことがある	192	23.9%	13	23.6%	9	15.5%	30	28.3%	46	27.5%	22	17.7%	72	24.6%	0	0.0%
3. 活動したことがない	543	67.6%	40	72.7%	46	79.3%	68	64.2%	110	65.9%	89	71.8%	190	64.8%	0	0.0%
計	803	100.0%	55	100.0%	58	100.0%	106	100.0%	167	100.0%	124	100.0%	293	100.0%	0	0.0%
無回答	37		1		1		1		1		3		26		4	



問19で「1. 現在活動している」、「2. 以前活動したことがある」と回答した方に

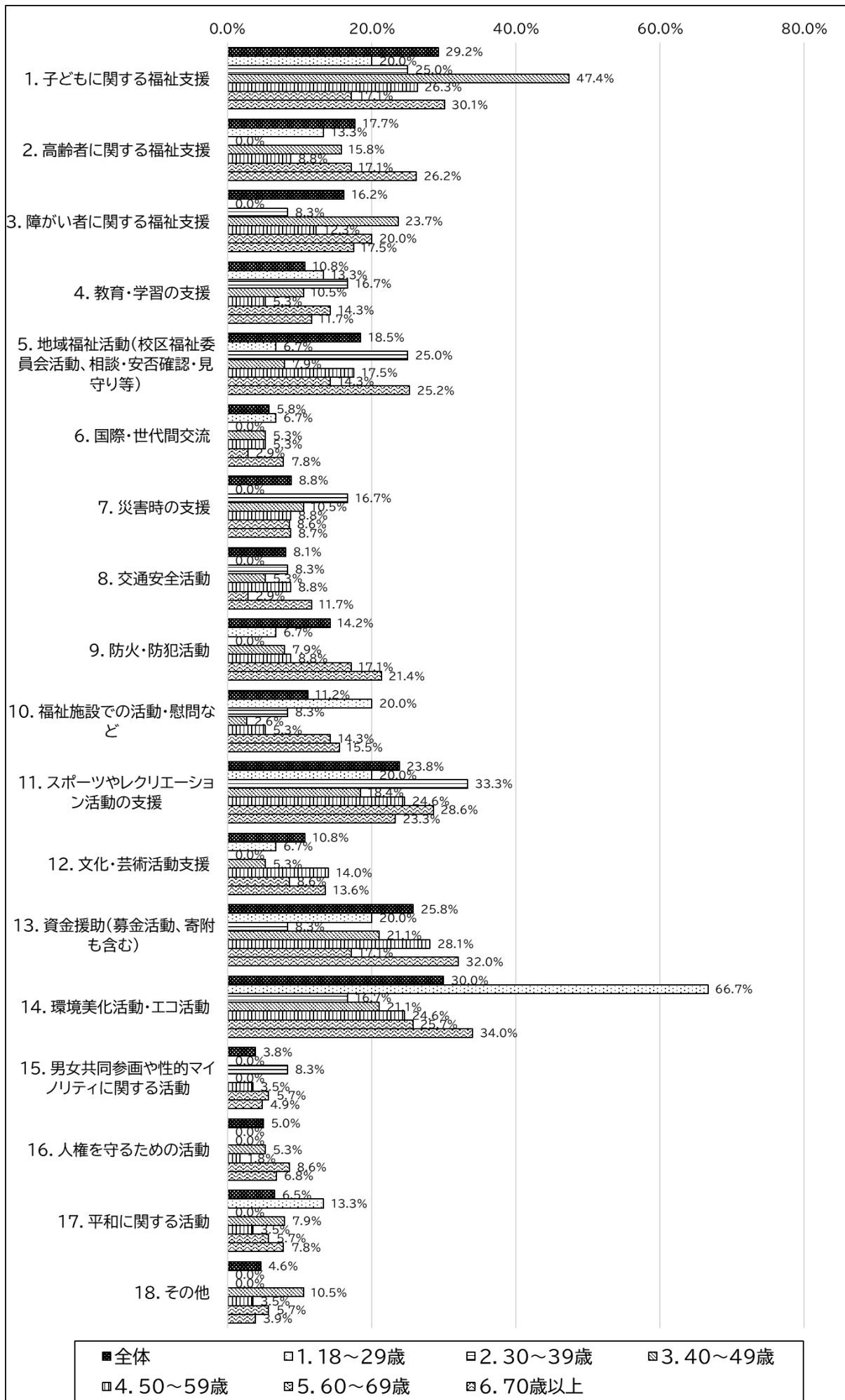
問20 現在取り組んでいる、または取り組んだことがあるボランティア活動や助け合い活動の具体的な内容は次のどれですか。(選択はいくつでも)

1. 子どもに関する福祉支援	2. 高齢者に関する福祉支援
3. 障がい者に関する福祉支援	4. 教育・学習の支援
5. 地域福祉活動(校区福祉委員会活動、相談・安否確認・見守り等)	6. 国際・世代間交流
7. 災害時の支援	8. 交通安全活動
9. 防火・防犯活動	10. 福祉施設での活動・慰問など
11. スポーツやレクリエーション活動の支援	12. 文化・芸術活動支援
13. 資金援助(募金活動、寄附も含む)	14. 環境美化活動・エコ活動
15. 男女共同参画や性的マイノリティに関する活動	
16. 人権を守るための活動	
17. 平和に関する活動	
18. その他( )	

全体では「14. 環境美化活動・エコ活動」が30.0%で最も高く、次いで「1. 子どもに関する福祉支援」が29.2%となっています。

Q20. 現在取り組んでいる、または取り組んだことがあるボランティア活動や助け合い活動の具体的な内容は次のどれですか。(選択はいくつでも) (n=260)

選択肢	全体		1. 18~29歳		2. 30~39歳		3. 40~49歳		4. 50~59歳		5. 60~69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 子どもに関する福祉支援	76	29.2%	3	20.0%	3	25.0%	18	47.4%	15	26.3%	6	17.1%	31	30.1%	0	0.0%
2. 高齢者に関する福祉支援	46	17.7%	2	13.3%	0	0.0%	6	15.8%	5	8.8%	6	17.1%	27	26.2%	0	0.0%
3. 障がい者に関する福祉支援	42	16.2%	0	0.0%	1	8.3%	9	23.7%	7	12.3%	7	20.0%	18	17.5%	0	0.0%
4. 教育・学習の支援	28	10.8%	2	13.3%	2	16.7%	4	10.5%	3	5.3%	5	14.3%	12	11.7%	0	0.0%
5. 地域福祉活動(校区福祉委員会活動、相談・安否確認・見守り等)	48	18.5%	1	6.7%	3	25.0%	3	7.9%	10	17.5%	5	14.3%	26	25.2%	0	0.0%
6. 国際・世代間交流	15	5.8%	1	6.7%	0	0.0%	2	5.3%	3	5.3%	1	2.9%	8	7.8%	0	0.0%
7. 災害時の支援	23	8.8%	0	0.0%	2	16.7%	4	10.5%	5	8.8%	3	8.6%	9	8.7%	0	0.0%
8. 交通安全活動	21	8.1%	0	0.0%	1	8.3%	2	5.3%	5	8.8%	1	2.9%	12	11.7%	0	0.0%
9. 防火・防犯活動	37	14.2%	1	6.7%	0	0.0%	3	7.9%	5	8.8%	6	17.1%	22	21.4%	0	0.0%
10. 福祉施設での活動・慰問など	29	11.2%	3	20.0%	1	8.3%	1	2.6%	3	5.3%	5	14.3%	16	15.5%	0	0.0%
11. スポーツやレクリエーション活動の支援	62	23.8%	3	20.0%	4	33.3%	7	18.4%	14	24.6%	10	28.6%	24	23.3%	0	0.0%
12. 文化・芸術活動支援	28	10.8%	1	6.7%	0	0.0%	2	5.3%	8	14.0%	3	8.6%	14	13.6%	0	0.0%
13. 資金援助(募金活動、寄附も含む)	67	25.8%	3	20.0%	1	8.3%	8	21.1%	16	28.1%	6	17.1%	33	32.0%	0	0.0%
14. 環境美化活動・エコ活動	78	30.0%	10	66.7%	2	16.7%	8	21.1%	14	24.6%	9	25.7%	35	34.0%	0	0.0%
15. 男女共同参画や性的マイノリティに関する活動	10	3.8%	0	0.0%	1	8.3%	0	0.0%	2	3.5%	2	5.7%	5	4.9%	0	0.0%
16. 人権を守るための活動	13	5.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.3%	1	1.8%	3	8.6%	7	6.8%	0	0.0%
17. 平和に関する活動	17	6.5%	2	13.3%	0	0.0%	3	7.9%	2	3.5%	2	5.7%	8	7.8%	0	0.0%
18. その他	12	4.6%	0	0.0%	0	0.0%	4	10.5%	2	3.5%	2	5.7%	4	3.9%	0	0.0%
回答者数	260		15		12		38		57		35		103		0	



問19で「3. 活動したことがない」と回答した方に

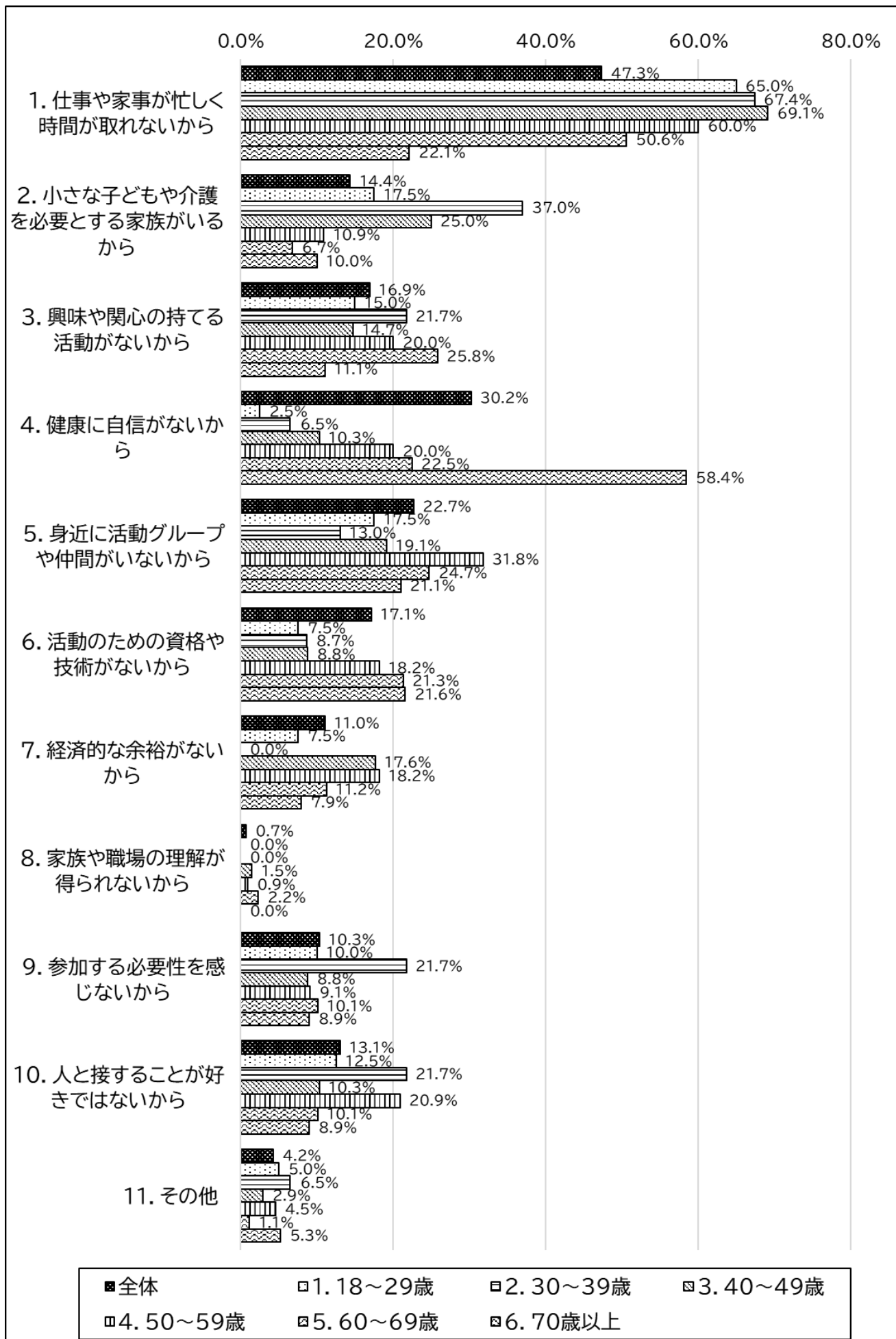
問21 ボランティア活動や助け合い活動に参加していない理由は、次のどれですか。(選択はいくつでも)

1. 仕事や学業、あるいは家事が忙しく時間が取れないから
2. 小さな子どもや介護を必要とする家族がいるから
3. 興味や関心の持てる活動がないから
4. 健康に自信がないから
5. 身近に活動グループや仲間がないから
6. 活動のための資格や技術がないから
7. 経済的な余裕がないから
8. 家族や職場の理解が得られないから
9. 参加する必要性を感じないから
10. 人と接することが好きではないから
11. その他( )

全体では「1. 仕事や学業、あるいは家事が忙しく時間が取れないから」が47.3%で最も高く、次いで「4. 健康に自信がないから」が30.2%となっています。

Q21. ボランティア活動や助け合い活動に参加していない理由は、次のどれですか。(選択はいくつでも) (n=543)

選択肢	全体		1. 18～29歳		2. 30～39歳		3. 40～49歳		4. 50～59歳		5. 60～69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 仕事や家事が忙しく時間が取れないから	257	47.3%	26	65.0%	31	67.4%	47	69.1%	66	60.0%	45	50.6%	42	22.1%	0	0.0%
2. 小さな子どもや介護を必要とする家族がいるから	78	14.4%	7	17.5%	17	37.0%	17	25.0%	12	10.9%	6	6.7%	19	10.0%	0	0.0%
3. 興味や関心の持てる活動がないから	92	16.9%	6	15.0%	10	21.7%	10	14.7%	22	20.0%	23	25.8%	21	11.1%	0	0.0%
4. 健康に自信がないから	164	30.2%	1	2.5%	3	6.5%	7	10.3%	22	20.0%	20	22.5%	111	58.4%	0	0.0%
5. 身近に活動グループや仲間がないから	123	22.7%	7	17.5%	6	13.0%	13	19.1%	35	31.8%	22	24.7%	40	21.1%	0	0.0%
6. 活動のための資格や技術がないから	93	17.1%	3	7.5%	4	8.7%	6	8.8%	20	18.2%	19	21.3%	41	21.6%	0	0.0%
7. 経済的な余裕がないから	60	11.0%	3	7.5%	0	0.0%	12	17.6%	20	18.2%	10	11.2%	15	7.9%	0	0.0%
8. 家族や職場の理解が得られないから	4	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.5%	1	0.9%	2	2.2%	0	0.0%	0	0.0%
9. 参加する必要性を感じないから	56	10.3%	4	10.0%	10	21.7%	6	8.8%	10	9.1%	9	10.1%	17	8.9%	0	0.0%
10. 人と接することが好きではないから	71	13.1%	5	12.5%	10	21.7%	7	10.3%	23	20.9%	9	10.1%	17	8.9%	0	0.0%
11. その他	23	4.2%	2	5.0%	3	6.5%	2	2.9%	5	4.5%	1	1.1%	10	5.3%	0	0.0%
回答者数	543		40		46		68		110		89		190		0	



再び、全ての人に

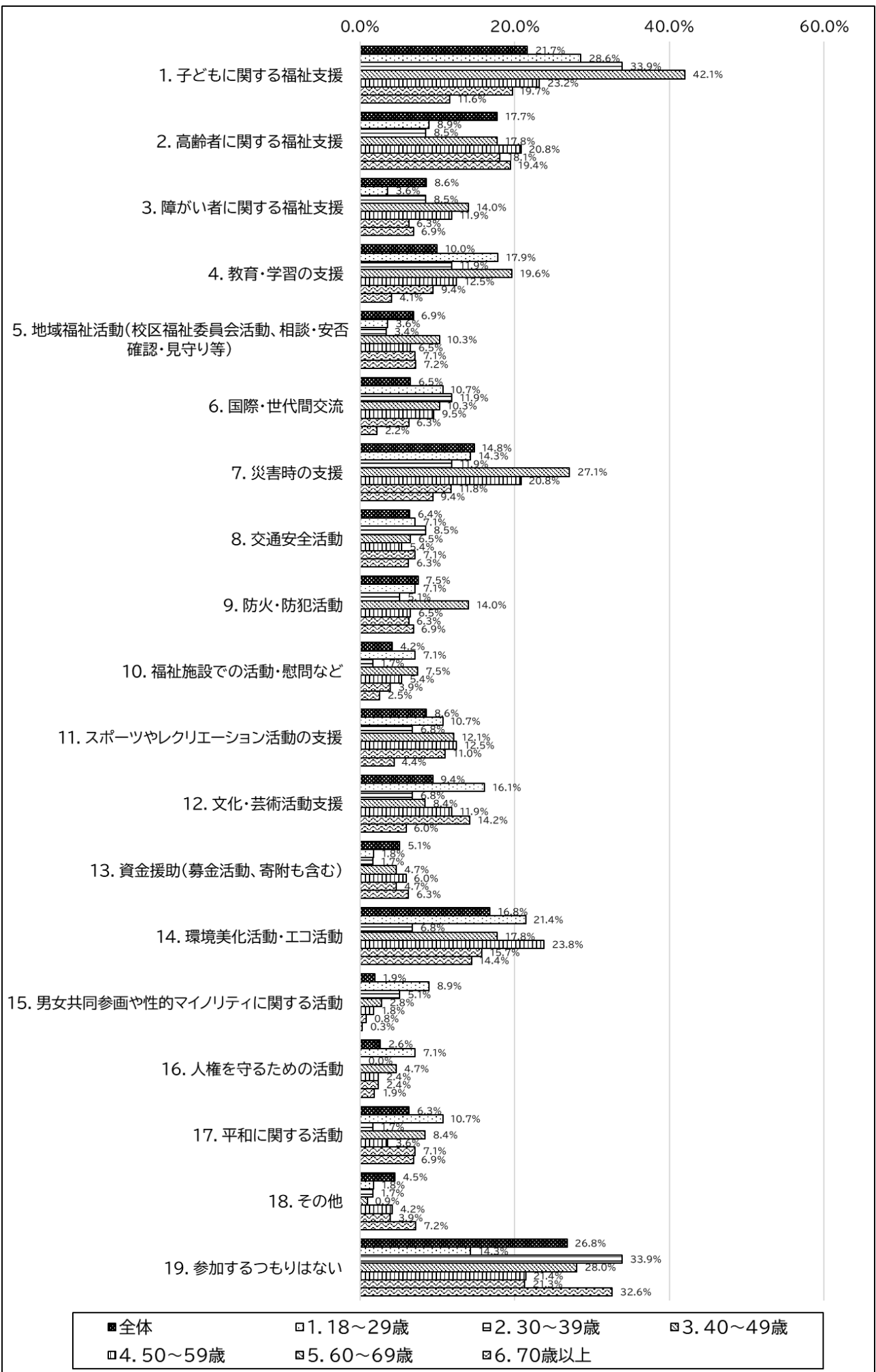
問22 今後、取り組んでみたいボランティア活動や助け合い活動はありますか。(選択はいくつでも)

1. 子どもに関する福祉支援	2. 高齢者に関する福祉支援
3. 障がい者に関する福祉支援	4. 教育・学習の支援
5. 地域福祉活動(校区福祉委員会活動、相談・安否確認・見守り等)	6. 国際・世代間交流
7. 災害時の支援	8. 交通安全活動
9. 防火・防犯活動	10. 福祉施設での活動・慰問など
11. スポーツやレクリエーション活動の支援	12. 文化・芸術活動支援
13. 資金援助(募金活動、寄附も含む)	14. 環境美化活動・エコ活動
15. 男女共同参画や性的マイノリティに関する活動	
16. 人権を守るための活動	
17. 平和に関する活動	
18. その他( )	
19. 参加するつもりはない	

全体では「19. 参加するつもりはない」が26.8%で最も高く、次いで「1. 子どもに関する福祉支援」が21.7%となっています。

Q22. 今後、取り組んでみたいボランティア活動や助け合い活動はありますか。(選択はいくつでも) (n=840)

選択肢	全体		1.18~29歳		2.30~39歳		3.40~49歳		4.50~59歳		5.60~69歳		6.70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 子どもに関する福祉支援	182	21.7%	16	28.6%	20	33.9%	45	42.1%	39	23.2%	25	19.7%	37	11.6%	0	0.0%
2. 高齢者に関する福祉支援	149	17.7%	5	8.9%	5	8.5%	19	17.8%	35	20.8%	23	18.1%	62	19.4%	0	0.0%
3. 障がい者に関する福祉支援	72	8.6%	2	3.6%	5	8.5%	15	14.0%	20	11.9%	8	6.3%	22	6.9%	0	0.0%
4. 教育・学習の支援	84	10.0%	10	17.9%	7	11.9%	21	19.6%	21	12.5%	12	9.4%	13	4.1%	0	0.0%
5. 地域福祉活動(校区福祉委員会活動、相談・安否確認・見守り等)	58	6.9%	2	3.6%	2	3.4%	11	10.3%	11	6.5%	9	7.1%	23	7.2%	0	0.0%
6. 国際・世代間交流	55	6.5%	6	10.7%	7	11.9%	11	10.3%	16	9.5%	8	6.3%	7	2.2%	0	0.0%
7. 災害時の支援	124	14.8%	8	14.3%	7	11.9%	29	27.1%	35	20.8%	15	11.8%	30	9.4%	0	0.0%
8. 交通安全活動	54	6.4%	4	7.1%	5	8.5%	7	6.5%	9	5.4%	9	7.1%	20	6.3%	0	0.0%
9. 防火・防犯活動	63	7.5%	4	7.1%	3	5.1%	15	14.0%	11	6.5%	8	6.3%	22	6.9%	0	0.0%
10. 福祉施設での活動・慰問など	35	4.2%	4	7.1%	1	1.7%	8	7.5%	9	5.4%	5	3.9%	8	2.5%	0	0.0%
11. スポーツやレクリエーション活動の支援	72	8.6%	6	10.7%	4	6.8%	13	12.1%	21	12.5%	14	11.0%	14	4.4%	0	0.0%
12. 文化・芸術活動支援	79	9.4%	9	16.1%	4	6.8%	9	8.4%	20	11.9%	18	14.2%	19	6.0%	0	0.0%
13. 資金援助(募金活動、寄附も含む)	43	5.1%	1	1.8%	1	1.7%	5	4.7%	10	6.0%	6	4.7%	20	6.3%	0	0.0%
14. 環境美化活動・エコ活動	141	16.8%	12	21.4%	4	6.8%	19	17.8%	40	23.8%	20	15.7%	46	14.4%	0	0.0%
15. 男女共同参画や性的マイノリティに関する活動	16	1.9%	5	8.9%	3	5.1%	3	2.8%	3	1.8%	1	0.8%	1	0.3%	0	0.0%
16. 人権を守るための活動	22	2.6%	4	7.1%	0	0.0%	5	4.7%	4	2.4%	3	2.4%	6	1.9%	0	0.0%
17. 平和に関する活動	53	6.3%	6	10.7%	1	1.7%	9	8.4%	6	3.6%	9	7.1%	22	6.9%	0	0.0%
18. その他	38	4.5%	1	1.8%	1	1.7%	1	0.9%	7	4.2%	5	3.9%	23	7.2%	0	0.0%
19. 参加するつもりはない	225	26.8%	8	14.3%	20	33.9%	30	28.0%	36	21.4%	27	21.3%	104	32.6%	0	0.0%
回答者数	840		56		59		107		168		127		319		4	



問23 どのような支援があると、ボランティア活動が行いやすいと思いますか。(選択はいくつでも)

1. ボランティア活動に関する情報提供
2. ボランティア活動先の紹介(マッチング)
3. ボランティア活動に関する研修会の機会
4. ボランティア活動者同士の交流の場
5. ボランティア活動に対する職場の理解
6. ボランティア休暇等、職場からの支援
7. ボランティアに関する活動費の補助(交通費等)
8. ボランティア活動に対する証明書などの発行
9. ボランティア活動に対する相談対応
10. その他( )
11. 特にない

全体では「1. ボランティア活動に関する情報提供」が51.0%で最も高く、次いで「2. ボランティア活動先の紹介(マッチング)」が22.6%となっています。

Q23. どのような支援があると、ボランティア活動が行いやすいと思いますか。(選択はいくつでも) (n=840)

選択肢	全体		1.18~29歳		2.30~39歳		3.40~49歳		4.50~59歳		5.60~69歳		6.70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. ボランティア活動に関する情報提供	428	51.0%	33	58.9%	32	54.2%	59	55.1%	104	61.9%	81	63.8%	119	37.3%	0	0.0%
2. ボランティア活動先の紹介(マッチング)	190	22.6%	18	32.1%	17	28.8%	18	16.8%	60	35.7%	32	25.2%	45	14.1%	0	0.0%
3. ボランティア活動に関する研修会の機会	126	15.0%	4	7.1%	7	11.9%	14	13.1%	36	21.4%	24	18.9%	41	12.9%	0	0.0%
4. ボランティア活動者同士の交流の場	131	15.6%	13	23.2%	6	10.2%	15	14.0%	30	17.9%	15	11.8%	52	16.3%	0	0.0%
5. ボランティア活動に対する職場の理解	89	10.6%	7	12.5%	13	22.0%	21	19.6%	26	15.5%	10	7.9%	12	3.8%	0	0.0%
6. ボランティア休暇等、職場からの支援	123	14.6%	17	30.4%	19	32.2%	32	29.9%	33	19.6%	11	8.7%	11	3.4%	0	0.0%
7. ボランティアに関する活動費の補助(交通費等)	176	21.0%	18	32.1%	20	33.9%	32	29.9%	33	19.6%	29	22.8%	44	13.8%	0	0.0%
8. ボランティア活動に対する証明書などの発行	51	6.1%	5	8.9%	7	11.9%	10	9.3%	11	6.5%	5	3.9%	13	4.1%	0	0.0%
9. ボランティア活動に対する相談対応	72	8.6%	4	7.1%	2	3.4%	11	10.3%	16	9.5%	17	13.4%	22	6.9%	0	0.0%
10. その他	21	2.5%	1	1.8%	2	3.4%	0	0.0%	5	3.0%	1	0.8%	12	3.8%	0	0.0%
11. 特にない	182	21.7%	4	7.1%	11	18.6%	22	20.6%	26	15.5%	22	17.3%	97	30.4%	0	0.0%
回答者数	840		56		59		107		168		127		319		4	



## 6. 福祉に関わる支援者等について

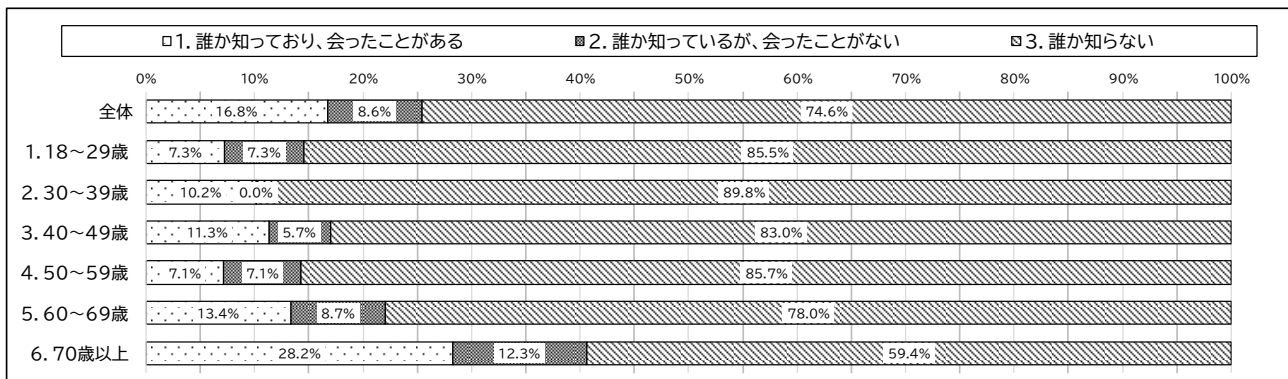
問24 あなたの住んでいる地域の民生委員・児童委員が誰か知っていますか。(選択は1つ)

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| 1. 誰か知っており、会ったことがある | 2. 誰か知っているが、会ったことがない |
| 3. 誰か知らない           |                      |

全体では「3. 誰か知らない」が74.6%で最も高く、次いで「1. 誰か知っており、会ったことがある」が16.8%となっています。

Q24. あなたの住んでいる地域の民生委員・児童委員が誰か知っていますか。(選択は1つ) (n=823)

選択肢	全体		1. 18~29歳		2. 30~39歳		3. 40~49歳		4. 50~59歳		5. 60~69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 誰か知っており、会ったことがある	138	16.8%	4	7.3%	6	10.2%	12	11.3%	12	7.1%	17	13.4%	87	28.2%	0	0.0%
2. 誰か知っているが、会ったことがない	71	8.6%	4	7.3%	0	0.0%	6	5.7%	12	7.1%	11	8.7%	38	12.3%	0	0.0%
3. 誰か知らない	614	74.6%	47	85.5%	53	89.8%	88	83.0%	144	85.7%	99	78.0%	183	59.4%	0	0.0%
計	823	100.0%	55	100.0%	59	100.0%	106	100.0%	168	100.0%	127	100.0%	308	100.0%	0	0.0%
無回答	17		1		0		1		0		0		11		4	



問25 民生委員・児童委員が行う活動として、あなたご存知の内容は、次のどれですか。

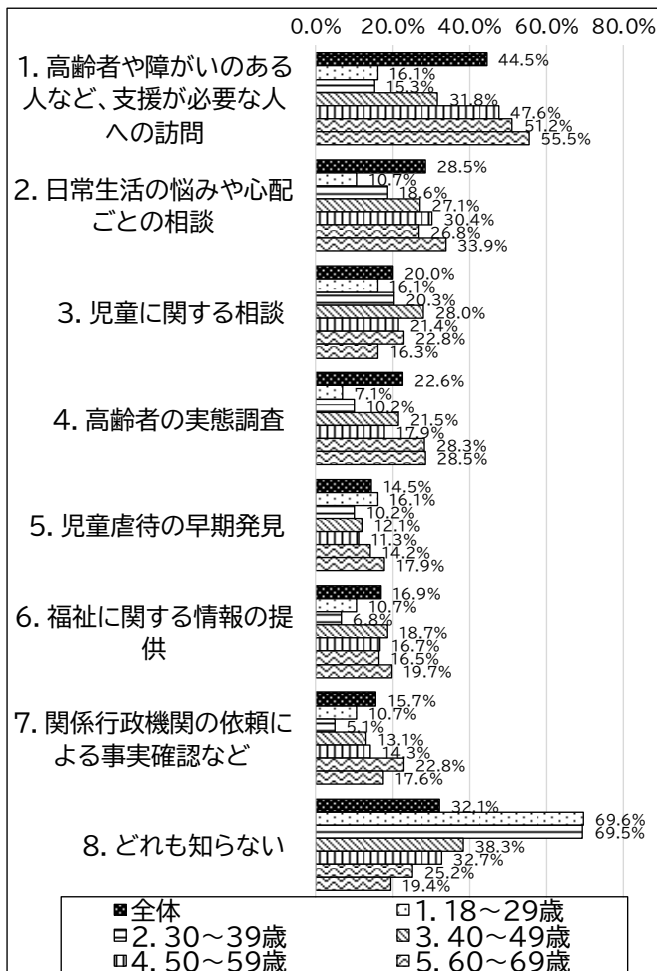
(選択はいくつでも)

1. 高齢者や障がいのある人など、支援が必要な人への訪問
2. 日常生活の悩みや心配ごとの相談
3. 児童に関する相談
4. 高齢者の実態調査
5. 児童虐待の早期発見
6. 福祉に関する情報の提供
7. 関係行政機関の依頼による事実確認など
8. どれも知らない

全体では「1. 高齢者や障がいのある人など、支援が必要な人への訪問」が44.5%で最も高く、次いで「8. どれも知らない」が32.1%となっています。

Q25. 民生委員・児童委員が行う活動として、あなたご存知の内容は、次のどれですか。(選択はいくつでも) (n=840)

選択肢	全体		1. 18~29歳		2. 30~39歳		3. 40~49歳		4. 50~59歳		5. 60~69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 高齢者や障がいのある人など、支援が必要な人への訪問	374	44.5%	9	16.1%	9	15.3%	34	31.8%	80	47.6%	65	51.2%	177	55.5%	0	0.0%
2. 日常生活の悩みや心配ごとの相談	239	28.5%	6	10.7%	11	18.6%	29	27.1%	51	30.4%	34	26.8%	108	33.9%	0	0.0%
3. 児童に関する相談	168	20.0%	9	16.1%	12	20.3%	30	28.0%	36	21.4%	29	22.8%	52	16.3%	0	0.0%
4. 高齢者の実態調査	190	22.6%	4	7.1%	6	10.2%	23	21.5%	30	17.9%	36	28.3%	91	28.5%	0	0.0%
5. 児童虐待の早期発見	122	14.5%	9	16.1%	6	10.2%	13	12.1%	19	11.3%	18	14.2%	57	17.9%	0	0.0%
6. 福祉に関する情報の提供	142	16.9%	6	10.7%	4	6.8%	20	18.7%	28	16.7%	21	16.5%	63	19.7%	0	0.0%
7. 関係行政機関の依頼による事実確認など	132	15.7%	6	10.7%	3	5.1%	14	13.1%	24	14.3%	29	22.8%	56	17.6%	0	0.0%
8. どれも知らない	270	32.1%	39	69.6%	41	69.5%	41	38.3%	55	32.7%	32	25.2%	62	19.4%	0	0.0%
回答者数	840		56		59		107		168		127		319		4	



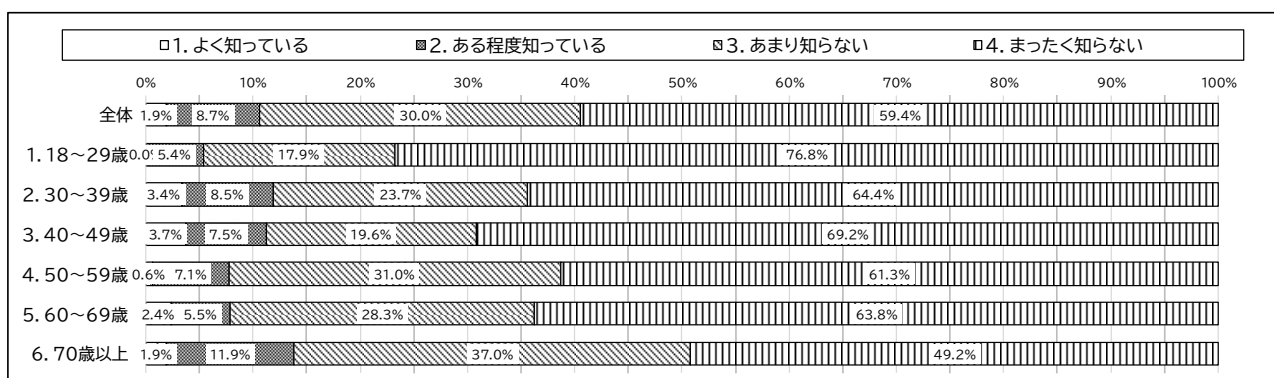
問26 あなたは、交野市にコミュニティソーシャルワーカー(CSW)という、福祉のなんでも相談員がいることをご存知ですか。(選択は1つ)

- |            |              |
|------------|--------------|
| 1. よく知っている | 2. ある程度知っている |
| 3. あまり知らない | 4. まったく知らない  |

全体では「4. まったく知らない」が59.4%で最も高く、次いで「3. あまり知らない」が30.0%となっています。

Q26. あなたは、交野市にコミュニティソーシャルワーカー(CSW)という、福祉のなんでも相談員がいることをご存知ですか。(選択は1つ)

選択肢	全体		1. 18~29歳		2. 30~39歳		3. 40~49歳		4. 50~59歳		5. 60~69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. よく知っている	16	1.9%	0	0.0%	2	3.4%	4	3.7%	1	0.6%	3	2.4%	6	1.9%	0	0.0%
2. ある程度知っている	72	8.7%	3	5.4%	5	8.5%	8	7.5%	12	7.1%	7	5.5%	37	11.9%	0	0.0%
3. あまり知らない	248	30.0%	10	17.9%	14	23.7%	21	19.6%	52	31.0%	36	28.3%	115	37.0%	0	0.0%
4. まったく知らない	492	59.4%	43	76.8%	38	64.4%	74	69.2%	103	61.3%	81	63.8%	153	49.2%	0	0.0%
計	828	100.0%	56	100.0%	59	100.0%	107	100.0%	168	100.0%	127	100.0%	311	100.0%	0	0.0%
無回答	12		0		0		0		0		0		8		4	



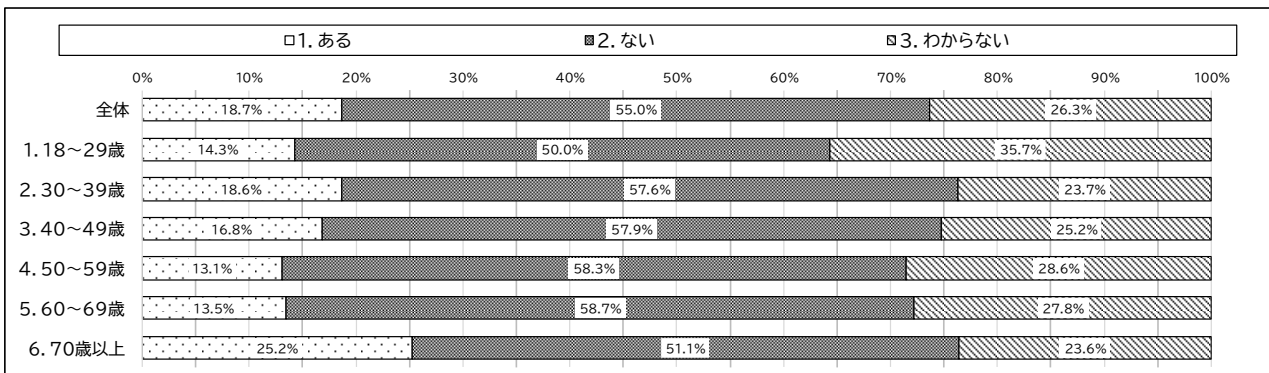
問27 あなたは、今までに「社会を明るくする運動(犯罪の予防と犯罪者の更生について理解を深め、協力しあう運動)」という言葉を見聞きしたことがありますか。(選択は1つ)

- |          |       |
|----------|-------|
| 1. ある    | 2. ない |
| 3. わからない |       |

全体では「2. ない」が55.0%で最も高く、次いで「3. わからない」が26.3%となっています。

Q27. あなたは、今までに「社会を明るくする運動(犯罪の予防と犯罪者の更生について理解を深め、協力しあう運動)」という言葉を見聞きしたこと

選択肢	全体		1. 18～29歳		2. 30～39歳		3. 40～49歳		4. 50～59歳		5. 60～69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. ある	154	18.7%	8	14.3%	11	18.6%	18	16.8%	22	13.1%	17	13.5%	78	25.2%	0	0.0%
2. ない	454	55.0%	28	50.0%	34	57.6%	62	57.9%	98	58.3%	74	58.7%	158	51.1%	0	0.0%
3. わからない	217	26.3%	20	35.7%	14	23.7%	27	25.2%	48	28.6%	35	27.8%	73	23.6%	0	0.0%
計	825	100.0%	56	100.0%	59	100.0%	107	100.0%	168	100.0%	126	100.0%	309	100.0%	0	0.0%
無回答	15		0		0		0		0		1		10		4	



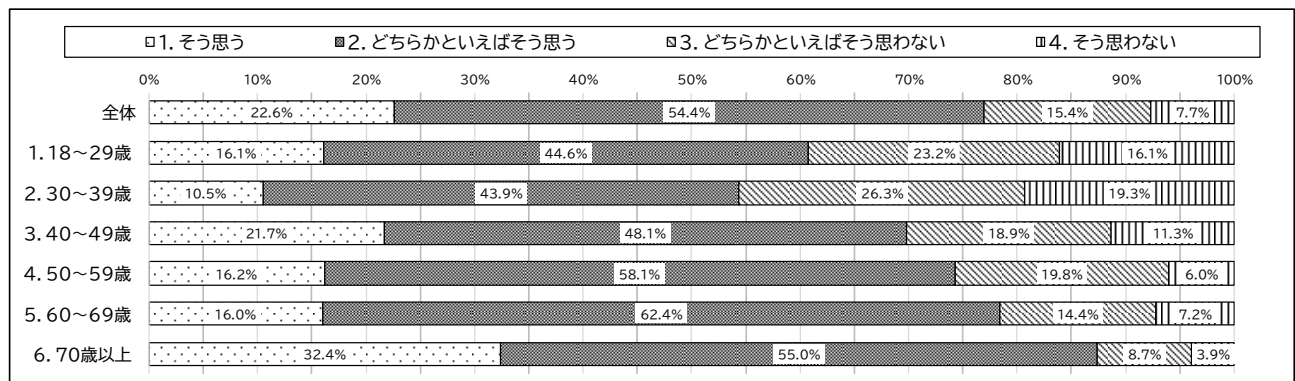
問28 あなたは、再犯防止のためには、犯罪をした人を社会から排除・孤立させるのではなく、再び受け入れることが自然にできる「誰一人取り残さない」社会の実現が大切である。という意見について、どう思いますか。(選択は1つ)

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う           | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない       |

全体では「2. どちらかといえばそう思う」が54.4%で最も高く、次いで「1. そう思う」が22.6%となっています。

Q28. あなたは、再犯防止のためには、犯罪をした人を社会から排除・孤立させるのではなく、再び受け入れることが自然にできる「誰一人取り残さない

選択肢	全体		1. 18～29歳		2. 30～39歳		3. 40～49歳		4. 50～59歳		5. 60～69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. そう思う	185	22.6%	9	16.1%	6	10.5%	23	21.7%	27	16.2%	20	16.0%	100	32.4%	0	0.0%
2. どちらかといえばそう思う	446	54.4%	25	44.6%	25	43.9%	51	48.1%	97	58.1%	78	62.4%	170	55.0%	0	0.0%
3. どちらかといえばそう思わない	126	15.4%	13	23.2%	15	26.3%	20	18.9%	33	19.8%	18	14.4%	27	8.7%	0	0.0%
4. そう思わない	63	7.7%	9	16.1%	11	19.3%	12	11.3%	10	6.0%	9	7.2%	12	3.9%	0	0.0%



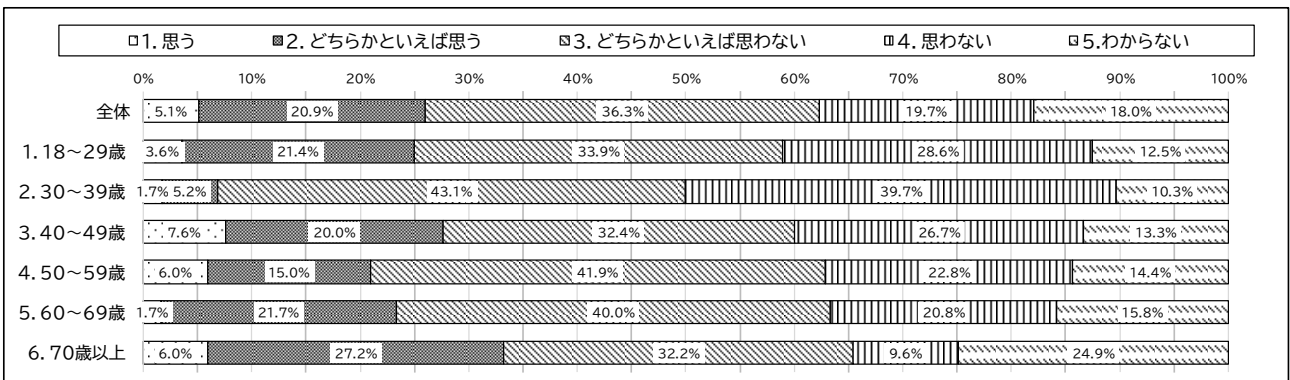
問29 あなたは、犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか。(選択は1つ)

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 1. 思う           | 2. どちらかといえば思う |
| 3. どちらかといえば思わない | 4. 思わない       |
| 5. わからない        |               |

全体では「3. どちらかといえば思わない」が36.3%で最も高く、次いで「2. どちらかといえば思う」が20.9%となっています。

Q29. あなたは、犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか。(選択は1つ) (n=807)

選択肢	全体		1. 18~29歳		2. 30~39歳		3. 40~49歳		4. 50~59歳		5. 60~69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 思う	41	5.1%	2	3.6%	1	1.7%	8	7.6%	10	6.0%	2	1.7%	18	6.0%	0	0.0%
2. どちらかといえば思う	169	20.9%	12	21.4%	3	5.2%	21	20.0%	25	15.0%	26	21.7%	82	27.2%	0	0.0%
3. どちらかといえば思わない	293	36.3%	19	33.9%	25	43.1%	34	32.4%	70	41.9%	48	40.0%	97	32.2%	0	0.0%
4. 思わない	159	19.7%	16	28.6%	23	39.7%	28	26.7%	38	22.8%	25	20.8%	29	9.6%	0	0.0%
5. わからない	145	18.0%	7	12.5%	6	10.3%	14	13.3%	24	14.4%	19	15.8%	75	24.9%	0	0.0%
計	807	100.0%	56	100.0%	58	100.0%	105	100.0%	167	100.0%	120	100.0%	301	100.0%	0	0.0%
無回答	33		0		1		2		1		7		18		4	



問29で「1. 思う」、「2. どちらかといえば思う」と回答した方に

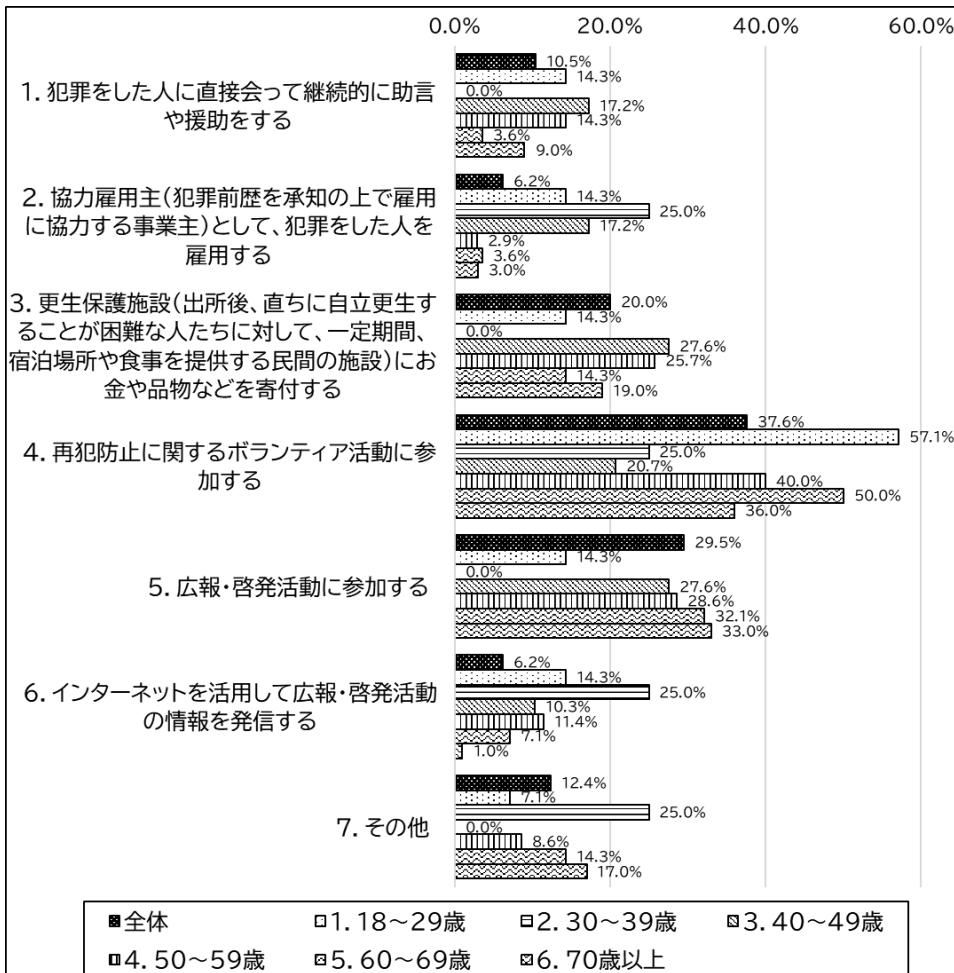
問30 どのような協力をしたいと思いますか。(選択はいくつでも)

1. 犯罪をした人に直接会って継続的に助言や援助をする
2. 協力雇用主(犯罪前歴を承知の上で雇用に協力する事業主)として、犯罪をした人を雇用する
3. 更生保護施設(出所後、直ちに自立更生することが困難な人たちに対して、一定期間、宿泊場所や食事を提供する民間の施設)にお金や品物などを寄付する
4. 再犯防止に関するボランティア活動に参加する
5. 広報・啓発活動に参加する
6. インターネットを活用して広報・啓発活動の情報を発信する
7. その他( )

全体では「4. 再犯防止に関するボランティア活動に参加する」が37.6%で最も高く、次いで「5. 広報・啓発活動に参加する」が29.5%となっています。

Q30. どのような協力をしたいと思いますか。(選択はいくつでも) (n=210)

選択肢	全体		1.18~29歳		2.30~39歳		3.40~49歳		4.50~59歳		5.60~69歳		6.70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 犯罪をした人に直接会って継続的に助言や援助をする	22	10.5%	2	14.3%	0	0.0%	5	17.2%	5	14.3%	1	3.6%	9	9.0%	0	0.0%
2. 協力雇用主(犯罪前歴を承知の上で雇用に協力する事業主)として、犯罪をした人を雇用する	13	6.2%	2	14.3%	1	25.0%	5	17.2%	1	2.9%	1	3.6%	3	3.0%	0	0.0%
3. 更生保護施設(出所後、直ちに自立更生することが困難な人たちに対して、一定期間、宿泊場所や食事を提供する民間の施設)にお金や品物などを寄付する	42	20.0%	2	14.3%	0	0.0%	8	27.6%	9	25.7%	4	14.3%	19	19.0%	0	0.0%
4. 再犯防止に関するボランティア活動に参加する	79	37.6%	8	57.1%	1	25.0%	6	20.7%	14	40.0%	14	50.0%	36	36.0%	0	0.0%
5. 広報・啓発活動に参加する	62	29.5%	2	14.3%	0	0.0%	8	27.6%	10	28.6%	9	32.1%	33	33.0%	0	0.0%
6. インターネットを活用して広報・啓発活動の情報を発信する	13	6.2%	2	14.3%	1	25.0%	3	10.3%	4	11.4%	2	7.1%	1	1.0%	0	0.0%
7. その他	26	12.4%	1	7.1%	1	25.0%	0	0.0%	3	8.6%	4	14.3%	17	17.0%	0	0.0%
回答者数	210		14		4		29		35		28		100		0	



問29で「3. どちらかといえば思わない」、「4. 思わない」と回答した方に

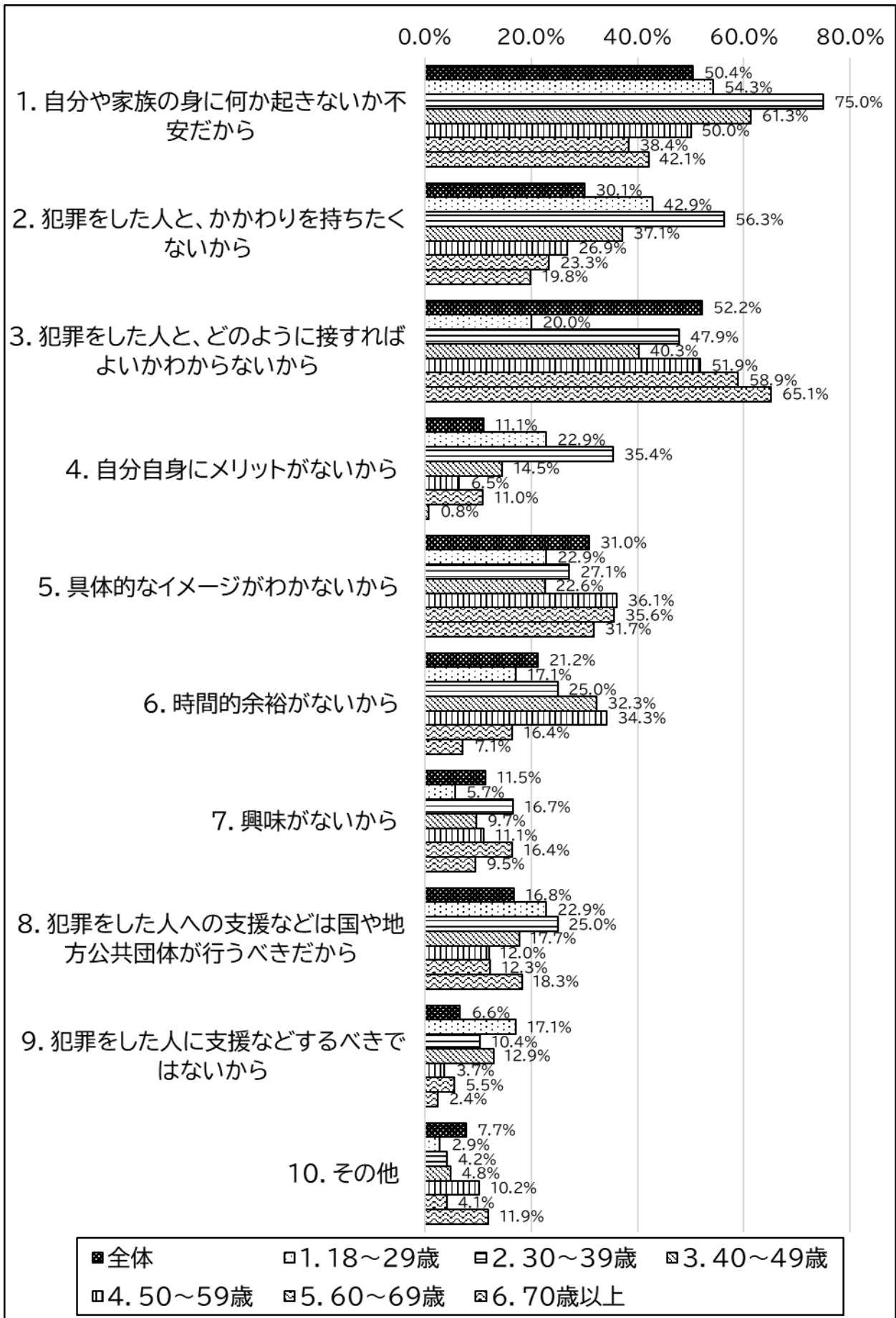
問31 協力したいと思わない理由を教えてください。(選択はいくつでも)

1. 自分や家族の身に何か起きないか不安だから
2. 犯罪をした人と、かかわりを持ちたくないから
3. 犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから
4. 自分自身にメリットがないから
5. 具体的なイメージがわからないから
6. 時間的余裕がないから
7. 興味がないから
8. 犯罪をした人への支援などは国や地方公共団体が行うべきだから
9. 犯罪をした人に支援などするべきではないから
10. その他( )

全体では「3. 犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから」が52.2%で最も高く、次いで「1. 自分や家族の身に何か起きないか不安だから」が50.4%となっています。

Q31. 協力したいと思わない理由を教えてください。(選択はいくつでも) (n=452)

選択肢	全体		1. 18～29歳		2. 30～39歳		3. 40～49歳		4. 50～59歳		5. 60～69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 自分や家族の身に何か起きないか不安だから	228	50.4%	19	54.3%	36	75.0%	38	61.3%	54	50.0%	28	38.4%	53	42.1%	0	0.0%
2. 犯罪をした人と、かかわりを持ちたくないから	136	30.1%	15	42.9%	27	56.3%	23	37.1%	29	26.9%	17	23.3%	25	19.8%	0	0.0%
3. 犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから	236	52.2%	7	20.0%	23	47.9%	25	40.3%	56	51.9%	43	58.9%	82	65.1%	0	0.0%
4. 自分自身にメリットがないから	50	11.1%	8	22.9%	17	35.4%	9	14.5%	7	6.5%	8	11.0%	1	0.8%	0	0.0%
5. 具体的なイメージがわからないから	140	31.0%	8	22.9%	13	27.1%	14	22.6%	39	36.1%	26	35.6%	40	31.7%	0	0.0%
6. 時間的余裕がないから	96	21.2%	6	17.1%	12	25.0%	20	32.3%	37	34.3%	12	16.4%	9	7.1%	0	0.0%
7. 興味がないから	52	11.5%	2	5.7%	8	16.7%	6	9.7%	12	11.1%	12	16.4%	12	9.5%	0	0.0%
8. 犯罪をした人への支援などは国や地方公共団体が行うべきだから	76	16.8%	8	22.9%	12	25.0%	11	17.7%	13	12.0%	9	12.3%	23	18.3%	0	0.0%
9. 犯罪をした人に支援などするべきではないから	30	6.6%	6	17.1%	5	10.4%	8	12.9%	4	3.7%	4	5.5%	3	2.4%	0	0.0%
10. その他	35	7.7%	1	2.9%	2	4.2%	3	4.8%	11	10.2%	3	4.1%	15	11.9%	0	0.0%
回答者数	452		35		48		62		108		73		126		0	



再び、全ての人に

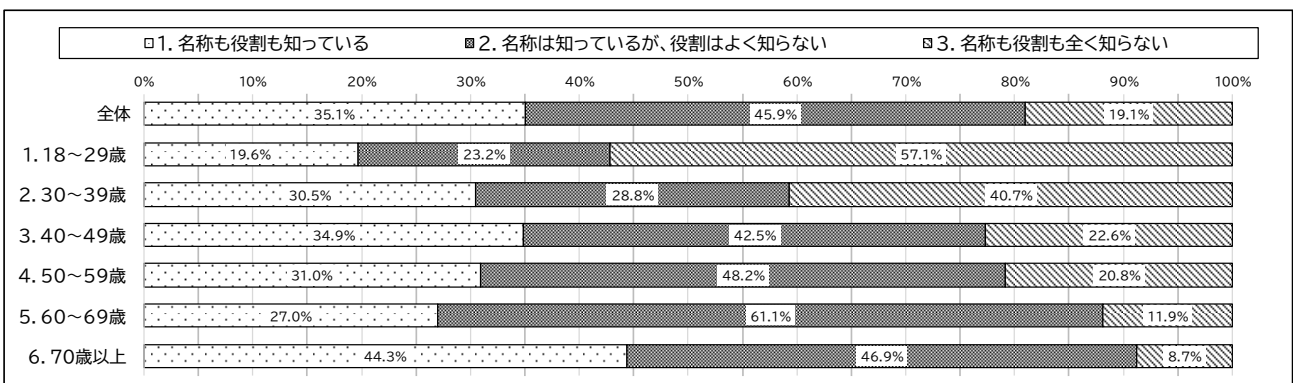
問32 あなたは「保護司」の役割について知っていますか。(選択は1つ)

1. 名称も役割も知っている
2. 名称は知っているが、役割はよく知らない
3. 名称も役割も全く知らない

全体では「2. 名称は知っているが、役割はよく知らない」が45.9%で最も高く、次いで「1. 名称も役割も知っている」が35.1%となっています。

Q32. あなたは「保護司」の役割について知っていますか。(選択は1つ) (n=824)

選択肢	全体		1. 18～29歳		2. 30～39歳		3. 40～49歳		4. 50～59歳		5. 60～69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 名称も役割も知っている	289	35.1%	11	19.6%	18	30.5%	37	34.9%	52	31.0%	34	27.0%	137	44.3%	0	0.0%
2. 名称は知っているが、役割はよく知らない	378	45.9%	13	23.2%	17	28.8%	45	42.5%	81	48.2%	77	61.1%	145	46.9%	0	0.0%
3. 名称も役割も全く知らない	157	19.1%	32	57.1%	24	40.7%	24	22.6%	35	20.8%	15	11.9%	27	8.7%	0	0.0%
計	824	100.0%	56	100.0%	59	100.0%	106	100.0%	168	100.0%	126	100.0%	309	100.0%	0	0.0%
無回答	16		0		0		1		0		1		10		4	



問33 あなたは、再犯防止のためには具体的にどのようなことが必要だと思いますか。

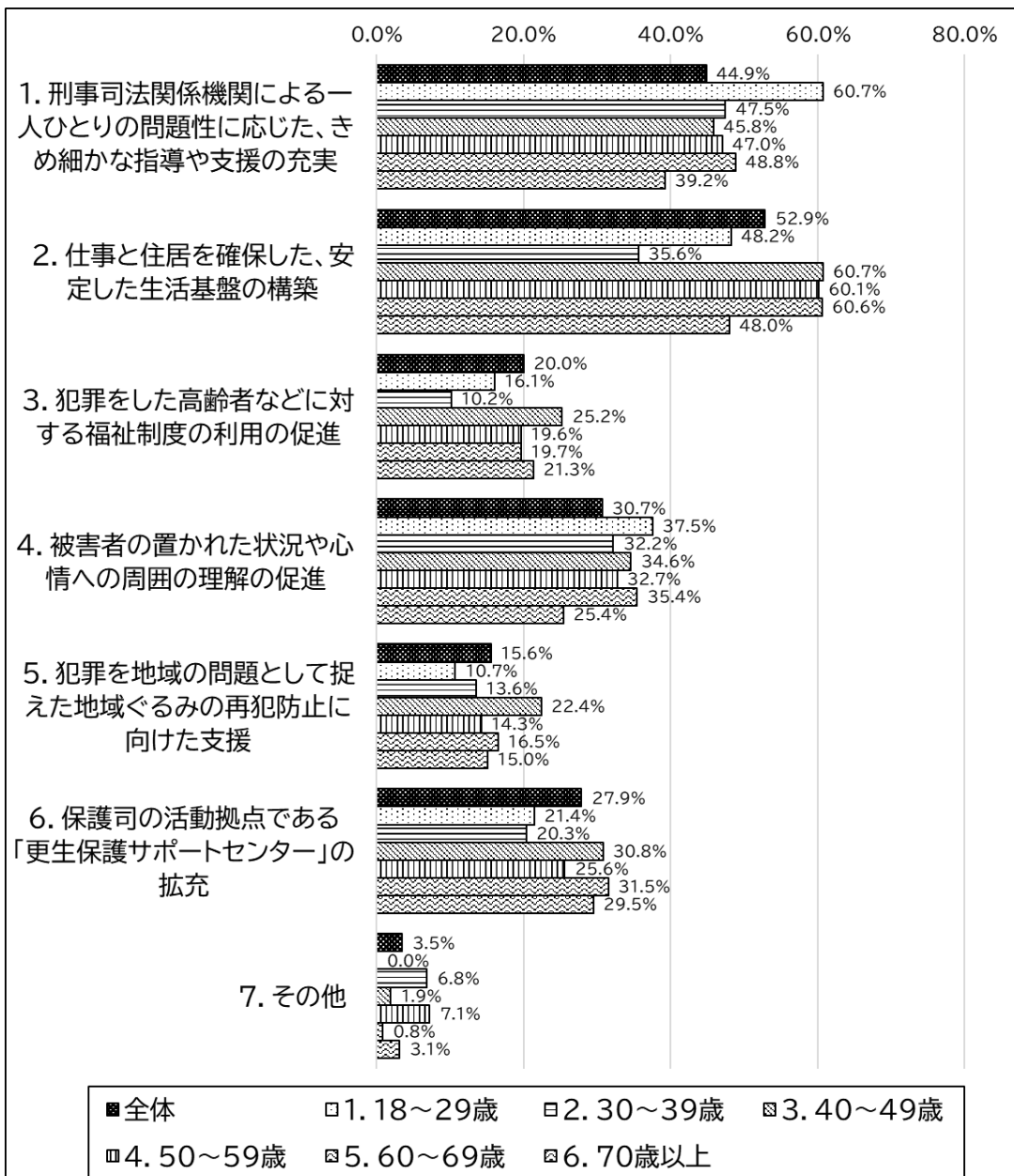
(選択はいくつでも)

- |   |
|---|
| 1. 刑事司法関係機関による一人ひとりの問題性に応じた、きめ細かな指導や支援の充実 |
| 2. 仕事と住居を確保した、安定した生活基盤の構築                 |
| 3. 犯罪をした高齢者などに対する福祉制度の利用の促進               |
| 4. 被害者の置かれた状況や心情への周囲の理解の促進                |
| 5. 犯罪を地域の問題として捉えた地域ぐるみの再犯防止に向けた支援         |
| 6. 保護司の活動拠点である「更生保護サポートセンター」の拡充           |
| 7. その他( )                                 |

全体では「2. 仕事と住居を確保した、安定した生活基盤の構築」が52.9%で最も高く、次いで「1. 刑事司法関係機関による一人ひとりの問題性に応じた、きめ細かな指導や支援の充実」が44.9%となっています。

Q33. あなたは、再犯防止のためには具体的にどのようなことが必要だと思いますか。(選択はいくつでも) (n=840)

選択肢	全体		1. 18~29歳		2. 30~39歳		3. 40~49歳		4. 50~59歳		5. 60~69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 刑事司法関係機関による一人ひとりの問題性に 応じた、きめ細かな指導 や支援の充実	377	44.9%	34	60.7%	28	47.5%	49	45.8%	79	47.0%	62	48.8%	125	39.2%	0	0.0%
2. 仕事と住居を確保した、 安定した生活基盤の 構築	444	52.9%	27	48.2%	21	35.6%	65	60.7%	101	60.1%	77	60.6%	153	48.0%	0	0.0%
3. 犯罪をした高齢者など に対する福祉制度の 利用の促進	168	20.0%	9	16.1%	6	10.2%	27	25.2%	33	19.6%	25	19.7%	68	21.3%	0	0.0%
4. 被害者の置かれた状 況や心情への周囲の理 解の促進	258	30.7%	21	37.5%	19	32.2%	37	34.6%	55	32.7%	45	35.4%	81	25.4%	0	0.0%
5. 犯罪を地域の問題と して捉えた地域ぐるみの 再犯防止に向けた支援	131	15.6%	6	10.7%	8	13.6%	24	22.4%	24	14.3%	21	16.5%	48	15.0%	0	0.0%
6. 保護司の活動拠点で ある「更生保護サポート センター」の拡充	234	27.9%	12	21.4%	12	20.3%	33	30.8%	43	25.6%	40	31.5%	94	29.5%	0	0.0%
7. その他	29	3.5%	0	0.0%	4	6.8%	2	1.9%	12	7.1%	1	0.8%	10	3.1%	0	0.0%
回答者数	840		56		59		107		168		127		319		4	



## 7. 各種制度について

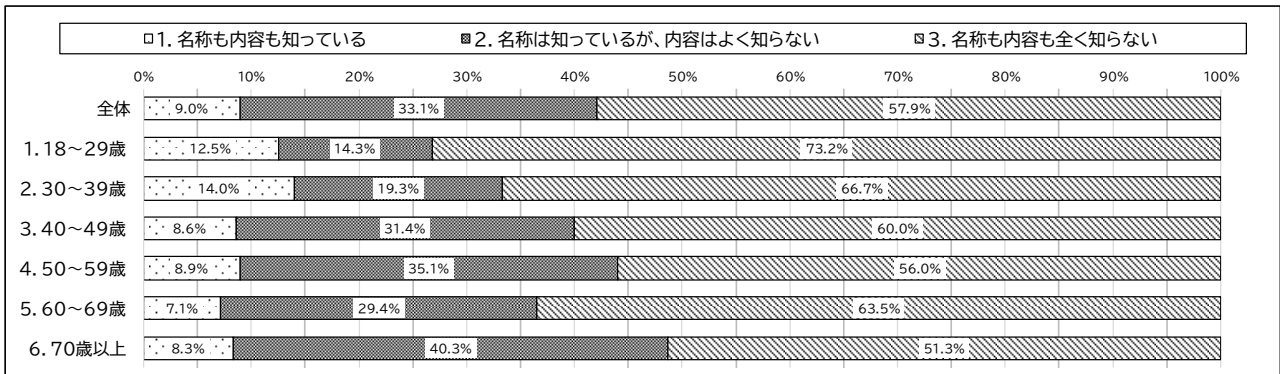
問34 日常生活自立支援事業について知っていますか。(選択は1つ)

1. 名称も内容も知っている
2. 名称は知っているが、内容はよく知らない
3. 名称も内容も全く知らない

全体では「3. 名称も内容も全く知らない」が57.9%で最も高く、次いで「2. 名称は知っているが、内容はよく知らない」が33.1%となっています。

Q34. 日常生活自立支援事業について知っていますか。(選択は1つ) (n=840)

選択肢	全体		1.18~29歳		2.30~39歳		3.40~49歳		4.50~59歳		5.60~69歳		6.70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 名称も内容も知っている	73	9.0%	7	12.5%	8	14.0%	9	8.6%	15	8.9%	9	7.1%	25	8.3%	0	0.0%
2. 名称は知っているが、内容はよく知らない	269	33.1%	8	14.3%	11	19.3%	33	31.4%	59	35.1%	37	29.4%	121	40.3%	0	0.0%
3. 名称も内容も全く知らない	470	57.9%	41	73.2%	38	66.7%	63	60.0%	94	56.0%	80	63.5%	154	51.3%	0	0.0%
計	812	100.0%	56	100.0%	57	100.0%	105	100.0%	168	100.0%	126	100.0%	300	100.0%	0	0.0%
無回答	28		0		2		2		0		1		19		4	





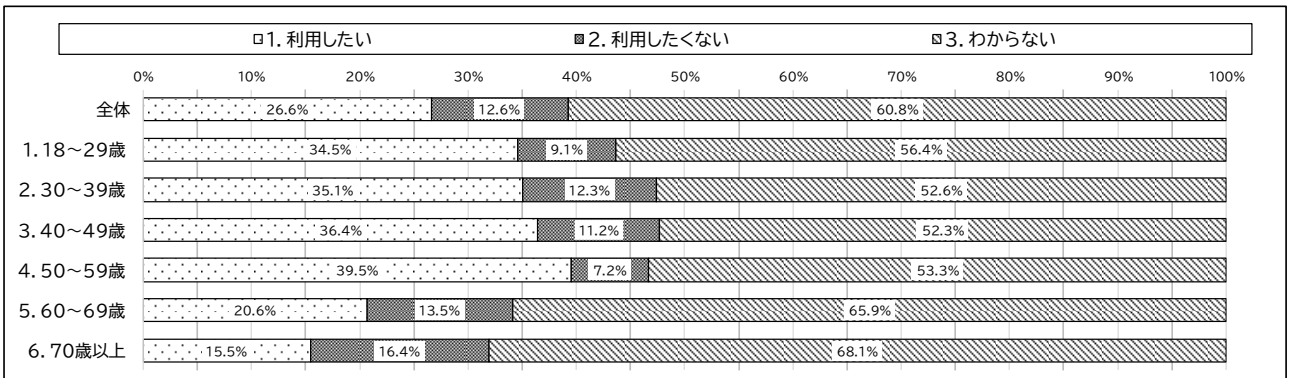
問36 もし、あなたご自身もしくはあなたのご家族が日常的な金銭管理を行うことなどに不安を感じるようになってきた場合に、日常生活自立支援事業を利用したいと思いますか。(選択は1つ)

- |          |            |
|----------|------------|
| 1. 利用したい | 2. 利用したくない |
| 3. わからない |            |

全体では「3. わからない」が60.8%で最も高く、次いで「1. 利用したい」が26.6%となっています。

Q36. もし、あなたご自身もしくはあなたのご家族が日常的な金銭管理を行うことなどに不安を感じるようになってきた場合に、日常生活自立支援事

選択肢	全体		1. 18~29歳		2. 30~39歳		3. 40~49歳		4. 50~59歳		5. 60~69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 利用したい	217	26.6%	19	34.5%	20	35.1%	39	36.4%	66	39.5%	26	20.6%	47	15.5%	0	0.0%
2. 利用したくない	103	12.6%	5	9.1%	7	12.3%	12	11.2%	12	7.2%	17	13.5%	50	16.4%	0	0.0%
3. わからない	496	60.8%	31	56.4%	30	52.6%	56	52.3%	89	53.3%	83	65.9%	207	68.1%	0	0.0%
計	816	100.0%	55	100.0%	57	100.0%	107	100.0%	167	100.0%	126	100.0%	304	100.0%	0	0.0%
無回答	24		1		2		0		1		1		15		4	



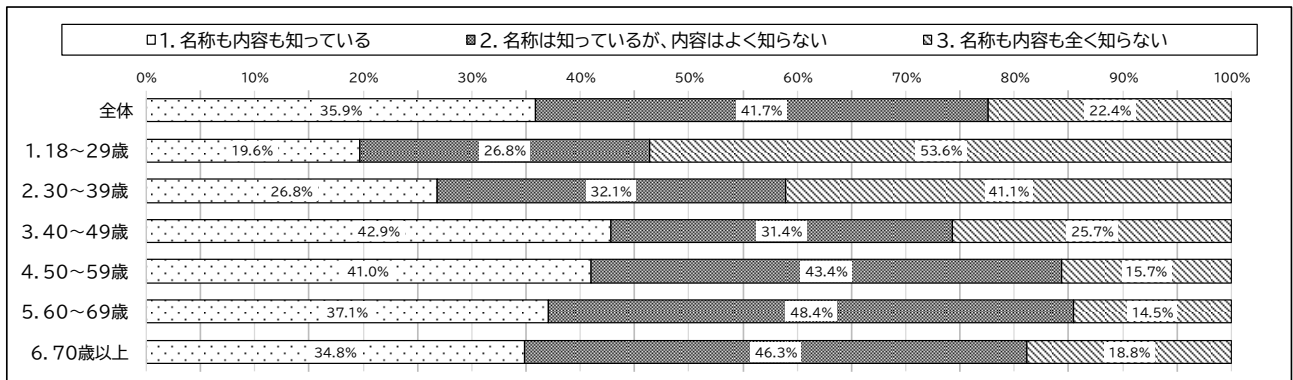
問37 成年後見制度について知っていますか。(選択は1つ)

1. 名称も内容も知っている
2. 名称は知っているが、内容はよく知らない
3. 名称も内容も全く知らない

全体では「2. 名称は知っているが、内容はよく知らない」が41.7%で最も高く、次いで「1. 名称も内容も知っている」が35.9%となっています。

Q37. 成年後見制度について知っていますか。(選択は1つ) (n=794)

選択肢	全体		1. 18~29歳		2. 30~39歳		3. 40~49歳		4. 50~59歳		5. 60~69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 名称も内容も知っている	285	35.9%	11	19.6%	15	26.8%	45	42.9%	68	41.0%	46	37.1%	100	34.8%	0	0.0%
2. 名称は知っているが、内容はよく知らない	331	41.7%	15	26.8%	18	32.1%	33	31.4%	72	43.4%	60	48.4%	133	46.3%	0	0.0%
3. 名称も内容も全く知らない	178	22.4%	30	53.6%	23	41.1%	27	25.7%	26	15.7%	18	14.5%	54	18.8%	0	0.0%
計	794	100.0%	56	100.0%	56	100.0%	105	100.0%	166	100.0%	124	100.0%	287	100.0%	0	0.0%
無回答	46		0		3		2		2		3		32		4	



問37で「1. 名称も内容も知っている」「2. 名称は知っているが、内容はよく知らない」と回答とした方に

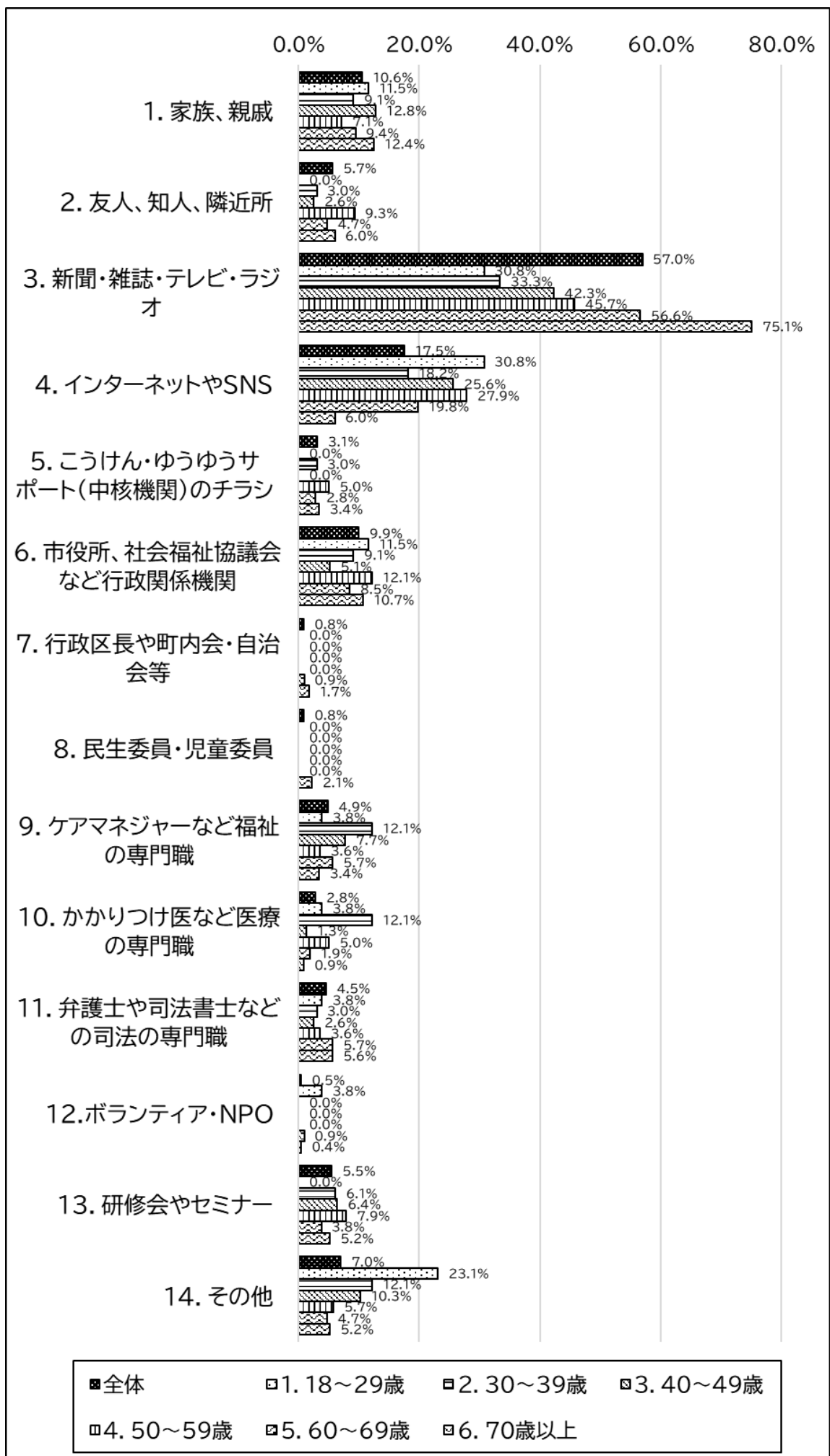
問38 成年後見制度について、どこから情報を得ましたか。(選択はいくつでも)

1. 家族、親戚	2. 友人、知人、隣近所
3. 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ	4. インターネットやSNS
5. こうけん・ゆうゆうサポート(中核機関)のチラシ	6. 市役所、社会福祉協議会など行政関係機関
7. 行政区長や町内会・自治会等	8. 民生委員・児童委員
9. ケアマネジャーなど福祉の専門職	10. かかりつけ医など医療の専門職
11. 弁護士や司法書士などの司法の専門職	12. ボランティア・NPO
13. 研修会やセミナー	14. その他( )

全体では「3. 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」が57.0%で最も高く、次いで「4. インターネットやSNS」が17.5%となっています。

Q38. 成年後見制度について、どこから情報を得ましたか。(選択はいくつでも) (n=616)

選択肢	全体		1. 18～29歳		2. 30～39歳		3. 40～49歳		4. 50～59歳		5. 60～69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 家族、親戚	65	10.6%	3	11.5%	3	9.1%	10	12.8%	10	7.1%	10	9.4%	29	12.4%	0	0.0%
2. 友人、知人、隣近所	35	5.7%	0	0.0%	1	3.0%	2	2.6%	13	9.3%	5	4.7%	14	6.0%	0	0.0%
3. 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ	351	57.0%	8	30.8%	11	33.3%	33	42.3%	64	45.7%	60	56.6%	175	75.1%	0	0.0%
4. インターネットやSNS	108	17.5%	8	30.8%	6	18.2%	20	25.6%	39	27.9%	21	19.8%	14	6.0%	0	0.0%
5. こうけん・ゆうゆうサポート(中核機関)のチラシ	19	3.1%	0	0.0%	1	3.0%	0	0.0%	7	5.0%	3	2.8%	8	3.4%	0	0.0%
6. 市役所、社会福祉協議会など行政関係機関	61	9.9%	3	11.5%	3	9.1%	4	5.1%	17	12.1%	9	8.5%	25	10.7%	0	0.0%
7. 行政区長や町内会・自治会等	5	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.9%	4	1.7%	0	0.0%
8. 民生委員・児童委員	5	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	2.1%	0	0.0%
9. ケアマネジャーなど福祉の専門職	30	4.9%	1	3.8%	4	12.1%	6	7.7%	5	3.6%	6	5.7%	8	3.4%	0	0.0%
10. かかりつけ医など医療の専門職	17	2.8%	1	3.8%	4	12.1%	1	1.3%	7	5.0%	2	1.9%	2	0.9%	0	0.0%
11. 弁護士や司法書士などの司法の専門職	28	4.5%	1	3.8%	1	3.0%	2	2.6%	5	3.6%	6	5.7%	13	5.6%	0	0.0%
12. ボランティア・NPO	3	0.5%	1	3.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.9%	1	0.4%	0	0.0%
13. 研修会やセミナー	34	5.5%	0	0.0%	2	6.1%	5	6.4%	11	7.9%	4	3.8%	12	5.2%	0	0.0%
14. その他	43	7.0%	6	23.1%	4	12.1%	8	10.3%	8	5.7%	5	4.7%	12	5.2%	0	0.0%
回答者数	616		26		33		78		140		106		233		0	



再び、全ての人に

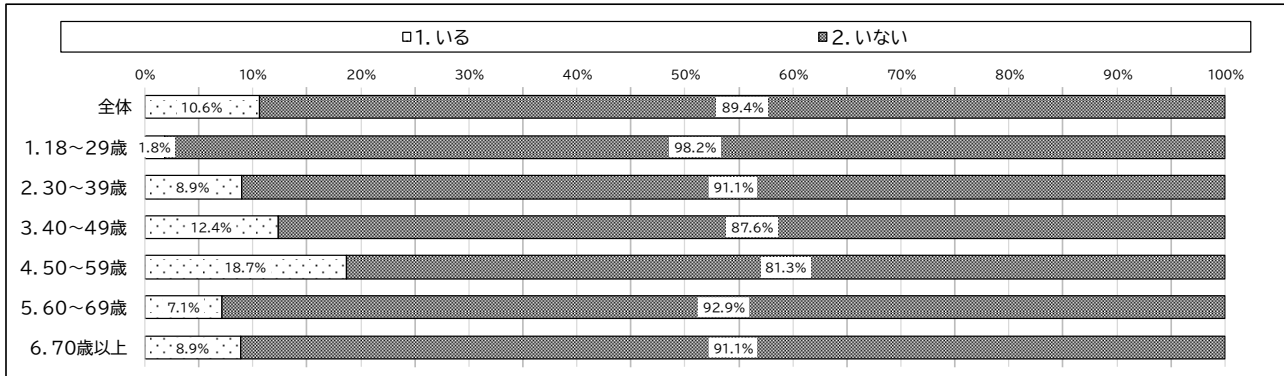
問39 あなたの身のまわりに、成年後見制度の利用が必要と思われる方はいますか。(選択は1つ)

1. いる	2. いない
-------	--------

全体では「2. いない」が89.4%で最も高く、次いで「1. いる」が10.6%となっています。

Q39. あなたの身のまわりに、成年後見制度の利用が必要と思われる方はいますか。(選択は1つ) (n=800)

選択肢	全体		1. 18~29歳		2. 30~39歳		3. 40~49歳		4. 50~59歳		5. 60~69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. いる	85	10.6%	1	1.8%	5	8.9%	13	12.4%	31	18.7%	9	7.1%	26	8.9%	0	0.0%
2. いない	715	89.4%	54	98.2%	51	91.1%	92	87.6%	135	81.3%	117	92.9%	266	91.1%	0	0.0%
計	800	100.0%	55	100.0%	56	100.0%	105	100.0%	166	100.0%	126	100.0%	292	100.0%	0	0.0%
無回答	40		1		3		2		2		1		27		4	



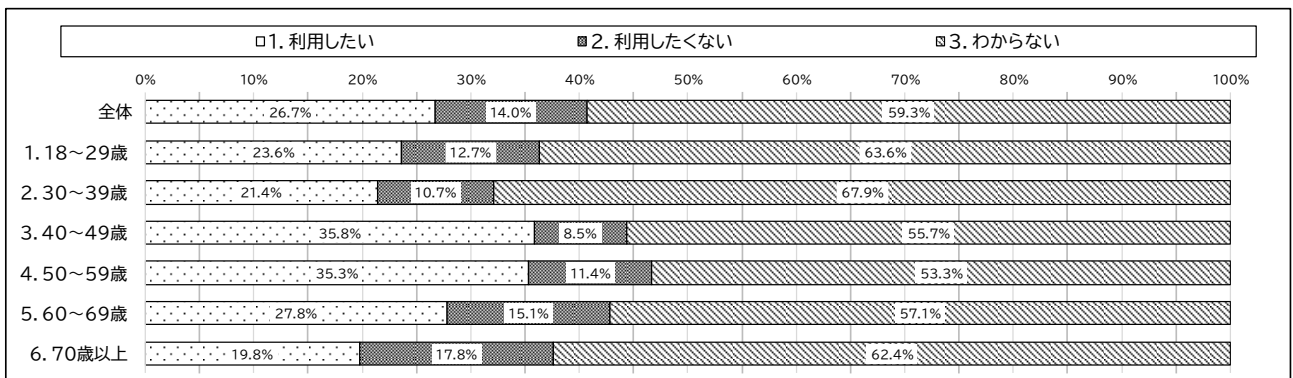
問40 もし、あなたご自身もしくはあなたのご家族の判断能力が十分でなくなってきた場合に、成年後見制度を利用したいと思いますか。(選択は1つ)

- |          |            |
|----------|------------|
| 1. 利用したい | 2. 利用したくない |
| 3. わからない |            |

全体では「3. わからない」が59.3%で最も高く、次いで「1. 利用したい」が26.7%となっています。

Q40. もし、あなたご自身もしくはあなたのご家族の判断能力が十分でなくなってきた場合に、成年後見制度を利用したいと思いますか。(選択は1

選択肢	全体		1. 18~29歳		2. 30~39歳		3. 40~49歳		4. 50~59歳		5. 60~69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 利用したい	217	26.7%	13	23.6%	12	21.4%	38	35.8%	59	35.3%	35	27.8%	60	19.8%	0	0.0%
2. 利用したくない	114	14.0%	7	12.7%	6	10.7%	9	8.5%	19	11.4%	19	15.1%	54	17.8%	0	0.0%
3. わからない	482	59.3%	35	63.6%	38	67.9%	59	55.7%	89	53.3%	72	57.1%	189	62.4%	0	0.0%
計	813	100.0%	55	100.0%	56	100.0%	106	100.0%	167	100.0%	126	100.0%	303	100.0%	0	0.0%
無回答	27		1		3		1		1		1		16		4	



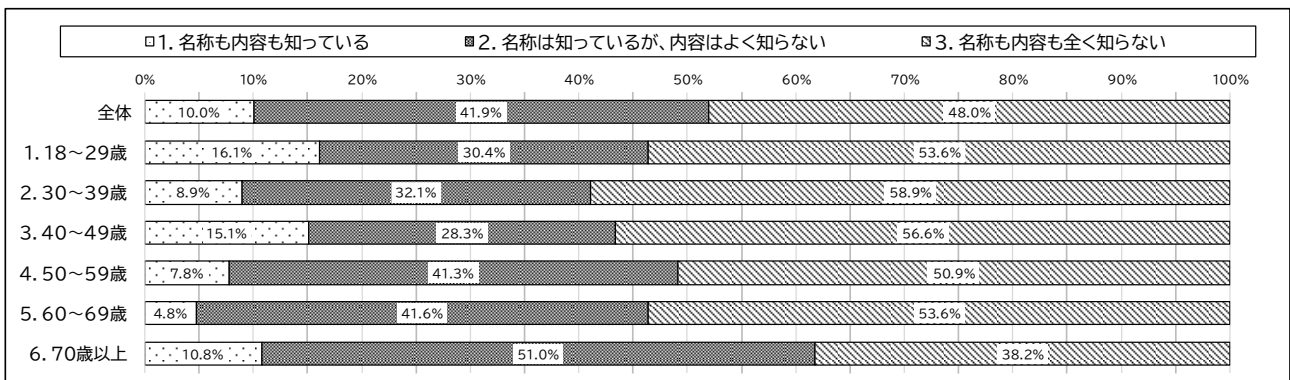
問41 生活困窮者自立支援法について知っていますか。(選択は1つ)

1. 名称も内容も知っている
2. 名称は知っているが、内容はよく知らない
3. 名称も内容も全く知らない

全体では「3. 名称も内容も全く知らない」が48.0%で最も高く、次いで「2. 名称は知っているが、内容はよく知らない」が41.9%となっています。

Q41. 生活困窮者自立支援法について知っていますか。(選択は1つ) (n=816)

選択肢	全体		1.18~29歳		2.30~39歳		3.40~49歳		4.50~59歳		5.60~69歳		6.70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 名称も内容も知っている	82	10.0%	9	16.1%	5	8.9%	16	15.1%	13	7.8%	6	4.8%	33	10.8%	0	0.0%
2. 名称は知っているが、内容はよく知らない	342	41.9%	17	30.4%	18	32.1%	30	28.3%	69	41.3%	52	41.6%	156	51.0%	0	0.0%
3. 名称も内容も全く知らない	392	48.0%	30	53.6%	33	58.9%	60	56.6%	85	50.9%	67	53.6%	117	38.2%	0	0.0%
計	816	100.0%	56	100.0%	56	100.0%	106	100.0%	167	100.0%	125	100.0%	306	100.0%	0	0.0%
無回答	24		0		3		1		1		2		13		4	





問42で「1. 気になる人がいると」回答した方に

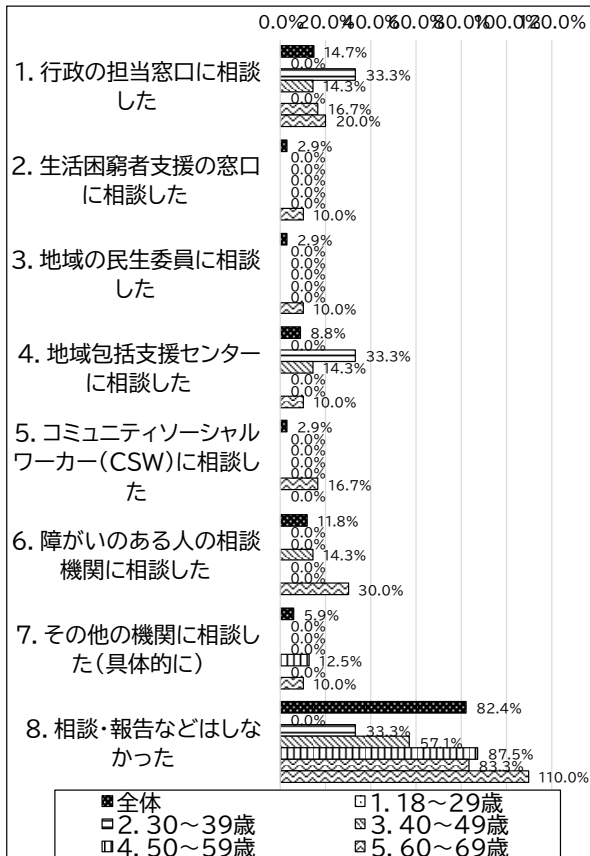
問43 地域の中の「生活困窮者」のことに、市役所や大阪府などの行政機関に相談したことはありますか。  
(選択はいくつでも)

1. 行政の窓口相談した
2. 生活困窮者支援の窓口相談した
3. 地域の民生委員に相談した
4. 地域包括支援センターに相談した
5. コミュニティソーシャルワーカー(CSW)に相談した
6. 障がいのある人の相談機関に相談した
7. その他の機関に相談した(具体的に: )
8. 相談・報告などはしなかった

全体では「8. 相談・報告などはしなかった」が82.4%で最も高く、次いで「1. 行政の窓口相談した」が14.7%となっています。

Q43. 地域の中の「生活困窮者」のことに、市役所や大阪府などの行政機関に相談したことはありますか。(選択はいくつでも) (n=34)

選択肢	全体		1.18~29歳		2.30~39歳		3.40~49歳		4.50~59歳		5.60~69歳		6.70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 行政の担当窓口相談した	5	14.7%	0	#DIV/0!	1	33.3%	1	14.3%	0	0.0%	1	16.7%	2	20.0%	0	0.0%
2. 生活困窮者支援の窓口相談した	1	2.9%	0	#DIV/0!	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	10.0%	0	0.0%
3. 地域の民生委員に相談した	1	2.9%	0	#DIV/0!	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	10.0%	0	0.0%
4. 地域包括支援センターに相談した	3	8.8%	0	#DIV/0!	1	33.3%	1	14.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	10.0%	0	0.0%
5. コミュニティソーシャルワーカー(CSW)に相談した	1	2.9%	0	#DIV/0!	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	16.7%	0	0.0%	0	0.0%
6. 障がいのある人の相談機関に相談した	4	11.8%	0	#DIV/0!	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	0	0.0%	3	30.0%	0	0.0%
7. その他の機関に相談した(具体的に)	2	5.9%	0	#DIV/0!	0	0.0%	0	0.0%	1	12.5%	0	0.0%	1	10.0%	0	0.0%
8. 相談・報告などはしなかった	28	82.4%	0	#DIV/0!	1	33.3%	4	57.1%	7	87.5%	5	83.3%	11	110.0%	0	0.0%
回答者数	34		0		3		7		8		6		10		0	



問43で「8. 相談・報告などはしなかった」と回答した方に

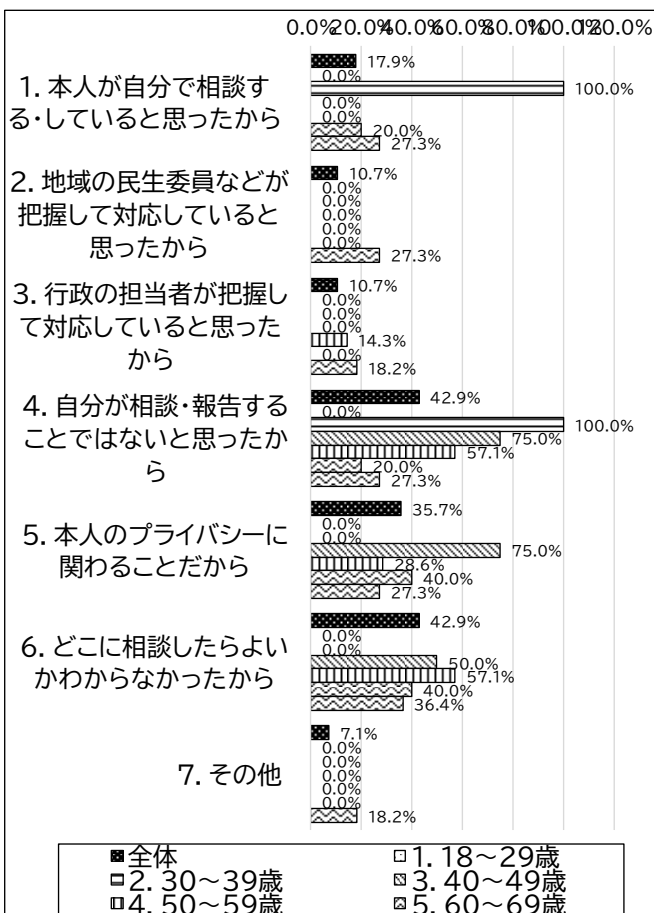
問44 その理由を教えてください。(選択はいくつでも)

1. 本人が自分で相談する・していると思ったから
2. 地域の民生委員などが把握して対応していると思ったから
3. 行政の担当者が把握して対応していると思ったから
4. 自分が相談・報告することではないと思ったから
5. 本人のプライバシーに関わることだから
6. どこに相談したらよいかわからなかったから
7. その他( )

全体では「4. 自分が相談・報告することではないと思ったから」「6. どこに相談したらよいかわからなかったから」が42.9%で最も高く、次いで「5. 本人のプライバシーに関わることだから」が35.7%となっています。

Q44. その理由を教えてください。(選択はいくつでも) (n=28)

選択肢	全体		1. 18~29歳		2. 30~39歳		3. 40~49歳		4. 50~59歳		5. 60~69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 本人が自分で相談する・していると思ったから	5	17.9%	0	#DIV/0!	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%	3	27.3%	0	0.0%
2. 地域の民生委員などが把握して対応していると思ったから	3	10.7%	0	#DIV/0!	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	27.3%	0	0.0%
3. 行政の担当者が把握して対応していると思ったから	3	10.7%	0	#DIV/0!	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	2	18.2%	0	0.0%
4. 自分が相談・報告することではないと思ったから	12	42.9%	0	#DIV/0!	1	100.0%	3	75.0%	4	57.1%	1	20.0%	3	27.3%	0	0.0%
5. 本人のプライバシーに関わることだから	10	35.7%	0	#DIV/0!	0	0.0%	3	75.0%	2	28.6%	2	40.0%	3	27.3%	0	0.0%
6. どこに相談したらよいかわからなかったから	12	42.9%	0	#DIV/0!	0	0.0%	2	50.0%	4	57.1%	2	40.0%	4	36.4%	0	0.0%
7. その他	2	7.1%	0	#DIV/0!	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	18.2%	0	0.0%
回答者数	28		0		1		4		7		5		11		0	





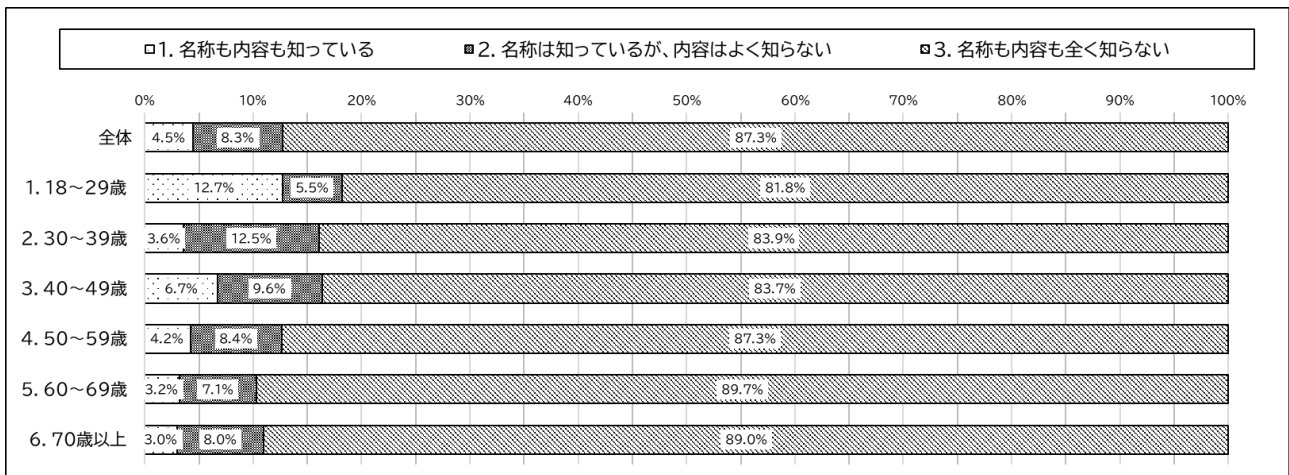
問46 自殺のサインに気づき、適切な対応(悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聴いて、必要な支援につなげ、見守る)を図ることが出来る「ゲートキーパー」を知っていますか。(選択は1つ)

1. 名称も内容も知っている
2. 名称は知っているが、内容はよく知らない
3. 名称も内容も全く知らない

全体では「3. 名称も内容も全く知らない」が87.3%で最も高く、次いで「2. 名称は知っているが、内容はよく知らない」が8.3%となっています。

Q46. 自殺のサインに気づき、適切な対応(悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聴いて、必要な支援につなげ、見守る)を図ることが出来る「ゲート

選択肢	全体		1. 18~29歳		2. 30~39歳		3. 40~49歳		4. 50~59歳		5. 60~69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 名称も内容も知っている	36	4.5%	7	12.7%	2	3.6%	7	6.7%	7	4.2%	4	3.2%	9	3.0%	0	0.0%
2. 名称は知っているが、内容はよく知らない	67	8.3%	3	5.5%	7	12.5%	10	9.6%	14	8.4%	9	7.1%	24	8.0%	0	0.0%
3. 名称も内容も全く知らない	705	87.3%	45	81.8%	47	83.9%	87	83.7%	145	87.3%	113	89.7%	268	89.0%	0	0.0%
計	808	100.0%	55	100.0%	56	100.0%	104	100.0%	166	100.0%	126	100.0%	301	100.0%	0	0.0%
無回答	32		1		3		3		2		1		18		4	



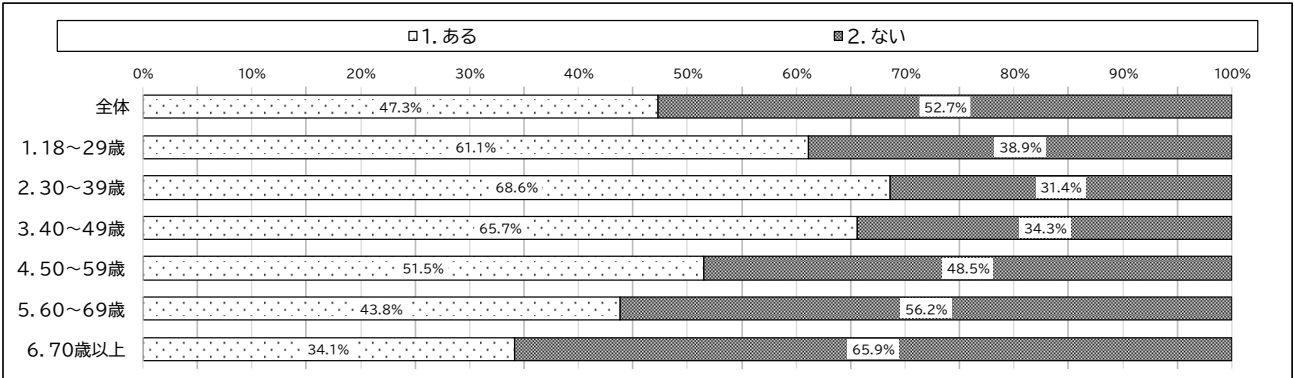
問47 これまで自殺対策に関する啓発物を見たことがありますか。(選択は1つ)

1. ある 2. ない

全体では「2. ない」が52.7%で最も高く、次いで「1. ある」が47.3%となっています。

Q47. これまで自殺対策に関する啓発物を見たことがありますか。(選択は1つ) (n=784)

選択肢	全体		1. 18～29歳		2. 30～39歳		3. 40～49歳		4. 50～59歳		5. 60～69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. ある	371	47.3%	33	61.1%	35	68.6%	65	65.7%	84	51.5%	53	43.8%	101	34.1%	0	0.0%
2. ない	413	52.7%	21	38.9%	16	31.4%	34	34.3%	79	48.5%	68	56.2%	195	65.9%	0	0.0%
計	784	100.0%	54	100.0%	51	100.0%	99	100.0%	163	100.0%	121	100.0%	296	100.0%	0	0.0%
無回答	56		2		8		8		5		6		23		4	



問47で「1. ある」と回答した方に、

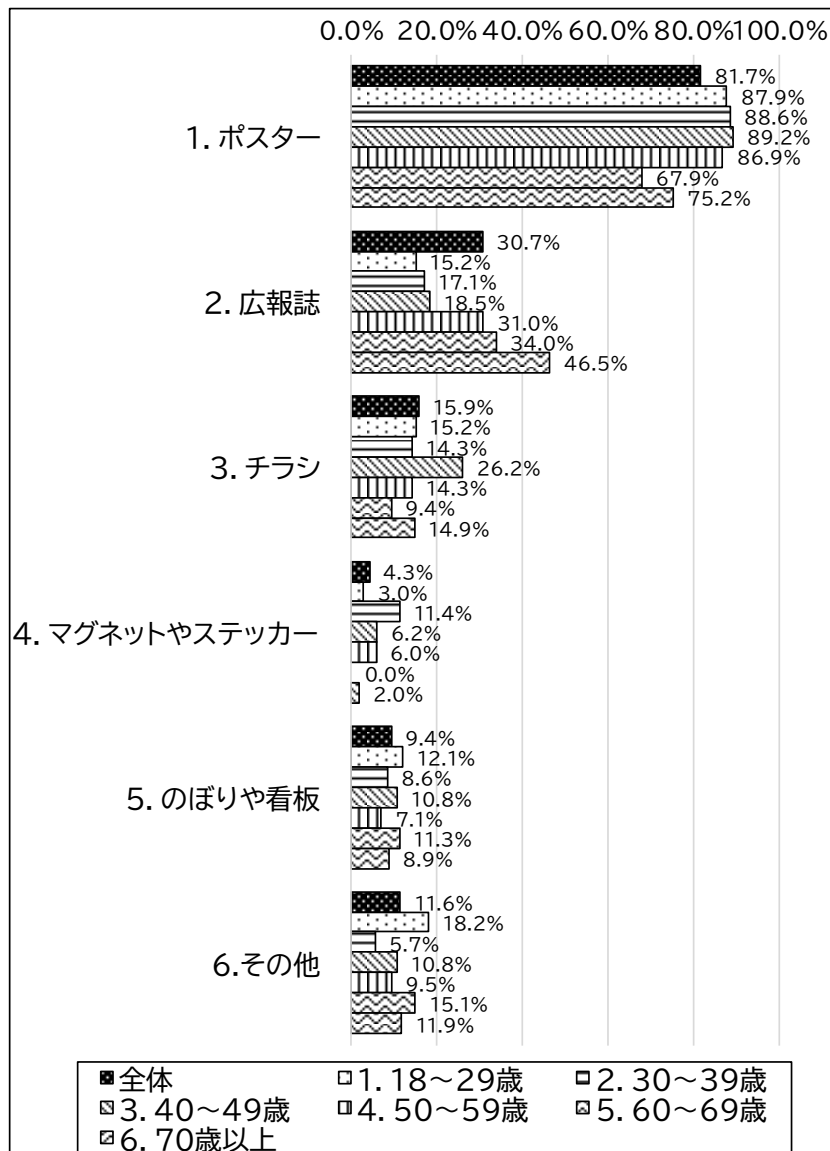
問48 どのような自殺対策に関する啓発物を見たことがありますか。(選択はいくつでも)

1. ポスター	2. 広報誌	3. チラシ
4. マグネットやステッカー	5. のぼりや看板	6. その他( )

全体では「1. ポスター」が81.7%で最も高く、次いで「2. 広報誌」が30.7%となっています。

Q48. どのような自殺対策に関する啓発物を見たことがありますか。(選択はいくつでも) (n=371)

選択肢	全体		1.18~29歳		2.30~39歳		3.40~49歳		4.50~59歳		5.60~69歳		6.70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. ポスター	303	81.7%	29	87.9%	31	88.6%	58	89.2%	73	86.9%	36	67.9%	76	75.2%	0	0.0%
2. 広報誌	114	30.7%	5	15.2%	6	17.1%	12	18.5%	26	31.0%	18	34.0%	47	46.5%	0	0.0%
3. チラシ	59	15.9%	5	15.2%	5	14.3%	17	26.2%	12	14.3%	5	9.4%	15	14.9%	0	0.0%
4. マグネットやステッカー	16	4.3%	1	3.0%	4	11.4%	4	6.2%	5	6.0%	0	0.0%	2	2.0%	0	0.0%
5. のぼりや看板	35	9.4%	4	12.1%	3	8.6%	7	10.8%	6	7.1%	6	11.3%	9	8.9%	0	0.0%
6. その他	43	11.6%	6	18.2%	2	5.7%	7	10.8%	8	9.5%	8	15.1%	12	11.9%	0	0.0%
回答者数	371		33		35		65		84		53		101		0	



## 8. 生活上の悩みや手助け等について

### 再び、全ての人に

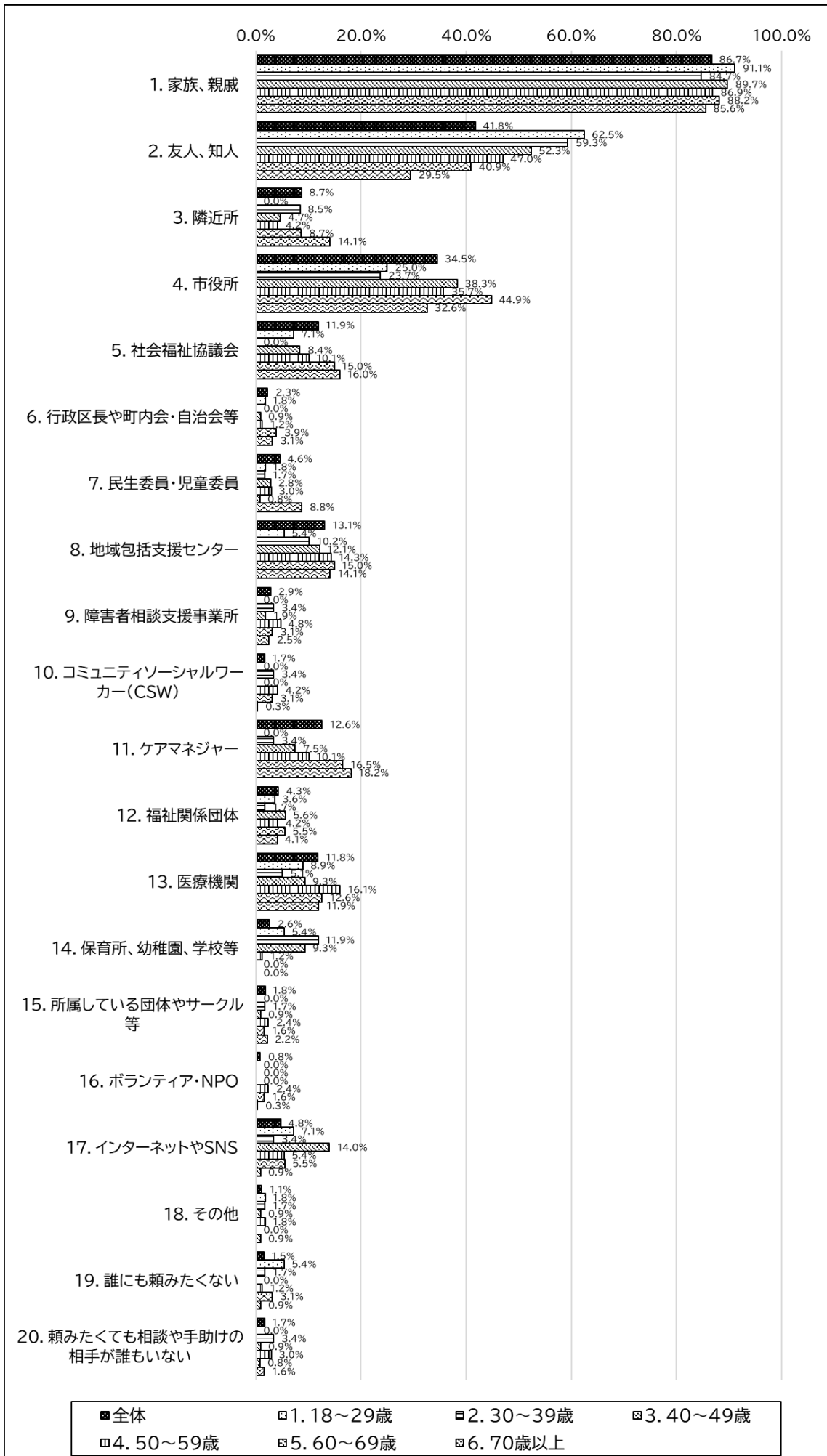
問49 生活上の問題で相談や助けを必要とするとき、誰に相談したり、手助けを頼んだりしたいですか。(選択は5つまで)

1. 家族、親戚	2. 友人、知人
3. 隣近所	4. 市役所
5. 社会福祉協議会	6. 行政区長や町内会・自治会等
7. 民生委員・児童委員	8. 地域包括支援センター
9. 障害者相談支援事業所	10. コミュニティソーシャルワーカー(CSW)
11. ケアマネジャー	12. 福祉関係団体
13. 医療機関	14. 保育所、幼稚園、学校等
15. 所属している団体やサークル等	16. ボランティア・NPO
17. インターネットやSNS	18. その他( )
19. 誰にも頼みたくない	20. 頼みたくても相談や手助けの相手が誰もいない

全体では「1. 家族、親戚」が86.7%で最も高く、次いで「2. 友人、知人」が41.8%となっています。

Q49. 生活上の問題で相談や助けを必要とするとき、誰に相談したり、手助けを頼んだりしたいですか。(選択は5つまで) (n=840)

選択肢	全体		1. 18～29歳		2. 30～39歳		3. 40～49歳		4. 50～59歳		5. 60～69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 家族、親戚	728	86.7%	51	91.1%	50	84.7%	96	89.7%	146	86.9%	112	88.2%	273	85.6%	0	0.0%
2. 友人、知人	351	41.8%	35	62.5%	35	59.3%	56	52.3%	79	47.0%	52	40.9%	94	29.5%	0	0.0%
3. 隣近所	73	8.7%	0	0.0%	5	8.5%	5	4.7%	7	4.2%	11	8.7%	45	14.1%	0	0.0%
4. 市役所	290	34.5%	14	25.0%	14	23.7%	41	38.3%	60	35.7%	57	44.9%	104	32.6%	0	0.0%
5. 社会福祉協議会	100	11.9%	4	7.1%	0	0.0%	9	8.4%	17	10.1%	19	15.0%	51	16.0%	0	0.0%
6. 行政区長や町内会・自治会等	19	2.3%	1	1.8%	0	0.0%	1	0.9%	2	1.2%	5	3.9%	10	3.1%	0	0.0%
7. 民生委員・児童委員	39	4.6%	1	1.8%	1	1.7%	3	2.8%	5	3.0%	1	0.8%	28	8.8%	0	0.0%
8. 地域包括支援センター	110	13.1%	3	5.4%	6	10.2%	13	12.1%	24	14.3%	19	15.0%	45	14.1%	0	0.0%
9. 障害者相談支援事業所	24	2.9%	0	0.0%	2	3.4%	2	1.9%	8	4.8%	4	3.1%	8	2.5%	0	0.0%
10. コミュニティソーシャルワーカー(CSW)	14	1.7%	0	0.0%	2	3.4%	0	0.0%	7	4.2%	4	3.1%	1	0.3%	0	0.0%
11. ケアマネジャー	106	12.6%	0	0.0%	2	3.4%	8	7.5%	17	10.1%	21	16.5%	58	18.2%	0	0.0%
12. 福祉関係団体	36	4.3%	2	3.6%	1	1.7%	6	5.6%	7	4.2%	7	5.5%	13	4.1%	0	0.0%
13. 医療機関	99	11.8%	5	8.9%	3	5.1%	10	9.3%	27	16.1%	16	12.6%	38	11.9%	0	0.0%
14. 保育所、幼稚園、学校等	22	2.6%	3	5.4%	7	11.9%	10	9.3%	2	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
15. 所属している団体やサークル等	15	1.8%	0	0.0%	1	1.7%	1	0.9%	4	2.4%	2	1.6%	7	2.2%	0	0.0%
16. ボランティア・NPO	7	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	2.4%	2	1.6%	1	0.3%	0	0.0%
17. インターネットやSNS	40	4.8%	4	7.1%	2	3.4%	15	14.0%	9	5.4%	7	5.5%	3	0.9%	0	0.0%
18. その他	9	1.1%	1	1.8%	1	1.7%	1	0.9%	3	1.8%	0	0.0%	3	0.9%	0	0.0%
19. 誰にも頼みたくない	13	1.5%	3	5.4%	1	1.7%	0	0.0%	2	1.2%	4	3.1%	3	0.9%	0	0.0%
20. 頼みたくても相談や手助けの相手が誰もいない	14	1.7%	0	0.0%	2	3.4%	1	0.9%	5	3.0%	1	0.8%	5	1.6%	0	0.0%
回答者数	840		56		59		107		168		127		319		4	



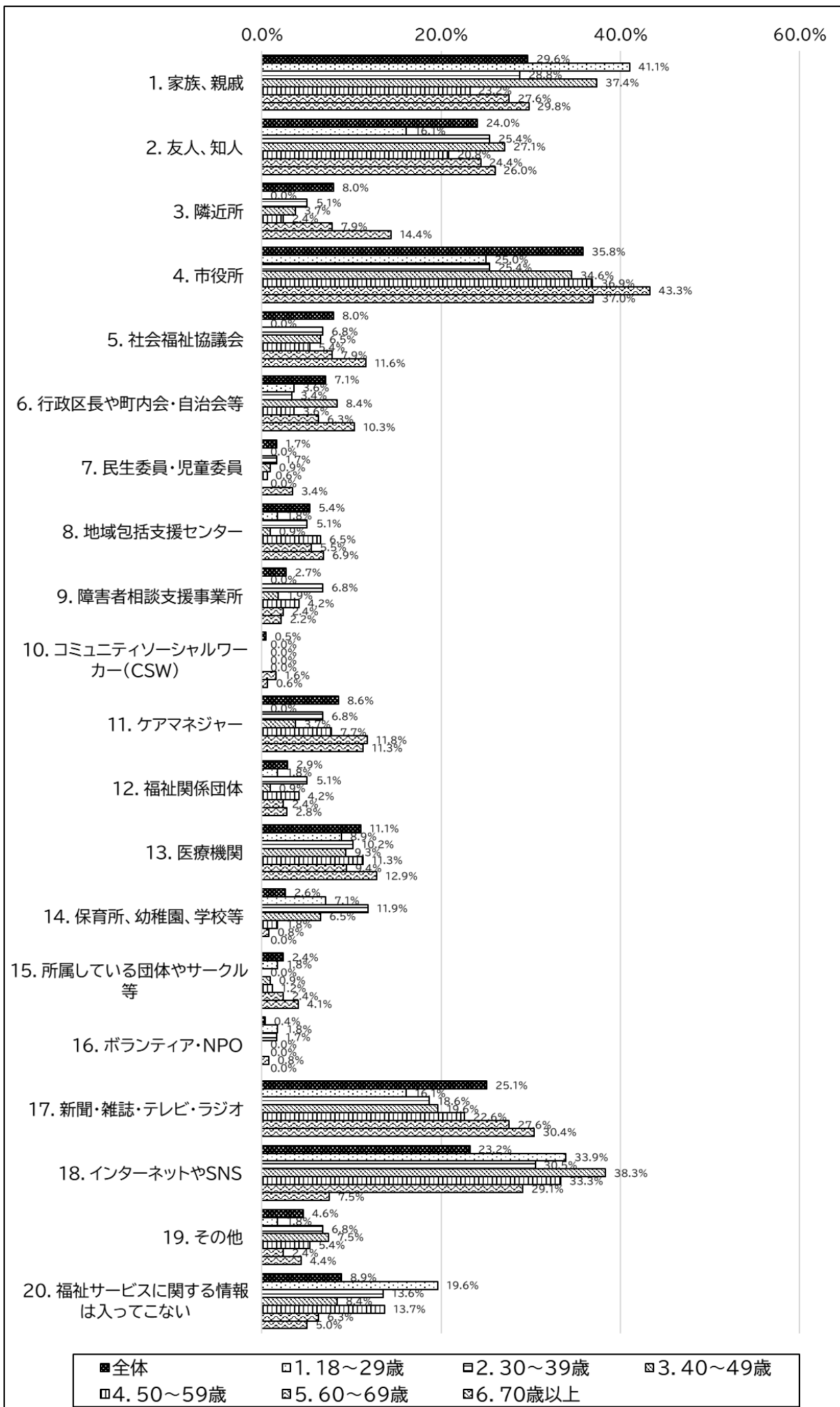
問50 福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。(選択は5つまで)

1. 家族、親戚	2. 友人、知人
3. 隣近所	4. 市役所
5. 社会福祉協議会	6. 行政区長や町内会・自治会等
7. 民生委員・児童委員	8. 地域包括支援センター
9. 障害者相談支援事業所	10. コミュニティソーシャルワーカー(CSW)
11. ケアマネジャー	12. 福祉関係団体
13. 医療機関	14. 保育所、幼稚園、学校等
15. 所属している団体やサークル等	16. ボランティア・NPO
17. 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ	18. インターネットやSNS
19. その他( )	20. 福祉サービスに関する情報は入ってこない

全体では「4. 市役所」が35.8%で最も高く、次いで「1. 家族、親戚」が29.6%となっています。

Q50. 福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。(選択は5つまで) (n=840)

選択肢	全体		1. 18~29歳		2. 30~39歳		3. 40~49歳		4. 50~59歳		5. 60~69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 家族、親戚	249	29.6%	23	41.1%	17	28.8%	40	37.4%	39	23.2%	35	27.6%	95	29.8%	0	0.0%
2. 友人、知人	202	24.0%	9	16.1%	15	25.4%	29	27.1%	35	20.8%	31	24.4%	83	26.0%	0	0.0%
3. 隣近所	67	8.0%	0	0.0%	3	5.1%	4	3.7%	4	2.4%	10	7.9%	46	14.4%	0	0.0%
4. 市役所	301	35.8%	14	25.0%	15	25.4%	37	34.6%	62	36.9%	55	43.3%	118	37.0%	0	0.0%
5. 社会福祉協議会	67	8.0%	0	0.0%	4	6.8%	7	6.5%	9	5.4%	10	7.9%	37	11.6%	0	0.0%
6. 行政区長や町内会・自治会等	60	7.1%	2	3.6%	2	3.4%	9	8.4%	6	3.6%	8	6.3%	33	10.3%	0	0.0%
7. 民生委員・児童委員	14	1.7%	0	0.0%	1	1.7%	1	0.9%	1	0.6%	0	0.0%	11	3.4%	0	0.0%
8. 地域包括支援センター	45	5.4%	1	1.8%	3	5.1%	1	0.9%	11	6.5%	7	5.5%	22	6.9%	0	0.0%
9. 障害者相談支援事業所	23	2.7%	0	0.0%	4	6.8%	2	1.9%	7	4.2%	3	2.4%	7	2.2%	0	0.0%
10. コミュニティソーシャルワーカー(CSW)	4	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.6%	2	0.6%	0	0.0%
11. ケアマネジャー	72	8.6%	0	0.0%	4	6.8%	4	3.7%	13	7.7%	15	11.8%	36	11.3%	0	0.0%
12. 福祉関係団体	24	2.9%	1	1.8%	3	5.1%	1	0.9%	7	4.2%	3	2.4%	9	2.8%	0	0.0%
13. 医療機関	93	11.1%	5	8.9%	6	10.2%	10	9.3%	19	11.3%	12	9.4%	41	12.9%	0	0.0%
14. 保育所、幼稚園、学校等	22	2.6%	4	7.1%	7	11.9%	7	6.5%	3	1.8%	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%
15. 所属している団体やサークル等	20	2.4%	1	1.8%	0	0.0%	1	0.9%	2	1.2%	3	2.4%	13	4.1%	0	0.0%
16. ボランティア・NPO	3	0.4%	1	1.8%	1	1.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%
17. 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ	211	25.1%	9	16.1%	11	18.6%	21	19.6%	38	22.6%	35	27.6%	97	30.4%	0	0.0%
18. インターネットやSNS	195	23.2%	19	33.9%	18	30.5%	41	38.3%	56	33.3%	37	29.1%	24	7.5%	0	0.0%
19. その他	39	4.6%	1	1.8%	4	6.8%	8	7.5%	9	5.4%	3	2.4%	14	4.4%	0	0.0%
20. 福祉サービスに関する情報は入ってこない	75	8.9%	11	19.6%	8	13.6%	9	8.4%	23	13.7%	8	6.3%	16	5.0%	0	0.0%
回答者数	840		56		59		107		168		127		319		4	



## 9. 今後の福祉行政のあり方について

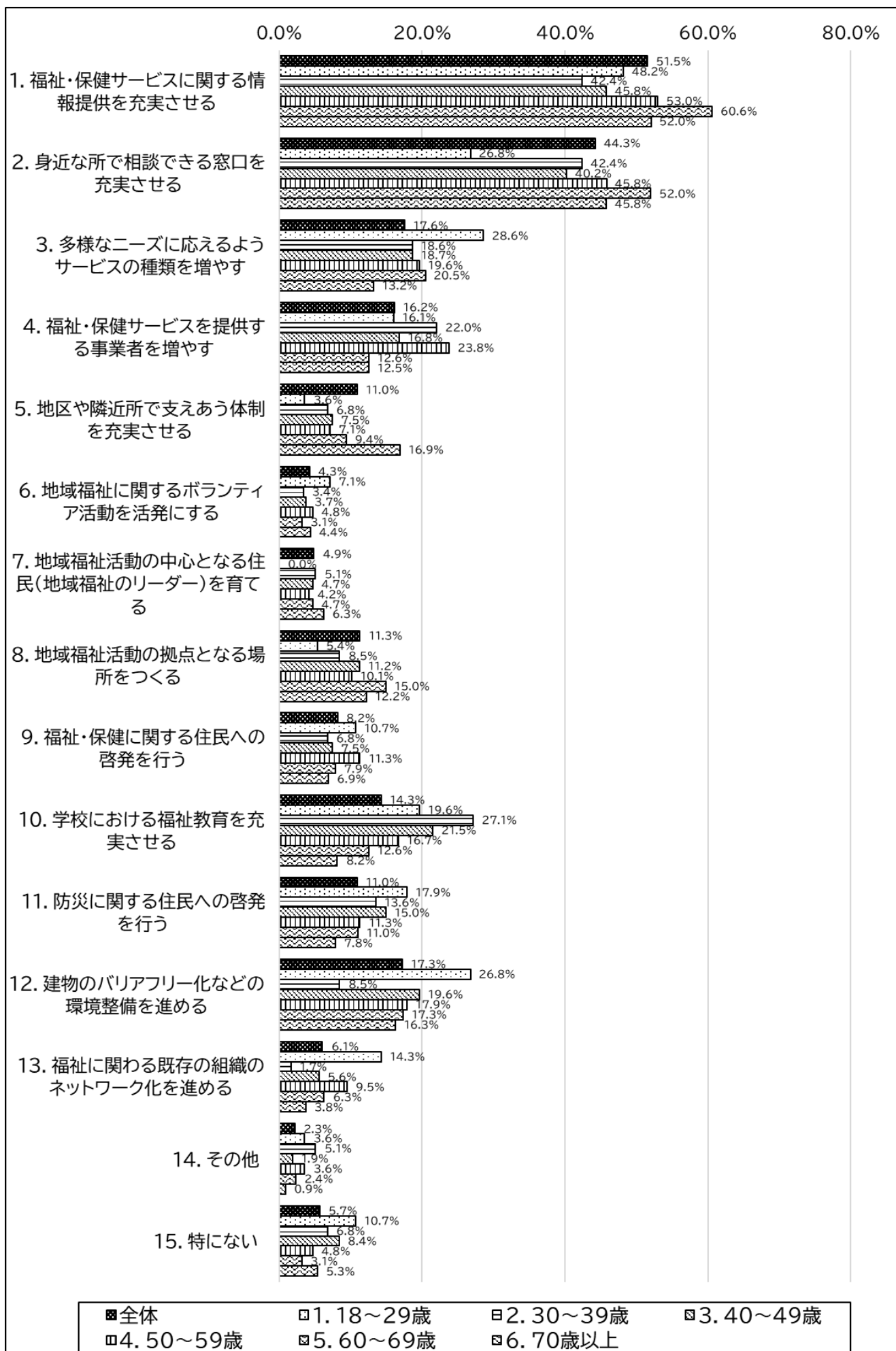
問51 交野市における福祉のまちづくりのために優先して取り組むべきことはどのようなことですか。(選択は3つまで)

1. 福祉・保健サービスに関する情報提供を充実させる
2. 身近な所で相談できる窓口を充実させる
3. 多様なニーズに応えるようサービスの種類を増やす
4. 福祉・保健サービスを提供する事業者を増やす
5. 地区や隣近所で支えあう体制を充実させる
6. 地域福祉に関するボランティア活動を活発にする
7. 地域福祉活動の中心となる住民(地域福祉のリーダー)を育てる
8. 地域福祉活動の拠点となる場所をつくる
9. 福祉・保健に関する住民への啓発を行う
10. 学校における福祉教育を充実させる
11. 防災に関する住民への啓発を行う
12. 建物のバリアフリー化などの環境整備を進める
13. 福祉に関わる既存の組織のネットワーク化を進める
14. その他( )
15. 特にない

全体では「1. 福祉・保健サービスに関する情報提供を充実させる」が51.5%で最も高く、次いで「2. 身近な所で相談できる窓口を充実させる」が44.3%となっています。

Q51. 交野市における福祉のまちづくりのために優先して取り組むべきことはどのようなことですか。(選択は3つまで) (n=840)

選択肢	全体		1. 18～29歳		2. 30～39歳		3. 40～49歳		4. 50～59歳		5. 60～69歳		6. 70歳以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1. 福祉・保健サービスに関する情報提供を充実させる	433	51.5%	27	48.2%	25	42.4%	49	45.8%	89	53.0%	77	60.6%	166	52.0%	0	0.0%
2. 身近な所で相談できる窓口を充実させる	372	44.3%	15	26.8%	25	42.4%	43	40.2%	77	45.8%	66	52.0%	146	45.8%	0	0.0%
3. 多様なニーズに応えるようサービスの種類を増やす	148	17.6%	16	28.6%	11	18.6%	20	18.7%	33	19.6%	26	20.5%	42	13.2%	0	0.0%
4. 福祉・保健サービスを提供する事業者を増やす	136	16.2%	9	16.1%	13	22.0%	18	16.8%	40	23.8%	16	12.6%	40	12.5%	0	0.0%
5. 地区や隣近所で支えあう体制を充実させる	92	11.0%	2	3.6%	4	6.8%	8	7.5%	12	7.1%	12	9.4%	54	16.9%	0	0.0%
6. 地域福祉に関するボランティア活動を活発にする	36	4.3%	4	7.1%	2	3.4%	4	3.7%	8	4.8%	4	3.1%	14	4.4%	0	0.0%
7. 地域福祉活動の中心となる住民(地域福祉のリーダー)を育てる	41	4.9%	0	0.0%	3	5.1%	5	4.7%	7	4.2%	6	4.7%	20	6.3%	0	0.0%
8. 地域福祉活動の拠点となる場所をつくる	95	11.3%	3	5.4%	5	8.5%	12	11.2%	17	10.1%	19	15.0%	39	12.2%	0	0.0%
9. 福祉・保健に関する住民への啓発を行う	69	8.2%	6	10.7%	4	6.8%	8	7.5%	19	11.3%	10	7.9%	22	6.9%	0	0.0%
10. 学校における福祉教育を充実させる	120	14.3%	11	19.6%	16	27.1%	23	21.5%	28	16.7%	16	12.6%	26	8.2%	0	0.0%
11. 防災に関する住民への啓発を行う	92	11.0%	10	17.9%	8	13.6%	16	15.0%	19	11.3%	14	11.0%	25	7.8%	0	0.0%
12. 建物のバリアフリー化などの環境整備を進める	145	17.3%	15	26.8%	5	8.5%	21	19.6%	30	17.9%	22	17.3%	52	16.3%	0	0.0%
13. 福祉に関わる既存の組織のネットワーク化を進める	51	6.1%	8	14.3%	1	1.7%	6	5.6%	16	9.5%	8	6.3%	12	3.8%	0	0.0%
14. その他	19	2.3%	2	3.6%	3	5.1%	2	1.9%	6	3.6%	3	2.4%	3	0.9%	0	0.0%
15. 特にない	48	5.7%	6	10.7%	4	6.8%	9	8.4%	8	4.8%	4	3.1%	17	5.3%	0	0.0%
回答者数	840		56		59		107		168		127		319		4	



問52 交野市のこれからのまちづくりについて、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にご記入ください。

(回答は一部抜粋・字句修正あり)

■ 子育てについて	年齢層
公園を散歩(家族で障がい者を含む)していたらすれ違いざまにおそらく70代の夫婦が私たちを見て「あんな子(障がい者)おったら、親は苦勞するやろな」と言った。すごく悲しい思いで胸が苦しくなりました。ただ散歩していただけなのに見た目だけで差別的な扱いをされた。そういうのがまだ日本のこの人たちの世代の方達には残っています。そういうことのない社会になれば良いですね。	1. 18～29歳
こどもができてから、歩道がない場所や歩道はあるけど狭くて人とすれ違えない場所が多く感じました。もう少し歩道を整えたり、こどもが過ごしやすい地域をめざしていただけると嬉しいなと思います。	1. 18～29歳
こどもをつくっても安心して暮らせるまちづくりをしてほしい。こどもをつくりたいと思えるようなまちになれば人口が増えていくと思います。子育て支援などバスのことなど充実してください。	2. 30～39歳
高齢者や障がいを持っておられる方とこどもが関わるイベント等があるのもいいかもしれない。イベントでさまざまな人と出会い、社会と関わるキッカケづくりになるといいなと思う。又、音楽や運動などのイベントを開催し、そこから地域ごとに定期的に集まれる環境を整えていけると、今後安心して生きがいを持ってこの地域に住めそう。	2. 30～39歳
交野市駅周辺の道幅が狭すぎて危険なので、もっと整備してこども達にとって安全な場所であってほしい。交野市以外から引越してきたが、古い学校を新しくすること、新しい試み等にこんなに反対が起こるのかと驚いた。まず、何か変えなければという意識のある市であってほしい。	3. 40～49歳
企業を誘致したり、名所や観光地を作り、人を増やす。どこへ行っても高齢者ばかりで数十年後のこども世代はいったいどうなっているか不安です。子育て世帯が増えるように何か対策を考えて下さい。高齢者だけでなくこどもにお金をかけるべきだと思います。	3. 40～49歳
・ボールあそびができる場所が少ない。・地域の方と一緒に交流する行事がもっと増えたらいいなと思います。・小学校の放課後、校庭開放を毎日にしたら保護者もこどもも安心だと思います。そこで高齢者の方のボランティアさんに見守りに入っていただけたら交流も生まれ、よいかと思います。	3. 40～49歳
こどもが小さな時はその時々の流れに沿って地域の活動に参加させて頂いていました。子育てが少しずつ落ち着いてくると、学校や地域福祉活動がそれぞれの立場で進めていることに気づきました。福祉や保健それぞれの立場の方々が情報を共有して、もっと気軽に立ち寄れる場を設けてもらえる嬉しいなと思いました。障がいを持っていて家から出られないなど外からでは見えない方々が外へ出るきっかけもあるといいなと思いました。	4. 50～59歳
特に若い世代が住みやすい魅力ある地域であってほしいです。農家さんも高齢化してきているので、若い人に継いでもらえるようなマッチングや支援体制があればいいと思います。私自身、子育て中は地域活動や市のさまざまな取り組みに関心を持つ余裕が無かったけど、50代になって交野市が全世代の方々に住み良い街であってほしいと願うようになりました。自分に出来る事から関わっていきたいと思います。	4. 50～59歳
ボランティア活動への参加はとてもハードルが高い気がします。こどもたちの場合は学校での授業の一環として取り組めるように工夫すればより身近に感じて参加しやすくなるのではないかと思います。	4. 50～59歳
子育て支援(保育園や学童の送迎、食事の提供など)している高齢世帯への市民税での優遇子育て支援をすることにより、親世代はフルで就業でき所得が増え、税収増となる。子育て世代との同居促進や空き家対策にもつながるのでは	6. 70歳以上

■ 高齢者について	年齢層
交野市は特に高齢化が進行しているように感じます。高齢者が安心安全に自立した生活ができるようにして頂きたいです。また、夜道が暗いところが多いので街灯を増やしてほしいです。	1. 18～29歳
市が主導して団体を取りまとめて頂けたら、もっと大きな力になるのではと思います。夏休みや、病気でできれば私用でも、児童会を使用できたらと思います。また、派遣で以前仕事をしていましたが、要件を満たさず児童会の利用ができませんでした。多様な働き方にも対応頂けたらと思います。個人的には、高齢化、共働きなど家庭の事情がさまざまである中、自治会の存続は必須ではなく、委託したりなど形を変えて地域の交流などを存続して行けたらいいのではと思います。	3. 40～49歳
主人、私と都会で生まれ育ち、田舎のおもかげの残る交野市に持ち家をかまえました。数回の自治会の役員を経て、自治会がまるで義務であるかのようなとらえ方に絶望すら感じています。地方のつながりは重要ですが、自治会加入が任意であるということすら知らない住民も多く超高齢化が進むなか働く世代への負担、参加しないことが非常識とならない地域社会を願っています。	4. 50～59歳
高齢者が急増しているので心配になります	5. 60～69歳
市役所に誰でも入れる食堂があれば良いと思うことも食堂のような安くて手間のかからない食事。高齢になると食事の準備が大変になり簡単なものになってしまい栄養価が心配。また交流も生まれるし雇用も広がると思う	5. 60～69歳
自治会の運営は、高齢者が多くなりました。(私の住む地域では)電気料金の納付、町内会会費の納付など難しくなってきました。今は、回覧板を回すことが主な仕事になっているようです。高齢者だけになった地域の自治会の今後を見直してほしいです。	5. 60～69歳
健康で時間を持て余している高齢者(特に男性)が仕事で得たノウハウを発揮できるような機会があればと思う。余りにもったいないです。	6. 70歳以上
高齢化で外出等難しくなると思うけど、交野市は大型スーパーの閉店もあり何かさみしい町になるようで不安。食品以外のものを求めるとき、短時間では行けなくなる事も不安になる人も多いのでは。	6. 70歳以上
子育て支援に平行して高齢者への支援ももっと力を入れてほしいです。星田駅周辺に図書館がほしい。そこで地域交流の場所などもあればとても良いとおもいます。	6. 70歳以上

■ ボランティア・助け合いについて	年齢層
自治体が民間やボランティアにたよった考えを持つことが疑問です。あまりにも自己責任論が強くなってしまったから日本は衰退した。今こそ公助を強化していくときです。	4. 50～59歳
学校(中学から大学まで)で一貫して授業でボランティアの枠があれば全体で意識が広がっていくと思う。	5. 60～69歳
隣近所の絆を強めて地域福祉活動の中心となる住民を育ててボランティア活動をしてもらいたいと思います	6. 70歳以上
若い世代にも近所の草刈りを見てもぬふりをしないで、手伝う気持ちを持ってほしい。手伝う気持ちがないのなら感謝する言葉が必要だと思います。年齢を重ねると体もきついです。	6. 70歳以上

■ 相談窓口について	年齢層
相談したいことはありますが、相談してよいものかと悩むところです。これからもよろしくお願ひします。	4. 50～59歳
困りごとを相談できる窓口を項目別に確認できるようわかりやすく公表して頂きたいです。	5. 60～69歳
住民のニーズや困りに対応する相談窓口を充実させることはとても大切だと思う。またそこで上がってきたニーズや困りの解決に向けて、福祉のネットワークづくりの充実、多様な支援が可能となる人材育成と制度づくりが重要だと思う。	5. 60～69歳
生活上の悩みや手助けが必要なときに、相談する市役所の課がわからない。	5. 60～69歳
弱い立場の人が近くに気軽に相談に行ける場所があればいいと思います。面会、電話等でも	6. 70歳以上

■ 防犯・防災について	年齢層
犯罪、自殺、引きこもりなど、発生してしまったことへの対応策を充実させたとしても対処療法にすぎず、根本の問題は減少しないと感じる。そのため、それらの問題が発生しにくい、発生しても気づきやすいまちづくりが必要と感じる。具体的には、治安改善だ。交野市に引っ越してきて半年たつが、夜の街の暗さ、未整備の道路や雑草、ポイ捨てたばこの多さに驚いている。こういった環境が住人(特に子ども)に悪影響となり、福祉活動が必要な状態へつなげると感じるため、まずは「治安改善のためのまちづくり」を優先すべきと思う。	1. 18～29歳
夜になると、外が暗く感じるので、街灯を増やしてほしいです。暗くて、怖いです。	1. 18～29歳
いざ必要となって調べたら何かしら情報は出てくると思うが、必要となったとき(非常時)にパッと「頼れる場所」や「解決の糸口」が引き出せるように常に情報発信をしてほしいなあと思う。広報誌に載ってたり、LINEのトークで「こんな場所があるよ」と流れてくるだけで全然違うと思う。近頃地震もあり、南海トラフなど心配なのでそのあたりに情報を発信してもらえるとありがたいです。	2. 30～39歳
市内の道路が狭いので、災害があった時逃げる場所が限られると思う。主要な道の電柱をなくするなど災害に強い町づくりを！	3. 40～49歳
大阪府で有りながら田舎っぽいところが気に入って引っ越して来ました、この町はすごく好きです。私的には町並みは現状維持で治安の方に力を注いで頂ければと思います。	4. 50～59歳
長く交野市に住んでいるが、年々住みにくい町になっている。人口が増える上で犯罪の増加、工場やショッピングなどの増加による事故の増加。それに対応する動きが遅い。隣近所間が希薄になっている。交野市としての進む方向性がみえない。全てが中途半端で根がない。子どもへの安全性のうすさなど。	4. 50～59歳
治安よい地域社会を維持したい。	6. 70歳以上

■ 住環境・まちづくりについて	年齢層
交野市駅周辺で買い物をする施設が少なく困っています。駅前で老若男女が集まれるような施設(図書館など)があってもよいかと思えます。青年の家に図書室はありますが、もう少し過ごしやすいものにしてほしいです。市民へのサービスも少なく、また市としての魅力もあまり感じられません。	1. 18～29歳
高齢者の世代がこれからも多くを占めているので、コミュニティバスなどで、高齢者の方が動く時間だけでも確保して欲しい。・車道・歩道などで荒れている箇所を調査して、修繕して欲しい。・ヤングケアラーやフードバンクを利用しないといけない生活困窮家庭を支援して家族の人が負の連鎖にならないように指南して欲しい。	1. 18～29歳
一部のバスが廃止になると聞きました。生活圏内であり利用者も高齢の方も利用しているのでなくなると困ります。市で運用検討しているとのニュースを見ましたが前向きに検討して頂きたいです。無人バスの導入もありかなと思いました。(実証実験への協力等)	1. 18～29歳
自然が多く静かで住みやすい街だが、飲食店が少ないのが不便だと感じる。	2. 30～39歳
せっかく自然豊かなすてきな市なので環境を守ってほしい 今子どもはいないが、もしもって子育てしやすい市ならつくっていたかもしれない 電車の駅が少ないので、バスをもっとふやしてほしい 犬や猫など、動物の福祉についてももっと考えてほしい	2. 30～39歳
高齢者が車の運転を無理して行わなくても済むように、移動手段の支援の充実をしてほしい。子ども達が生き生きと、安心して遊べる場所を作ってほしい。(ボール遊びができる場所が少なすぎる。)交野の自然をこれからももっと大事にする取り組みをしてほしい。(山・川の清掃・環境保護など)	3. 40～49歳
交野市として力を入れたい事、したい事をもっと住民にわかりやすくし、他市と差別化をはかっていけばいいと思います。あとは〇〇をしたいので人材が足りない、手助けして欲しいなどもっと一人一人の耳に入っていくような活動をしてほしい。そうすると参加しやすいし、地域も活発になると思う。やり方が古いと思う。	3. 40～49歳
免許を返納した高齢者に、買い物や生きがいのためのボランティアや体を動かせる場所などに行く時の、バスなどの交通機関が充実したすると健康長寿が伸びる事にも繋がるのではないかと思います	3. 40～49歳

交野市は自然が豊かな所でしたが、この5年ぐらいで、田畑の持ち主が高齢になったのか、手放され、巨大な物理倉庫や分譲地に変わってしまい。交野市の独自性でもある自然環境が失われたのは残念でなりません。一度失われた田畑は二度と戻らないので、これ以上の開発はやめて欲しい。また空き家が増えているので、開発ではなく、空き家の土地を有効活用してほしいです。	4. 50～59歳
老人比率が高いためか、ほぼすべての施策が「老人のため」を前提にしているような気がします。もっと若い人のためにお金を使うべきです。このままだと限界集落となってしまうような気がします。若い人がもっと集まる街でないといずれは淘汰されてしまいますよ。もっと自然をアピールしたツーリズムを生み出して宣伝するべきです。	4. 50～59歳
人づくりが町づくりに直結しているため、まずは人に着目し、一般教養(リベラルアーツ)を得たりできる講演会やセミナーなどを企画してはいかがでしょうか。また、その得た知識で、市民参加型の課題解決の場を提供することで、人とひとが年代問わず対話できる場になります。多才な人が交わることで、色々な気付きや案が生まれると考えます。	4. 50～59歳
今をピークに自然と共存できる街づくりを！大阪の郊外で自然豊かな交野が売りだったが、田畑がどんどんなくなり開発の速さに驚いています。暮らしやすい街のために誰もがいつでも利用できるセンター的拠点になる施設(気軽に集まれる居場所、困りごとが相談できる所・・・等々、そこに行けばよりよい生活につなげられる様な所があるとよいのではないかと思います。)	5. 60～69歳
限られた予算の中で、住みやすい街を作っていくためには、住民自らが参加し、お互いのできることを助け合える街にしていく必要があると感じています。行政に頼るだけでなく、自治会等を通して多くの人が、自然と助け合い相談できるようになるとよいなと思います。そこに導くための役割を行政に期待しています。交野の大切な資源である地下水を守っていただくよう期待しています。	5. 60～69歳
豊かな自然を残しながら福祉も行き届いた住みやすい交野市であってほしいです。	5. 60～69歳
住宅地も増え、若いファミリーも増えています。共働き世帯も増えているので是非とも、認可保育園や公園の設備を!!道路も狭く、歩行者の安全と自転車も多く安全性が大切です。又、段差も多く高齢者の車椅子での難しさを目にします。又、溝が深いところもあり危険です。「安全、安心」のまちづくりをお願いします。	5. 60～69歳
高齢者の買物が困っていると思う。暑さと距離と闘いながら、買い物に行っている母を見て思います。地域での助け合いなどの工夫で支援できることがあればと思います。	5. 60～69歳
交野市の地域福祉に関するアンケートでしたが、交野市には従来から自然環境のよさが特徴としてあったと思います。自然豊富な(住)環境が次第に失われつつあるように思えてなりません。福祉は余裕あればこそできることであるように思えたりします。自然豊富という余裕が福祉の底にあるのではとも思います。	6. 70歳以上
福祉だけではなく、人の交流つながりづくり・民生委員の担い手不足、年金負担など要因・まちづくり課題について、深く議論できる場づくり	6. 70歳以上
交野市は大阪の中心部から近く、住宅・田畑・山が混在して、プチ田舎と呼ばれる、人気のある市です。旧村と新興住宅の良い面と悪い面が、地域福祉に大きく影響するもの想定されますので、良い面を伸ばし、悪い面を減らしていく視点、昔からの地域資源(ソフト・ハード)を活かす視点を持って、心豊かな計画をつくり、施策を推進して頂きたい。	6. 70歳以上
交野市はとても生活するのにやりやすいし気に入ってます。これからも毎日の楽しみな生活をしていきたいと思っています。	6. 70歳以上
高齢化が進み、自家用車を手放す人が増えてきました。各鉄道駅への交通手段は一時間に一本のバスになり、不便で難儀をしています。もっとたやすく出かけられたら、楽しむことができ、それが生きがいにつながることもなると思います。	6. 70歳以上

■ 公共サービスについて	年齢層
住民税が高すぎて、生活するだけでいっぱい입니다。物価も高くなっているのに還元もないので、まずは経済的に安心できなければ、福祉まで気が回りません。	2. 30～39歳
カフェと図書館(児童用の階有)が融合された施設のようにゆったり過ごせるような素敵な空間が交野にもあると良い。交野は広い敷地はすぐに物流や倉庫になってしまう印象がある。児童発達支援にも力を入れて欲しい。知識豊富な療育施設を交野にも作って欲しい。専門的な知識の方が近くにいと、保護者のメンタルは救われる。	2. 30～39歳
市民が自然に集まる場所が欲しい。充実した図書館など。そこに、障がい者が働くカフェなどがあり、市役所以外でも、市の情報が広く知れる環境があるといい。	3. 40～49歳
障がいのある人が利用できるショートステイ(短期入所)施設を作ってもらいたいです。施設が少なく利用したい時に利用できません。やっと利用できるとなっても他市ばかりです。	3. 40～49歳
教育面において、図書館を大きくし、読書だけでなく、勉強ができるスペースやPCを使えるスペースを充実させてほしいです。	3. 40～49歳
福祉・保健サービスのアプリを使って、気軽に日常的にチェック・参考にできるのがいいと思います。	4. 50～59歳
市民の意見を聞くと言いつつ、意見について一緒になって考える機会が少ないように思う。行政区、財産区の活動を理解できるような報告の機会が必要だと思う。	4. 50～59歳
障がい者(主に知的)へのサポートを、しっかりと行ってほしい。引きこもりへのサポートをしっかりと行ってほしい。	4. 50～59歳
図書館など、文教施設が絶対的に充実していないのが残念です。	4. 50～59歳
公的資源には限界があるので、民間の活動を育てるニーズとつなぐことに注力願います。	4. 50～59歳
身体障がい者の為通院のたびに駅までタクシーを利用していますがタクシーがつかまらない時がたびたびあり不自由しています。ゆうゆうバスも私の家からは遠い。タクシー代もチケット頂いてる分では半年も持たない。収入も少ないのに交通費が大変です。	4. 50～59歳
介護中ですが、普通の、健全な精神状態無い老人に介護者は出来る事が(受けるサービスも)限られ家で老人介護+精神的介護もしなければなりません心療内科、精神科の窓口を開けないと今後は家庭での(例えば鬱老人)介護が行き詰ると思います。	5. 60～69歳
これからは介護をされる人がもっと増えていくと思うので福祉、保健サービス提供する事業者を増やしてほしいですね。私は今介護をしている立場ですが、そのために私たちもいろいろ教えていただけたら勉強になるし、自分も介護される側になったら自分も不安だし、外に出られるかどうかと考えさせられます。外出しても建物がバリアフリーになっていたら安心して気持ちが少しは楽しく過ごせるのではないのでしょうか？	5. 60～69歳
交野市内の障がい者事業所は大きい所ほど訪問サービスを切り捨てたり、医療的ケアの必要な重度障がい者や強度行動障がい者のある人を受け入れない傾向にあると思う。そういう所に指導をしたり、小さい事業所を支援したりしてほしい。高齢者や障がい者が買い物をしたり色々手続きをしに行ったりするための福祉バスが必要だと思う。	5. 60～69歳
福祉サービスなどの充実も必要であると思うが、サービスを行うスタッフの資質も非常に大切であると思う。	6. 70歳以上
医療的ケアのある人の制度が進んでないように思える。福祉の町、交野にふさわしい独自の政策を実行して下さい	6. 70歳以上
広報で知るだけです。もう少し福祉の事、地域の事など情報を知らせるページをつくり”KATAN O”を家に残しておいて繰り返し読める広報誌が欲しいです。	6. 70歳以上
公民館などは行きやすい中心の場所が良いのにおもう(小学校の利用等)	6. 70歳以上

## 《 資 料 編 》

市民アンケート調査票

## □ 市民アンケート調査票

# 「第5期交野市地域福祉計画・地域福祉活動計画」策定に向けた 交野市の地域福祉に関するアンケートについて

皆さまには日頃から、交野市の福祉行政にご理解とご協力をいただきありがとうございます。ご

現在、交野市では、制度や分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、人と人、人と社会資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、住みやすい地域をともに創っていく地域共生社会の実現を目指し「第5期交野市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の策定を進めています。

このアンケート調査は、市民の皆さまの地域生活の現状や、市の施策に対するご意見、地域福祉に関する意識や満足度、重要度など地域共生型の地域づくりの現状を調査することを目的とし、計画策定の基礎資料とするもので、市内にお住まいの18歳以上の人から無作為に抽出した2,000名に調査をお願いしています。

調査は無記名であり、ご回答いただいた内容は統計的に処理します。回答した個人が特定されるなどのご迷惑をおかけすることは一切ございませんので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年8月 交野市長 山本 景

### 【ご記入にあたってのお願い】

- この調査票には、お名前をご記入いただく必要はありません。
- 回答は、誰が答えたかわからないようにまとめて集計します。調査の目的以外には使用しないため、あなたのお名前や住所などが、ほかの人に知られることはありません。
- もしご本人が直接記入するのが難しい場合は、ご家族や支援者の方に手伝っていただいても問題ありませんが、できる限りご本人の意思を尊重して回答いただきますようお願いいたします。
- 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。設問ごとに「○は1つ」や「○はいくつでも」など、それぞれ指定されていますので、ご注意ください。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**令和6年9月20日(金)まで**にお近くの郵便ポストに投函してください。

### 【問い合わせ先】

交野市福祉総務課

電話:072-893-6400 FAX:072-895-6065

交野市社会福祉協議会

電話:072-895-1185 FAX:072-893-6423

## ＜アンケートの回答方法＞

次の(1)か(2)の方法のうち、答えやすい方でお答えください。  
ご家族や支援者の方に手伝っていただいても大丈夫です。

(1) インターネットを使えて、パソコンやスマートフォンの方が答えやすい方インターネットを使えて、パソコンやスマートフォンの方が答えやすい方

パソコンやスマートフォンなどで答えてください。

もし、インターネットを使うのがむずかしいときは、(2)の方法で答えてください。

下のURL(ホームページのアドレス)からもつながります。

- ・ インターネットを使ったアンケートは、「①メール登録」と「②本調査」に分かれます。
- ・ メールアドレスを登録すると、②本調査用のアドレス(URL)と、回答のためのユーザーID、パスワードがメールで届きます。
- ・ メールが届いたら、メール本文の案内に従い、②の本調査に進んでください。
- ・ ①メール登録用ホームページには、下のURLかQRコードからつながります。

【①メール登録用URL】 <https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/24katano/pre/>

【QRコード】



「①メール登録」～「②本調査」の流れ

- ・ メール登録の画面が開いたら、この冊子の表紙(前のページ)の右上にある「アンケート回答番号」と、メールアドレスを入力してください。メール登録の画面が開いたら、この冊子の表紙(前のページ)の右上にある「アンケート回答番号」と、メールアドレスを入力してください。
- ・ 自動返信で、登録されたメールアドレスに、本調査用のURLとユーザーID、パスワードが送信されます。このメールは、アンケートが終わるまで捨てずに保管してください。
- ・ そのメールのURLをクリックし、ユーザーIDとパスワードを入力して、「②本調査」に回答してください。

## ①メール登録

交野市の地域福祉に関するアンケート調査にご協力ください。

※ は、必須項目です。

**【回答事項】**  
 本アンケートをご案内するためのメールアドレスの登録ページになります。入力されたメールアドレス宛に本アンケートのURL及びユーザーID・パスワードが送信されます。

- この調査票には、お名前をご入力いただく必要はありません。
- あなたの答えは、誰が答えたかわからないようにまとめて、調査の目的以外には使用しないため、あなたの名前や住んでいるところなどが、ほかの人に知られることはありません。
- ご入力は、原則に本人が行ってください。ご本人が入力できない場合は、ご家族の方や支援者の方などがご本人の立場にたってご入力くださるようお願いいたします。
- 質問への回答方法は、質問文に記載しています。質問文をよく読んでお答えください。
- 【調査の内容】についてご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

交野市福祉総務課 電話 072-893-6400  
 交野市社会福祉協議会 電話 072-895-1185  
 ・【WEBアンケートの操作方法など】がわからない場合は、下記ヘルプデスクまでお問い合わせください。  
 株式会社インサイト WEBアンケートヘルプデスク 電話 06-6449-5115

【はじめに】紙のアンケート調査票（1ページ目）右上の、「アンケート回答番号」（6ケタの英数字）を入力してください。（こちらは集計のための番号で、個人を特定するものではありません。）

.....

.....

(確認用：再入力してください)

.....

## かくにんがめん 確認画面

以下の内容でよろしければ「登録」ボタンをクリックして下さい。  
 内容を変更する場合は「戻る」ボタンをクリックして下さい。  
 登録されたメールアドレス宛に本アンケートのURL及びユーザーID・パスワードが送信されます。

249001

insight@yahoo.co.jp

## かんりようがめん 完了画面

回答ありがとうございました。  
 登録されたメールアドレス宛に本アンケートのURL及びユーザーID・パスワードが送信されます。

## じどうへんしん 自動返信メール

アンケート回答番号【249001】

交野市の地域福祉に関するアンケート調査メールアドレスの登録ありがとうございます。

下記URLより交野市の地域福祉に関するアンケート調査の回答をお願いします。  
 本アンケートURLにアクセス後、ユーザーID・パスワードを入力すると本アンケートが表示されます。  
 ※入力を中断後再開したい場合、回答内容を修正したい場合も使用します。

交野市の地域福祉に関するアンケート調査 本アンケートURL  
<https://form.gpoker.jp/0/auto/ja/24katanotest/main/>

ユーザID : a8238e67  
 パスワード : 17756303

【調査の内容】についてご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。  
 交野市福祉総務課 電話 072-893-6400  
 交野市社会福祉協議会 電話 072-895-1185  
 【WEBアンケートの操作方法など】がわからない場合は、下記ヘルプデスクまで株式会社インサイト WEBアンケートヘルプデスク  
 メールアドレス insight@insweb.jp  
 電話 06-6449-5115  
 ※メールにて問い合わせの場合は件名に「交野市の地域福祉に関するアンケート」と入力してください。

## ほんちようさ ②本調査

交野市の地域福祉に関するアンケート調査 本アンケート

以下のアンケートにご協力ください。  
 ブラウザの戻るボタンは使用しないでください。  
 一時保存する場合は一時保存ボタンを押してください。  
 一時保存ボタンを押した時の入力内容が保存されます。  
 再開する場合は、メール記載の本アンケートURLからアクセスしてください。

※ は、必須項目です。

**【回答事項】**  
 ・この調査票には、お名前をご入力いただく必要はありません。  
 ・あなたの答えは、誰が答えたかわからないようにまとめて、調査の目的以外には使用しないため、あなたの名前や住んでいるところなどが、ほかの人に知られることはありません。  
 ・ご入力は、原則に本人が行ってください。ご本人が入力できない場合は、ご家族の方や支援者の方などがご本人の立場にたってご入力くださるようお願いいたします。  
 ・質問への回答方法は、質問文に記載しています。質問文をよく読んでお答えください。  
 ・【調査の内容】についてご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

交野市福祉総務課 電話 072-893-6400  
 交野市社会福祉協議会 電話 072-895-1185  
 ・【WEBアンケートの操作方法など】がわからない場合は、下記ヘルプデスクまでお問い合わせください。  
 株式会社インサイト WEBアンケートヘルプデスク 電話 06-6449-5115

【はじめに】紙のアンケート調査票（1ページ目）右上の、「アンケート回答番号」（6ケタの英数字）を入力してください。（こちらは集計のための番号で、個人を特定するものではありません。）

249001

(2) インターネットを使うことがむずかしく、紙に書くほうが答えやすい方  
 紙の「調査票」に、ボールペン等の消えにくいインクで回答をご記入ください。  
 回答後は、調査票に同封されていた封筒に入れて、送付してください。(切手不要)

き  
 <しめ切り>  
 れいわ ねん がつ にち きん  
 令和6年9月20日(金)まで

◆◆ 次のページから、アンケート本編がはじまります ◆◆

# 交野市の地域福祉に関するアンケート調査表

## 1. あなたご自身のことについて

問1 それぞれの項目ごとに、あてはまる番号を選んでください。

(1)居住小学校区 (○は1つ)	1. 旭小学校区                      2. 岩船小学校区                      3. 交野みらい校区 4. 私市小学校区                      5. 倉治小学校区                      6. 郡津小学校区 7. 藤が尾小学校区                      8. 星田小学校区                      9. 妙見坂小学校区
	10. わからない ⇒ 町名または地区名をお書きください (       )区(       )丁目
(2)性別        (○は1つ)	1. 男性                                      2. 女性                                      3. 答えたくない
(3)年齢 (○は1つ)	1. 18～29歳                                      2. 30～39歳 3. 40～49歳                                      4. 50～59歳 5. 60～69歳                                      6. 70歳以上
	1. 勤め人(常勤・フルタイム)                      2. 勤め人(非常勤/パート・アルバイトなど) 3. 自営業(家庭内職者を含む)                      4. 家族従業者 5. 学生    6. 専業主婦(主夫も含む) 7. 無職・年金生活者                                      8. その他(                                      )
	1. ひとり暮らし                                      2. 夫婦(事実婚含む)のみ 3. 夫婦と子ども(二世帯)                                      4. 祖父母と親子(三世帯) 5. ひとり親と子ども                                      6. その他(                                      )
(6)同居家族の中に いる人 (○はいくつでも)	1. 乳児(1歳未満)                                      2. 乳児を除く小学校入学前の幼児 3. 小学生    4. 中学生・高校生 5. 65歳以上の人                                      6. 介護を必要とする人 7. 障がいのある人                                      8. いずれもない
	1. 持ち家(一戸建て)                                      2. 持ち家(マンション) 3. 賃貸住宅(一戸建て)                                      4. 賃貸住宅(マンション・アパート) 5. 社宅・官舎・寮                                      6. その他(                                      )
(7)住居の種類 (○は1つ)	1. 1年未満    2. 1年以上5年未満 3. 5年以上10年未満                                      4. 10年以上30年未満 5. 30年以上
(8)交野市での居住年数 (○は1つ)	1. このまま住み続ける予定                                      2. いずれ転居する予定 3. わからない
(9)今後の居留意向 (○は1つ)	

## 2. 地域福祉の考え方について

「地域福祉」とは、地域に関わるさまざまな人の力で、ふだんの暮らしのしあわせを支え合う取り組みをいいます。地域に関わるすべての人が、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、行政や専門機関と協働して、支援を必要としている人を支えていく地域福祉の仕組みづくりが、今、とても重要となっています。

問2 あなたやあなたの家族にとって、交野市は「暮らしやすいまち」だと思いますか。(○は1つ)

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. 暮らしやすい         | 2. どちらかといえば暮らしやすい |
| 3. どちらかといえば暮らしにくい | 4. 暮らしにくい         |

問3 あなたやあなたの家族にとって、現在のお住まいの小学校区は「暮らしやすいまち」だと思いますか。(○は1つ)

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. 暮らしやすい         | 2. どちらかといえば暮らしやすい |
| 3. どちらかといえば暮らしにくい | 4. 暮らしにくい         |

問4 交野市の地域福祉に対してどのような印象をお持ちですか。(○は1つずつ)

	そう思う	まあそう思う	いいない	どちらとも	そう思わない	あまり	そう思わない
子育て家庭が暮らしやすいまち	1	2	3	4	5		
障がいのある人が暮らしやすいまち	1	2	3	4	5		
高齢者が暮らしやすいまち	1	2	3	4	5		
地域住民の活動が盛んなまち	1	2	3	4	5		
困ったときに、隣近所で助け合えるまち	1	2	3	4	5		
一人ひとりの人権が尊重されているまち	1	2	3	4	5		

問5 次ページに挙げた地域福祉に関する項目について、どの程度重要だと思いますか。また、どの程度満足していますか。(すべての項目について、「重要度」「満足度」それぞれに○を1つずつ)

### 【記入の仕方】

「重要度」と「満足度」それぞれ1つずつに○をする

		重要度					満足度						
		重要である	まあ重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	満足している	まあ満足	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない	わからない	
①居場所・ 生きがい	日頃気軽に集まれる場所	1	②	3	4	5	6	1	②	3	4	5	6
	気軽に相談できる人の有無	1	2	3	④	5	6	1	2	3	④	5	6

それぞれの項目について、あなたのふだんの暮らしで感じる「重要度」と「満足度」を教えてください。

大項目	小項目	重要度						満足度					
		重要である	まあ重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	わからない	満足している	まあ満足	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない	わからない
①居場所・生きがい	日頃気軽に集まれる場所	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	気軽に相談できる人の有無	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	様々な立場の人が活躍できる場の設定	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	生きがいづくり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	ボランティアやNPO団体の活動への支援・育成	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	学びの場の提供	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	青少年の健全育成支援、福祉教育	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
②多様な社会参加、社会とのつながり	多様な社会参加の機会の提供	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	権利擁護を育むための活動	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	隣近所の交流やあいさつなどの声掛け	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	手助けが必要な方へ見守りや助け合い	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
③安心して暮らせる地域	困ったときにどんな問題でも相談できる場所や人	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	困ったときの相談機関や有償無償サービスなどの情報提供	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	孤立防止、自殺対策	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	行政による相談窓口や活動団体への支援体制の充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	福祉が必要な方を地域の力で支えるしくみ	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	健康づくりへの支援	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	教育や子育ての支援	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	高齢者への支援	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	障がいのある人への支援	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	災害時も安心できる地域	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	安全や治安への取り組み	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	子どもの登下校の見守り	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	防災訓練	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	防犯のための巡回	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
生活困窮者への支援	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
引きこもり支援	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	

大項目	小項目	重要度						満足度					
		重要である	まあ重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	わからない	満足している	まあ満足	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない	わからない
④社会資源	民間団体、企業、有償ボランティア等による生活支援サービス	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	地域の様々な主体が参加して話し合う場の設定・開催	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	行政、社会福祉協議会、事業者、ボランティア、NPO等と住民組織との連携	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	見守り活動等の相互援助	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑤多分野・多世代のつながり	地元企業と福祉の連携	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	地域の人材や設備などの有効活用	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	地域活動のリーダー的人材の発掘及び育成	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	世代間の交流	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑥社会参加の場	様々な状況・立場の人が働ける場の整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	多様な働き方ができる環境	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	ボランティア活動の場・機会	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑦共通の興味・関心から生じるつながり	お祭りや運動会などの行事	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	文化・スポーツでのつながり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	町内会、自治会等の組織の維持	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	校区福祉委員会を中心とした地域福祉活動	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	公民館等の地域活動の機能強化	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	まちの清掃活動	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑧住みよい環境	公共交通機関やインフラの整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	多様性を認め合い、支え合う意識の啓発	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	自然保護や地域美化活動	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

問6 前ページまで(問5)の地域福祉に関する大項目①～⑧について、ひとかたまりずつ考えた場合と、それらを総合して交野市の地域福祉に関する取り組み全体に対する満足度と重要度をお答えください。

(すべての項目について、「満足度」「重要度」それぞれに○を1つずつ)

大項目	重要度						満足度					
	重要である	まあ重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	わからない	満足している	まあ満足	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない	わからない
①居場所・生きがい	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
②多様な社会参加、社会とのつながり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
③安心して暮らせる地域	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
④社会資源	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑤多分野・多世代のつながり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑥社会参加の場	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑦共通の興味・関心から生じるつながり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑧住みよい環境	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
①～⑧を総合的に考えた満足度・重要度	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

問7 次のような考え方についてどう思いますか。(○は1つずつ)

項目	そう思う	まあそう思う	いえない	どちらとも	そう思わない	あまり	そう思わない	わからない
障がいのある人とない人が、ともに生きるため、役所や事業所は、社会の中にあるバリアを取り除くべき	1	2	3	4	5	6		
生活保護を受けている人に対する偏見や差別がある	1	2	3	4	5	6		
ひとり親家庭の自立を支援するために、地域のつながりが重要	1	2	3	4	5	6		
虐待を防ぐために、地域のつながりが重要	1	2	3	4	5	6		
DV(ドメスティックバイオレンス)被害を防ぐために、地域のつながりが重要	1	2	3	4	5	6		
認知症の人やその家族を支えるためには、地域のつながりが重要	1	2	3	4	5	6		
ひきこもりやニートの問題は、本人だけでなく社会全体の問題	1	2	3	4	5	6		
ホームレスの問題は、本人だけでなく社会全体の問題	1	2	3	4	5	6		
自殺の問題は、本人だけでなく社会全体の問題	1	2	3	4	5	6		

### 3. ご近所とのつきあいや町内会行事などの地域活動などについて

問8 近所づきあいの状況は次のどれに近いですか。(○は1つ)

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. 何か困ったときに助け合う人がいる  | 2. お互いに訪問し合う人がいる     |
| 3. 悩みごとや不安を相談できる人がいる | 4. 留守にする時に声をかける人がいる  |
| 5. 立ち話をする程度の人がある     | 6. 会えばあいさつをする程度の人がある |
| 7. ほとんど近所とのつきあいはない   | 8. 隣近所の顔も知らない        |

問9 近所づきあいの考え方は、次のどれに近いですか。(○は1つ)

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1. 親しく相談したり、助け合ったりするのは必要だと思う       |
| 2. わずらわしいと思うが、日常生活に便利なことが多いので必要である |
| 3. わずらわしいことが多いので、あまり必要ではない         |
| 4. なくても困らないので、必要がない                |
| 5. その他( )                          |

問10 町内会や自治会に加入していますか。(○は1つ)

- |                            |
|----------------------------|
| 1. 現在加入している                |
| 2. 以前は加入していたが、現在はしていない     |
| 3. 加入したことがない               |
| 4. 自分の地域にそのような組織があることを知らない |

問11 町内会行事などの地域活動に参加していますか。(○は1つ)

- |                            |
|----------------------------|
| 1. 参加したことがある               |
| 2. 参加したことがないが、機会があれば参加したい  |
| 3. 参加したことがなく、今後も参加するつもりはない |

問12 地域活動に参加するうえで、支障になることがありますか。(○はいくつでも)

- |                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| 1. 忙しくて時間がとれない       | 2. 健康や体力に自信がない     |
| 3. どのような活動があるのかわからない | 4. 興味の持てる活動が見つからない |
| 5. 身近なところに活動の場がない    | 6. 人間関係がわずらわしい     |
| 7. 費用がかかる            | 8. 家族や職場の支持や理解がない  |
| 9. 交通手段がない           | 10. その他( )         |
| 11. 特にない             |                    |

問13 あなたは、お住まいの地域で、不安に感じていることはありますか。(〇はいくつでも)

- |                               |
|-------------------------------|
| 1. 自治会などの地域活動の担い手が足りなくなっていること |
| 2. 祭りなどの地域行事の担い手が足りなくなっていること  |
| 3. 住民同士のふれあいが乏しくなっていること       |
| 4. 空き家が増えてきていること              |
| 5. 高齢者だけの世帯が増えてきていること         |
| 6. その他( )                     |
| 7. 特に問題はない                    |

問14あなたは、お住まいの地域で、あなた自身はどのようなことに参加や手助けができると思いますか。  
(〇はいくつでも)

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1. 災害や防災対策      | 2. 生きがいづくり     |
| 3. 日常生活の協力支援    | 4. 見守り活動等の相互援助 |
| 5. 世代間の交流       | 6. 自然保護や地域美化活動 |
| 7. 安全や治安への取り組み  | 8. 健康づくりへの支援   |
| 9. 教育や子育ての支援    | 10. 高齢者への支援    |
| 11. 障がいのある人への支援 | 12. 青少年の健全育成支援 |
| 13. 生活困窮者への支援   | 14. その他( )     |
| 15. 特にない        | 16. わからない      |

## 4. 福祉への関心について

問15 あなたは、「福祉」に関心がありますか。(○は1つ)

- |             |              |              |
|-------------|--------------|--------------|
| 1. 関心がある    | 2. ある程度関心がある |              |
| 3. あまり関心がない | 4. 関心がない     | 5. どちらともいえない |

問15で「1. 関心がある」、「2. ある程度関心がある」と回答した人に

→問16 関心がある福祉はどのような分野ですか。(○はいくつでも)

- |                        |                     |
|------------------------|---------------------|
| 1. 子どもに関する福祉           | 2. ひとり親家庭に関する福祉     |
| 3. 高齢者に関する福祉           | 4. 認知症の人に関する福祉      |
| 5. 病気療養中の人に関する福祉       | 6. 寝たきりの人に関する福祉     |
| 7. 閉じこもりや引きこもりの人に関する福祉 | 8. 身体障がいのある人に関する福祉  |
| 9. 知的障がいのある人に関する福祉     | 10. 精神障がいのある人に関する福祉 |
| 11. 生活困窮者に関する福祉        | 12. 自殺予防に関する福祉      |
| 13. その他( )             |                     |

問15で「3. あまり関心がない」、「4. 関心がない」、「5. どちらともいえない」と回答した人に

→問17 福祉に関心がない理由はどうしてですか。(○はいくつでも)

- |                     |                          |
|---------------------|--------------------------|
| 1. 身近に福祉の必要な人がいないから | 2. 福祉活動やボランティアをしたことがないから |
| 3. 自分には福祉施策が必要ないから  | 4. 自分が何をすればよいか分からないから    |
| 5. 情報がないから          | 6. 興味がないから               |
| 7. 福祉は国や府、市が行えばよい   | 8. その他( )                |

再び、全ての人に

問18 次のようなことを心がけていますか。(○はいくつでも)

- |   |
|---|
| 1. 優先駐車場には、車を止めないようにしている                        |
| 2. 点字ブロックの上で立ち止まらない、自転車や荷物などを置かないようにしている        |
| 3. 公共交通機関などで席を譲るようにしている                         |
| 4. 子どもなどがぐずっているとき、迷惑そうなそぶりをしないよう心がけている          |
| 5. 困っていると思われる高齢者、障がいのある人、子ども連れの人などに声をかけるようにしている |
| 6. 車椅子や杖を持った人、ベビーカー等の人の手助けをするようにしている            |
| 7. 福祉について報道されているテレビやラジオなど報道を意識して見聞きしている         |
| 8. 手話を習ったり、認知症サポーターになるなど人を助けるための行動をしている         |
| 9. その他( )                                       |
| 10. 特にない  |

## 5. ボランティア活動について

問19 ボランティア活動や助け合い活動を行ったことがありますか。(○は1つ)

1. 現在活動している

2. 以前活動したことがある

3. 活動したことがない

問19で「1. 現在活動している」、「2. 以前活動したことがある」と回答した方に

→ 問20 現在取り組んでいる、または取り組んだことがあるボランティア活動や助け合い活動の具体的な内容は次のどれですか。(○はいくつでも)

1. 子どもに関する福祉支援

2. 高齢者に関する福祉支援

3. 障がい者に関する福祉支援

4. 教育・学習の支援

5. 地域福祉活動(校区福祉委員会活動、相談・安否確認・見守り等)

6. 国際・世代間交流

7. 災害時の支援

8. 交通安全活動

9. 防火・防犯活動

10. 福祉施設での活動・慰問など

11. スポーツやレクリエーション活動の支援

12. 文化・芸術活動支援

13. 資金援助(募金活動、寄附も含む)

14. 環境美化活動・エコ活動

15. 男女共同参画や性的マイノリティに関する活動

16. 人権を守るための活動

17. 平和に関する活動

18. その他( )

問19で「3. 活動したことがない」と回答した方に

→ 問21 ボランティア活動や助け合い活動に参加していない理由は、次のどれですか。(○はいくつでも)

1. 仕事や学業、あるいは家事が忙しく時間が取れないから

2. 小さな子どもや介護を必要とする家族がいるから

3. 興味や関心の持てる活動がないから

4. 健康に自信がないから

5. 身近に活動グループや仲間がないから

6. 活動のための資格や技術がないから

7. 経済的な余裕がないから

8. 家族や職場の理解が得られないから

9. 参加する必要性を感じないから

10. 人と接することが好きではないから

11. その他( )

再び、全ての人に

問22 今後、取り組んでみたいボランティア活動や助け合い活動はありますか。(○はいくつでも)

- |                                   |                   |
|-----------------------------------|-------------------|
| 1. 子どもに関する福祉支援                    | 2. 高齢者に関する福祉支援    |
| 3. 障がい者に関する福祉支援                   | 4. 教育・学習の支援       |
| 5. 地域福祉活動(校区福祉委員会活動、相談・安否確認・見守り等) | 6. 国際・世代間交流       |
| 7. 災害時の支援                         | 8. 交通安全活動         |
| 9. 防火・防犯活動                        | 10. 福祉施設での活動・慰問など |
| 11. スポーツやレクリエーション活動の支援            | 12. 文化・芸術活動支援     |
| 13. 資金援助(募金活動、寄附も含む)              | 14. 環境美化活動・エコ活動   |
| 15. 男女共同参画や性的マイノリティに関する活動         |                   |
| 16. 人権を守るための活動                    |                   |
| 17. 平和に関する活動                      |                   |
| 18. その他( )                        |                   |
| 19. 参加するつもりはない                    |                   |

問23 どのような支援があると、ボランティア活動が行いやすいと思いますか。(○はいくつでも)

- |                           |
|---------------------------|
| 1. ボランティア活動に関する情報提供       |
| 2. ボランティア活動先の紹介(マッチング)    |
| 3. ボランティア活動に関する研修会の機会     |
| 4. ボランティア活動者同士の交流の場       |
| 5. ボランティア活動に対する職場の理解      |
| 6. ボランティア休暇等、職場からの支援      |
| 7. ボランティアに関する活動費の補助(交通費等) |
| 8. ボランティア活動に対する証明書などの発行   |
| 9. ボランティア活動に対する相談対応       |
| 10. その他( )                |
| 11. 特にない                  |

## 6. 福祉に関わる支援者等について

問24 あなたの住んでいる地域の民生委員・児童委員が誰か知っていますか。(○は1つ)

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| 1. 誰か知っており、会ったことがある | 2. 誰か知っているが、会ったことがない |
| 3. 誰か知らない           |                      |

「民生委員・児童委員」とは、地域住民の中から選ばれ、厚生労働大臣の委嘱を受けて活動します。給与は支給されません。常に住民の立場に立って相談に応じ、住民と行政や専門機関をつなぎ、問題解決をサポートしています。

問25 民生委員・児童委員が行う活動として、あなたをご存知の内容は、次のどれですか。

(○はいくつでも)

- |                              |
|------------------------------|
| 1. 高齢者や障がいのある人など、支援が必要な人への訪問 |
| 2. 日常生活の悩みや心配ごとの相談           |
| 3. 児童に関する相談                  |
| 4. 高齢者の実態調査                  |
| 5. 児童虐待の早期発見                 |
| 6. 福祉に関する情報の提供               |
| 7. 関係行政機関の依頼による事実確認など        |
| 8. どれも知らない                   |

問26 あなたは、交野市にコミュニティソーシャルワーカー(CSW)という、福祉のなんでも相談員がいることをご存知ですか。(○は1つ)

- |            |              |
|------------|--------------|
| 1. よく知っている | 2. ある程度知っている |
| 3. あまり知らない | 4. まったく知らない  |

問27 あなたは、今までに「社会を明るくする運動(犯罪の予防と犯罪者の更生について理解を深め、協力しあう運動)」という言葉を見聞きしたことがありますか。(○は1つ)

- |          |       |
|----------|-------|
| 1. ある    | 2. ない |
| 3. わからない |       |

問28 あなたは、再犯防止のためには、犯罪をした人を社会から排除・孤立させるのではなく、再び受け入れることが自然にできる「誰一人取り残さない」社会の実現が大切である。という意見について、どう思いますか。(○は1つ)

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う           | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない       |

問29 あなたは、犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか。(○は1つ)

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 1. 思う           | 2. どちらかといえば思う |
| 3. どちらかといえば思わない | 4. 思わない       |
| 5. わからない        |               |

問29で「1. 思う」、「2. どちらかといえば思う」と回答した方に

→問30 どのような協力をしたいと思いますか。(○はいくつでも)

1. 犯罪をした人に直接会って継続的に助言や援助をする
2. 協力雇用主(犯罪前歴を承知の上で雇用に協力する事業主)として、犯罪をした人を雇用する
3. 更生保護施設(出所後、直ちに自立更生することが困難な人たちに対して、一定期間、宿泊場所や食事を提供する民間の施設)にお金や品物などを寄付する
4. 再犯防止に関するボランティア活動に参加する
5. 広報・啓発活動に参加する
6. インターネットを活用して広報・啓発活動の情報を発信する
7. その他( )

問29で「3. どちらかといえば思わない」、「4. 思わない」と回答した方に

→問31 協力したいと思わない理由を教えてください。(○はいくつでも)

1. 自分や家族の身に何か起きないか不安だから
2. 犯罪をした人と、かかわりを持ちたくないから
3. 犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから
4. 自分自身にメリットがないから
5. 具体的なイメージがわからないから
6. 時間的余裕がないから
7. 興味がないから
8. 犯罪をした人への支援などは国や地方公共団体が行うべきだから
9. 犯罪をした人に支援などするべきではないから
10. その他( )

再び、全ての人に

問32 あなたは「保護司」の役割について知っていますか。(○は1つ)

1. 名称も役割も知っている
2. 名称は知っているが、役割はよく知らない
3. 名称も役割も全く知らない

「保護司」とは、犯罪をした人や非行のある青少年の立ち直りを地域で支えるため、保護司法に基づき法務大臣から委嘱を受けた民間のボランティアです。給与は支給されません。

平成28年12月、「再犯の防止等の推進に関する法律」が施行され、この法律に基づき、国では翌年12月「再犯防止推進計画」を策定し、多岐にわたる再犯防止の取組を推進しています。

問33 あなたは、再犯防止のためには具体的にどのようなことが必要だと思いますか。

(○はいくつでも)

1. 刑事司法関係機関による一人ひとりの問題性に応じた、きめ細かな指導や支援の充実
2. 仕事と住居を確保した、安定した生活基盤の構築
3. 犯罪をした高齢者などに対する福祉制度の利用の促進
4. 被害者の置かれた状況や心情への周囲の理解の促進
5. 犯罪を地域の問題として捉えた地域ぐるみの再犯防止に向けた支援
6. 保護司の活動拠点である「更生保護サポートセンター」の拡充
7. その他( )

「更生保護サポートセンター」とは、保護司・保護司会が、地域の関係機関・団体と連携しながら地域で更生保護活動を行うための拠点です。そこでは、経験豊富な保護司が常駐して、保護司の処遇活動の支援、関係機関・団体との連携、犯罪・非行の予防活動、更生保護関係の情報提供などを行っています。

## 7. 各種制度について

問34 日常生活自立支援事業について知っていますか。(○は1つ)

1. 名称も内容も知っている
2. 名称は知っているが、内容はよく知らない
3. 名称も内容も全く知らない

「日常生活自立支援事業」とは、障がいや認知症等で判断能力が十分でない場合でも、地域において自立した生活が送れるよう、社会福祉協議会が利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助や日常の金銭管理等を行うものです。

問35 あなたの身のまわりに、日常生活自立支援事業の利用が必要と思われる方はいますか。

(○は1つ)

1. いる
2. いない

問36 もし、あなたご自身もしくはあなたのご家族が日常的な金銭管理を行うことなどに不安を感じるようになってきた場合に、日常生活自立支援事業を利用したいと思いますか。(○は1つ)

1. 利用したい
2. 利用したくない
3. わからない

問37 成年後見制度について知っていますか。(○は1つ)

- 1. 名称も内容も知っている
- 2. 名称は知っているが、内容はよく知らない
- 3. 名称も内容も全く知らない

「成年後見制度とは、認知症の方、知的障害のある方、精神障害のある方など判断能力が不十分な人の財産管理や身上監護を成年後見人等が行う制度で、家庭裁判所が成年後見人等を選任する「法定後見」とあらかじめ本人が任意後見人を選ぶ「任意後見」があります。

問37で「1. 名称も内容も知っている」「2. 名称は知っているが、内容はよく知らない」と回答した方に

問38 成年後見制度について、どこから情報を得ましたか。(○はいくつでも)

- 1. 家族、親戚
- 2. 友人、知人、隣近所
- 3. 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ
- 4. インターネットやSNS
- 5. こうけん・ゆうゆうサポート(中核機関)のチラシ
- 6. 市役所、社会福祉協議会など行政関係機関
- 7. 行政区長や町内会・自治会等
- 8. 民生委員・児童委員
- 9. ケアマネジャーなど福祉の専門職
- 10. かかりつけ医など医療の専門職
- 11. 弁護士や司法書士などの司法の専門職
- 12. ボランティア・NPO
- 13. 研修会やセミナー
- 14. その他( )

再び、全ての人に

問39 あなたの身のまわりに、成年後見制度の利用が必要と思われる方はいますか。(○は1つ)

- 1. いる
- 2. いない

問40 もし、あなたご自身もしくはあなたのご家族の判断能力が十分でなくなってきた場合に、成年後見制度を利用したいと思いますか。(○は1つ)

- 1. 利用したい
- 2. 利用したくない
- 3. わからない

問41 生活困窮者自立支援法について知っていますか。(○は1つ)

- 1. 名称も内容も知っている
- 2. 名称は知っているが、内容はよく知らない
- 3. 名称も内容も全く知らない

平成 25 年 12 月に「生活困窮者自立支援法」が成立し、この法律に基づき、平成 27 年 4 月から、全国の自治体において新しい福祉制度として「生活困窮者自立支援制度」がスタートしました。この制度では、働きたくても働けない、住む所がない、社会に出るのが不安、など、生活に困りごとを抱えた方の自立に向けた支援を強化することを目指しています。

問42 あなたの身のまわりに、上記の生活困窮者として想定される例に該当するような気になる人はいますか。(○は1つ)

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 1. 気になる人がいる | 2. 気になる人はいない |
|-------------|--------------|

問42で「1. 気になる人がいる」と回答した方に

→問43 地域の中の「生活困窮者」のことについて、市役所や大阪府などの行政機関に相談したことはありますか。(○はいくつでも)

- |                              |
|------------------------------|
| 1. 行政の窓口相談した                 |
| 2. 生活困窮者支援の窓口相談した            |
| 3. 地域の民生委員に相談した              |
| 4. 地域包括支援センターに相談した           |
| 5. コミュニティソーシャルワーカー(CSW)に相談した |
| 6. 障がいのある人の相談機関に相談した         |
| 7. その他の機関に相談した(具体的に: _____)  |
| 8. 相談・報告などはしなかった             |

問43で「8. 相談・報告などはしなかった」と回答した方に

→問44 その理由を教えてください。(○はいくつでも)

- |                               |
|-------------------------------|
| 1. 本人が自分で相談する・していると思ったから      |
| 2. 地域の民生委員などが把握して対応していると思ったから |
| 3. 行政の担当者が把握して対応していると思ったから    |
| 4. 自分が相談・報告することではないと思ったから     |
| 5. 本人のプライバシーに関わることだから         |
| 6. どこに相談したらよいかわからなかったから       |
| 7. その他( _____ )               |

問45 毎年9月10日から16日までが自殺予防週間、毎年3月が自殺対策強化月間であることを知っていますか。(○は1つ)

- |          |         |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問46 自殺のサインに気づき、適切な対応(悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聴いて、必要な支援につなげ、見守る)を図ることが出来る「ゲートキーパー」を知っていますか。(○は1つ)

- |                        |
|------------------------|
| 1. 名称も内容も知っている         |
| 2. 名称は知っているが、内容はよく知らない |
| 3. 名称も内容も全く知らない        |

問47 これまで自殺対策に関する啓発物を見たことがありますか。(○は1つ)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問47で「1. ある」と回答した方に

→問48 どのような自殺対策に関する啓発物を見たことがありますか。(○はいくつでも)

- |                |           |                 |
|----------------|-----------|-----------------|
| 1. ポスター        | 2. 広報誌    | 3. チラシ          |
| 4. マグネットやステッカー | 5. のぼりや看板 | 6. その他( _____ ) |

## 8. 生活上の悩みや手助け等について

再び、全ての人に

問49 生活上の問題で相談や助けを必要とするとき、誰に相談したり、手助けを頼んだりしたいですか。  
(○は5つまで)

- |                    |                           |
|--------------------|---------------------------|
| 1. 家族、親戚           | 2. 友人、知人                  |
| 3. 隣近所             | 4. 市役所                    |
| 5. 社会福祉協議会         | 6. 行政区長や町内会・自治会等          |
| 7. 民生委員・児童委員       | 8. 地域包括支援センター             |
| 9. 障害者相談支援事業所      | 10. コミュニティソーシャルワーカー(CSW)  |
| 11. ケアマネジャー        | 12. 福祉関係団体                |
| 13. 医療機関           | 14. 保育所、幼稚園、学校等           |
| 15. 所属している団体やサークル等 | 16. ボランティア・NPO            |
| 17. インターネットやSNS    | 18. その他( )                |
| 19. 誰にも頼みたくない      | 20. 頼みたくても相談や手助けの相手が誰もいない |

「社会福祉協議会」とは、社会福祉法に基づき設置された社会福祉法人で民間の社会福祉活動を推進することを目的とした営利を目的としない民間組織です。市民の皆さんの協力や民生委員・児童委員、社会福祉関係者などの関係団体・機関との連携のもと、各種福祉サービスや相談活動、ボランティア活動の支援、共同募金運動への協力など、さまざまな場面で地域の福祉増進に取り組んでいます。

「障害者相談支援事業所」とは、障がいのある人やその家族が地域で安心して日常生活や社会生活を営むことができるよう、相談支援専門員が障害福祉サービス利用のための相談や日常生活全般に関する相談等に応じます。障がいの程度や生活状況に応じて、適切なサービスを提供するため「サービス等利用計画案」の作成も行います。

「ケアマネジャー」とは、介護保険制度による各種介護サービスを利用するにあたって、それぞれの状況に応じた適切なサービス利用のための個別計画を作成したり、サービス提供事業者との調整などを行います。

問50 福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。(○は5つまで)

- |                    |                          |
|--------------------|--------------------------|
| 1. 家族、親戚           | 2. 友人、知人                 |
| 3. 隣近所             | 4. 市役所                   |
| 5. 社会福祉協議会         | 6. 行政区長や町内会・自治会等         |
| 7. 民生委員・児童委員       | 8. 地域包括支援センター            |
| 9. 障害者相談支援事業所      | 10. コミュニティソーシャルワーカー(CSW) |
| 11. ケアマネジャー        | 12. 福祉関係団体               |
| 13. 医療機関           | 14. 保育所、幼稚園、学校等          |
| 15. 所属している団体やサークル等 | 16. ボランティア・NPO           |
| 17. 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ  | 18. インターネットやSNS          |
| 19. その他( )         | 20. 福祉サービスに関する情報は入っていない  |

## 9. 今後の福祉行政のあり方について

問51 交野市における福祉のまちづくりのために優先して取り組むべきことはどのようなことですか。  
(○は3つまで)

1. 福祉・保健サービスに関する情報提供を充実させる
2. 身近な所で相談できる窓口を充実させる
3. 多様なニーズに応えるようサービスの種類を増やす
4. 福祉・保健サービスを提供する事業者を増やす
5. 地区や隣近所で支えあう体制を充実させる
6. 地域福祉に関するボランティア活動を活発にする
7. 地域福祉活動の中心となる住民(地域福祉のリーダー)を育てる
8. 地域福祉活動の拠点となる場所をつくる
9. 福祉・保健に関する住民への啓発を行う
10. 学校における福祉教育を充実させる
11. 防災に関する住民への啓発を行う
12. 建物のバリアフリー化などの環境整備を進める
13. 福祉に関わる既存の組織のネットワーク化を進める
14. その他( )
15. 特にない

問52 交野市のこれからのまちづくりについて、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にご記入ください。


調査は以上となります。ご協力いただき、ありがとうございました。

この調査票を返信用封筒に入れ、

令和6年9月20日(金)までに、郵便ポストにご投函ください。